

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年 月 日	製本冊数	備 考 ・ 参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
2-5-4-3-1	覚（出銅鉛引当貸銀貸渡書綴）	多田銀山役所他	綴	文化15年～文政3年	1	※2-5-4-3-1～2-5-4-6-3で1冊
2-5-4-3-2	（某藩貸付加入銀勘定書）		綴	戌12月		
2-5-4-4	（別子立川荒銅買上代銀・助成銀支払書綴）	銅座役所	綴	文政7年5月11日～8年12月		
2-5-4-5-1	為替銀証（長崎為替手形綴）	長崎浦五島町泉屋宇兵衛他	綴	安永4年5月20日～文政8年9月24日		
2-5-4-5-2	覚（為替手形）	長崎大沢僖八郎	状	文政5年正月25日		
2-5-4-5-3	覚（仲間入用正金受取）	長崎銅蔵所大沢僖八郎	状	文政6年7月21日		
2-5-4-5-4	覚（為替手形）	長崎大沢僖八郎	状	文政6年10月28日		
2-5-4-6-1	（泉屋理兵衛合力米銭不渡引合一件綴）		綴	嘉永4年～明治9年		
2-5-4-6-2	借用申金子之事	理兵衛	状	明治2年4月		
2-5-4-6-3	月々銭米請取之通	泉屋理兵衛	横	慶応3年正月		
3-3-1	入置申規定証文写（飯田藩国産生糸取引）	信州伊奈郡飯田小西衆助他2名	状	文久2年6月	1	※3-3-1～34で1冊「飯田・奥州生糸関係」
3-3-2	御預申一札之事（信州飯田吹生糸預り一札）	横浜出店万屋安五郎・店支配和三郎	状	文久2年7月23日		
3-3-3	御預申一札之事（信州飯田吹生糸預り一札）	横浜出店万屋安五郎・店支配和三郎	状	文久2年7月23日		
3-3-4	御預申一札之事（信州飯田吹生糸預り一札）	横浜出店万屋安五郎・店支配和三郎	状	文久2年7月24日		
3-3-5	為替預り覚之事（信州三田堤生糸預り一札）	横浜出店万屋安五郎・支配和三郎	状	文久2年10月3日		
3-3-6	覚（飯田生糸為替金勘定書）	住友	状	（文久2） 戌年11月29日		
3-3-7	飯田様内願書写（飯田藩国産生糸一手売捌取扱につき規定書）	住友吉次郎名代泉屋市郎右衛門・万屋安五郎	綴	文久2年12月～3年3月		
3-3-8	（英国商人ブリカツ氏生糸買上勘定書）		状	（文久2） 戌年12月		
3-3-9	覚（金100両受取）	万屋安五郎・岡田和三郎	状	（文久3） 亥年正月12日		
3-3-10	預り申一札之事（金50両預り）	万屋安五郎・岡田和三郎他	状	文久3年2月18日		
3-3-11	預り申金子之事（金100両受取）	万屋安五郎・幸助	状	文久3年3月6日		
3-3-12	（飯田産物生糸為替一条につき書状）	近江屋喜代太郎	状	（文久3年） 3月11日		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
3-3-13	指入申一札之事（飯田藩国産生糸取扱方引受につき）	横浜万屋安五郎店万屋四郎右衛門他	状	文久3年3月	1	※3-3-1～34で1冊「飯田・奥州生糸関係」
3-3-14	覚（古渡り大黃三千斤代金）		状	（文久3）亥年5月		
3-3-15	覚（飯田生糸五百箇代金割合につき）	安五郎・和三郎	状	（文久3）亥年5月		
3-3-16	覚（近江屋喜代太郎他生糸為替金勘定）		状	文久3年6月		
3-3-17	御預り申一札之事（信州飯田造生糸）	横浜出店万屋安五郎・支配和三郎	状	文久3年7月13日		
3-3-18	（生糸為替金其他口々控書）		横冊	（文久3）亥年7月13日～（元治元）子年2月8日		
3-3-19	御預り申一札之事（信州飯田領生糸）	横浜出店万屋安五郎・店支配人和三郎	状	文久3年8月朔日		
3-3-20	借用申金子之事（金50両借用）	万屋安五郎・忍屋和三郎	状	（文久3）亥年8月23日		
3-3-21	覚（上州前橋吹生糸為替金借用につき）	万屋安五郎・岡田和三郎	綴	（文久3）亥年9月10日		
3-3-22	覚（金400両預り）	万屋安五郎・忍屋和三郎	状	文久3年10月5日		
3-3-23	御預り申金子之事（金60両借用）	万屋安五郎・忍屋和三郎	状	文久3年10月8日		
3-3-24	借用申一札之事（金30両借用）	万屋安五郎・万屋和三郎	状	文久3年10月13日		
3-3-25	借用申金子之事（金250両借用）	万屋安五郎・岡田太郎八	状	文久3年10月15日		
3-3-26	覚（信州飯田青木屋宗兵衛絹糸為替金受取）	若木屋九兵衛	状	文久3年10月22日		
3-3-27	借用申金子之事（金50両借用）	万屋安五郎・万屋和三郎	状	（文久3）亥年10月27日		
3-3-28	（信州飯田近江屋喜代太郎生糸住友店へ預け書付）		状	（文久3）亥年10月		
3-3-29	（生糸出入取調控）	万屋安五郎・岡田和三郎	横冊	文久3年12月朔日		
3-3-30	覚（生糸代金受取）	升屋市右衛門代印升屋因三郎	状	（文久3）亥年12月9日		
3-3-31	借用申金子之事（金166両余借用）	万屋安五郎・岡田和三郎	状	文久3年12月22日		
3-3-32	覚（信州飯田生糸代金）		状	（文久3）亥年12月		
3-3-33	差入申一札之事（生糸為替金三千両借用につき）	万屋安五郎・忍屋和三郎	冊	文久4年3月		
3-3-34	信州飯田領生糸為替一條始末書	市郎右衛門	冊	文久4年8月		
3-3-35	（天笠屋為替金延引一条之儀につき書状）	岡田和三郎	状	（元治元力）2月17日	1	※3-3-35～52で1冊「飯田・奥州生糸関係」

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
3-3-36	覚（生糸為替金延引につき一札）	天笠屋儀右衛門	状	（元治元年）2月20日	1	※3-3-35～52で1冊「飯田・奥州生糸関係」
3-3-37	覚（万屋安五郎損金調書）		状	（元治元）子年3月2日		
3-3-38	覚（塩沢平七生糸受取一札）	泉屋市郎右衛門代久三郎	状	（元治元）子年3月4日		
3-3-39	覚（生糸為替金受取）	近江屋喜代太郎代広助・塩沢平七	綴	（元治元）子年4月4日		
3-3-40	覚（春木屋他生糸為替金取調べ）	安五郎・和三郎	状	（元治元）子年4月6日		
3-3-41	借用申金子之事（金10両借用）	万屋安五郎・万屋和三郎	状	元治元年4月12日		
3-3-42	覚（生糸為替金受取）	近江屋喜代太郎代広助	状	元治元年4月13日		
3-3-43	（近江屋喜代太郎飯田生糸取引勘定書綴）	近江屋喜代太郎代広助	綴	元治元年4月18日～5月10日		
3-3-44	覚（生糸為替金利息）	いせや喜之助	綴	（元治元）子年4月		
3-3-45	覚（飯田生糸代金受取）	大井屋善太郎	状	（元治元年力）5月2日		
3-3-46	覚（金19両2分請取）	都屋四郎左衛門	状	（元治元年）5月3日		
3-3-47	覚（歩合利金受取）	伊勢屋喜之助	状	（元治元）子年5月10日		
3-3-48	仕切書（信州飯田生糸）	万屋四郎右衛門・万屋和三郎	状	（元治元年）5月27日		
3-3-49	為念申入置一札之事（飯田生糸商人春木屋惣兵衛為替金借用につき）	吉邨市郎兵衛目代小泉修蔵他2名	状	元治元年5月		
3-3-50	乍恐以書附奉願上候（嶋吉借財引当荷物差返し之件御執成願）	万屋四郎右衛門店支配人久助	冊	元治元年7月	1	※3-3-53～69で1冊「飯田・奥州生糸関係」
3-3-51	横浜出店議定書之覚	三田南代地町万屋安五郎他	冊	元治元年8月		
3-3-52	上（信州飯田生糸為替金返済猶予願）	三田南代地町万屋安五郎他	冊	元治元年8月		
3-3-53	乍恐以書附御訴奉申上候（宗十郎金之丞より借入金一件につき訴訟並始末書）	三田南代地町万屋安五郎他	綴	元治元年10月15日		
3-3-54	覚（生糸代残金差支につき）	万屋四郎右衛門	状	元治元年10月21日		
3-3-55	覚（信州飯田山村宗十郎生糸売捌方につき）		状	（元治元年力）		
3-3-56	（春木や分飯田生糸取引勘定書）		綴	（元治元年力）		
3-3-57	（飯田山村宗十郎生糸為替金差支等につき申上書）		冊	（元治元年）		
3-3-58	覚（生糸残金受取）	柏屋常太郎	状	元治2年正月22日		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年 月 日	製本冊数	備 考 ・ 参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
3-3-59	生糸一件調書（飯田大倉屋徳兵衛へ生糸 為替金貸付につき）	三田南代地町万屋安五郎他	冊	慶応元年2月19日	1	※3-3-53～69で1冊「飯田・奥州 生糸関係」
3-3-60	覚（万屋他取替金取調べにつき）		状	（慶応元）丑年2月20日		
3-3-61	（奥州生糸、万屋種紙売捌にて損失につ き上申書）	吉村市郎右衛門	冊	慶応元年3月		
3-3-62	議定書之事（生糸取扱方につき）	万屋安五郎・岡田和三郎他	冊	慶応元年閏5月		
3-3-63	覚（横浜出店勘定取調べにつき）	小村吉右衛門	綴	（慶応元年）8月14日		
3-3-64	（近江屋喜代太郎為替借用金延引につ き返答書）		状	（慶応元年）		
3-3-65	以書付奉申上候（大井川満水につき御用 物延引之段断書）	江屋仁三郎	状	（慶応2年）5月6日		
3-3-66	借用申金子証文之事（金15両借用）	芝田町六丁目安兵衛店寅吉	状	慶応3年9月13日		
3-3-67	借用申金子之事（金50両借用）	田町六丁目安兵衛店寅吉	状	慶応3年10月12日		
3-3-68	借用申金子之事（金50両借用、尾州様為 替金之内）	寅吉	状	慶応3年10月12日		
3-3-69	差入申一札之事（横浜出店御厚情預り一 条につき）	芝田町六丁目寅吉	状	慶応3年10月	1	※3-3-70～92で1冊「飯田・奥州 生糸関係」
3-3-70	（生糸儀金之丞方より滝本頼母へ預置に つき書状）	幸三郎	状	正月元日		
3-3-71	（浦賀表昆布仕入一条他につき書状綴）	万屋四郎右衛門店米三郎他	綴	正月5日		
3-3-72	（当方病中につき書状）	万屋安五郎	状	2月17日		
3-3-73	覚（近江屋喜代太郎等為替金取調べにつ き）	万屋安五郎・万屋和三郎	状	3月14日		
3-3-74	覚（遠州屋徳右衛門為替金取調べにつ き）	岡田和三郎	状	3月		
3-3-75	（飯田春木屋生糸江戸表積出之儀につ き書状）		状	4月27日		
3-3-76	横浜万安店在来候品控	小泉修蔵	冊	5月14日		
3-3-77	覚（為替金之内五十両受取）	清蔵代清七	状	10月15日		
3-3-78	覚（唐棧じま代金）	柳屋五兵衛	状	10月20日		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
3-3-79	（為替元金・利金・為替口々計算控）		冊	10月	1	※3-3-70～92で1冊「飯田・奥州生糸関係」
3-3-80	覚（元利金受取）	鴨太助	状	極月9日		
3-3-81	（品物差送りにつき書状）	岡田和三郎	状	極月21日		
3-3-82	（飯田生糸為替金手元昆布代金にて納入につき覚）	万屋安五郎・岡田和三郎	状	極月23日		
3-3-83	（深川遠州屋より生糸荷出之儀につき書付）		状	17日		
3-3-84	（飯田生糸勘定書類）		綴			
3-3-85	覚（生糸売捌勘定書）		状			
3-3-86	（生糸値段之儀につき書状）	伊勢屋文平	状			
3-3-87	覚（山村宗十郎生糸買請につき）		綴			
3-3-88	借用申金子之事（金28両借用）	万屋安五郎・岡田和三郎	状			
3-3-89	風悔情（常陸坊源烈・児島三六他世上騒擾之儀につき申渡）		冊			
3-3-90	（近江屋喜代太郎他飯田生糸商人為替金勘定書）		冊			
3-3-91	飯田生糸見積書（売捌方）		冊		1	※3-3-93～104で1冊「飯田・奥生糸関係」
3-3-92	定式諸掛り（横浜出店諸入用控）		綴			
3-3-93	請取申為替金之事（生糸為替手形）	江戸吉村市郎右衛門	状	元治元年10月2日		
3-3-94	差上申一札之事（盛岡藩住友甚兵衛方へ御預生糸仕入金拝借）	和三郎・吉右衛門・安五郎	冊	元治元年12月		
3-3-95	生糸売込諸掛帳	万屋四郎右衛門	横冊	元治2年正月		
3-3-96	覚（奥州生糸会所改料並運賃受取）	小村吉右衛門・和三郎	綴	慶応元年2月2日～7月27日		
3-3-97	覚（生糸仕入金吉右衛門、和三郎へ貸渡につき）	住友吉次郎店支配人市郎右衛門	状	元治2年2月21日		
3-3-98	覚（奥州生糸仕入金盛岡藩預け金之内より受取）	小村吉右衛門・小村和三郎	綴	元治2年2月22日～4月12日		
3-3-99	覚（生糸代金受取）	江戸松本屋市造	綴	慶応元年2月22日～26日		
3-3-100	（盛岡生糸売払勘定帳）		綴	慶応元年2月22日～7月28日		
3-3-101	覚（生糸代金受取）	定戸喜右衛門・油屋庄次郎	綴	慶応元年2月26日		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年 月 日	製本冊数	備 考 ・ 参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
3-3-102	盛岡様糸代金諸事控	住友吉次郎店支配人吉村市郎右衛門	綴	元治2年2月	1	※3-3-93～104で1冊「飯田・奥生糸関係」
3-3-103	覚（飛脚賃受取）	小村吉右衛門・和三郎	状	慶応元年2月		
3-3-104	覚（洋銀引替之節世話料受取）	小村吉右衛門・和三郎	綴	（慶応元）丑年2月～閏5月		
3-3-105	覚（奥州生糸口銭受取）	松本屋市造	状	（慶応元）丑年3月朔日	1	※3-3-105～118で1冊「飯田・奥生糸関係」
3-3-106	覚（奥州生糸冥加金）	小村吉右衛門	状	（慶応元）丑年3月18日		
3-3-107	覚（運上等諸掛り金受取）	小村吉右衛門・和三郎	綴	（慶応元年）4月28日～6月		
3-3-108	奥州行道中小払帳	小村和三郎・田嶋正七	横冊	慶応元年6月25日		
3-3-109	覚（差込三日便書状受取）	京屋弥兵衛（定飛脚問屋）	状	（慶応元）丑年6月29日		
3-3-110	（生糸相場双方へ掛合書控写）	吉村市郎右衛門・井伊又兵衛・小村吉左衛門	横冊	慶応元年6月		
3-3-111	覚（奥州生糸為替金借用につき）		状	7月20日		
3-3-112	覚（奥州生糸受取）	小村吉右衛門・和三郎	綴	（慶応元年）7月24日～27		
3-3-113	覚（生糸荷物為替料受取）	糸問屋行事	状	慶応元年7月25日		
3-3-114	覚（問屋印鑑引合改につき）		状	（慶応元）丑年7月28日		
3-3-115	御国産生糸并買入生糸取行仕法御受一札之事	住友吉次郎名代店支配人市郎右衛門・又兵衛・大黒屋吉右衛門店支配人友七	状	慶応元年8月		
3-3-116	覚（武蔵屋勇助奥州浜村生糸売払一件）	江戸堀江町武蔵屋勇助他	綴	慶応元年9月2日～17日		
3-3-117	差入申一札之事（南部国産生糸売渡し約定手合金遅延につき）	伊豆蔵屋善兵衛	状	慶応元年9月18日		
3-3-118	慶応元丑年中南部様より生糸一条二付再応御頼談始末書（其二）		冊	慶応元年12月		
3-3-119	慶応元丑年中南部様より生糸一条二付金子預り候始末書（其壱）	市郎右衛門	冊	慶応元年12月	1	※3-3-119～126で1冊「飯田・奥州生糸関係」
3-3-120	（生糸商人預ケ為替金盛岡様取上一件始末書綴）		綴	慶応元年12月～2年8月		
3-3-121	慶応元丑年中南部様より生糸一条二付金子預り候始末書		冊	慶応元年12月		
3-3-122	（奥州生糸売払勘定書綴）		綴	（慶応元年）		
3-3-123	為替手形之事（盛岡生糸関係）		冊	（元治2）丑年		
3-3-124	（奥州生糸取扱為替金勘定書）		綴	（慶応元年）		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
3-3-125	生糸買入勘定差引書（奥州）	小村吉右衛門・小村和三郎	横冊	慶応元年春	1	※3-3-119～126で1冊「飯田・奥州生糸関係」
3-3-126	覚（南部藩預け金差引勘定書）		状	（慶応2）寅年2月12日		
3-3-127	覚（盛岡藩国産生糸役人生糸江戸送り一件書綴）	小村吉右衛門・和三郎他	綴	慶応2年2月～7月11日	1	※3-3-127～135で1冊「飯田・奥州生糸関係」
3-3-128	（奥州生糸売買取調控）	小村吉右衛門	横冊	慶応2年3月		
3-3-129	金銀出入請払控（奥州生糸取扱）	小村吉右衛門	綴	慶応2年3月		
3-3-130	（奥州生糸為替金取扱断につき）	嘉右衛門・源兵衛	状	（慶応2年）4月28日		
3-3-131	指入申一札之事（盛岡藩生糸取扱損失相成につき）	小村吉右衛門・小村和三郎	状	慶応2年5月～10月		
3-3-132	御書付並封廻状留（南部藩）	すミ友	状	慶応2年8月		
3-3-133	南部横田様へ久三郎殿持参之書類		状	（慶応2年）8月		
3-3-134	勘定書（江戸中橋店預け金差引）	大沢潔巳	横冊	（慶応2年）正月		
3-3-135	（盛岡藩生糸一件書類一纏にて差登につき申上）	中橋店	状	明治元年10月7日		※3-3-136～164で1冊「飯田・奥州生糸関係」
3-3-136	（奥州生糸為替金一件書状綴）	南部藩土沢漂巳他	綴	4月4日～11月18日	1	
3-3-137	覚（万屋四郎右衛門宛書状受取）	三ッ喜屋住太郎	状	6月29日		
3-3-138	覚（奥州生糸売込買付見積）		状			
3-3-139	永代売渡申家屋舗之事（三田南代地町北側）	家屋敷売主権兵衛他3名	状	万延元年7月25日		
3-3-140	借用申金子之事（金50両借用）	忍屋太郎八・和三郎・万屋安五郎	状	文久2年12月10日		
3-3-141	御預り申金子之事（生糸引当金2100両預り）	万屋四郎右衛門・万屋安五郎他	状	文久3年2月29日		
3-3-142	書入申借入金証文之事（家屋敷引当金250両借用）	万屋安五郎・岡田太郎八・和三郎	状	文久3年2月		
3-3-143	書入借入金証文之事（三田南代地町家屋敷沽券状引当金）	万屋安五郎・岡田太郎八・和三郎	状	文久3年2月		
3-3-144	入置申規定証文之事（信州飯田産物生糸売捌方依頼につき）	小西衆助・升屋久兵衛他	状	文久3年3月		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
3-3-145	取極申一札之事（信州飯田国産生糸為替金御聞済につき）	万屋安五郎・忍屋和三郎	状	文久3年7月	1	※3-3-136～164で1冊「飯田・奥州生糸関係」
3-3-146	為替預り置之事（信州飯田吹生糸為替金預り一札）	万屋安五郎支配和三郎	状	文久3年10月17日～23日		
3-3-147	借用申金子之事（金50両借用）	堀大和守内勝手役篠田與市左衛門他2名	状	文久3年10月		
3-3-148	差入申一札之事（借用為替金等返済方）	万屋安五郎・忍屋太郎八・和三郎他2名	状	文久3年12月26日		
3-3-149	借用申金子之事（金800両借用）	万屋安五郎・忍屋太郎八・和三郎他	状	文久3年12月26日		
3-3-150	尾州様御貸附所御用立金請取之通	住友店	綴	文久3年12月		
3-3-151	差上申一札之事（借用為替金返済につき）	万屋安五郎・忍屋和三郎	状	文久4年3月		
3-3-152	差上申引当証文之事	万屋四郎右衛門・和三郎・米三郎	綴	文久4年3月		
3-3-153	借用申金子之事（金25両借用）	岡田太郎八・万屋安五郎・岡田和三郎	状	元治元年8月11日		
3-3-154	御預り申金子之事（金15両預り）	万屋安五郎	状	元治元年8月28日		
3-3-155	請取金之通（万屋関係）		状	（慶応元年）5月		
3-3-156	借用申金子之事（金35両借用）	万屋安五郎・忍屋太郎八・和三郎	状	慶応元年12月28日		
3-3-157-1	差加金預申金子之事（金300両受取）	尾州御為替取扱方山中与兵衛	状	慶応元年12月		
3-3-157-2	差加金預申金子之事（金100両受取）	尾州御為替取扱方山中与兵衛	状	慶応元年12月		
3-3-158	差入申一札之事（南部屋敷生糸取扱方不始末につき）	小村吉右衛門・小村和三郎	状	慶応2年5月		
3-3-159	指入申一札之事（南部屋敷生糸取扱方不始末につき）	小村吉右衛門・小村和三郎	状	慶応2年10月		
3-3-160	差入申一札之事（万屋安五郎借用銀帳消につき）	小泉修蔵・高橋仙八	綴/状	慶応3年3月		
3-3-161	差入申一札之事（万屋安五郎借用銀帳消）	高橋仙八・小泉修蔵	状	慶応3年3月		
3-3-162	差入申一札之事（尾州様為替金引受）	吉村市郎右衛門	状	慶応3年7月		
3-3-163	差上申一札之事（万屋安五郎困窮助力金受領につき）	三田南代地町親類総代米蔵他	状	慶応4年2月		
3-3-164	覚（干鮑代金為替手形）	大黒屋吉右衛門・友七	状	慶応元年10月12日		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
3-4-1-1	預り申金子之事（浜松藩積講金借用証文）	升屋源四郎・忠七	状	文政7年6月	1	※3-4-1-1～33で1冊「諸方講二係ル書類」
3-4-1-2	預り申金子之事（浜松藩積講金借用証文）	泉屋吉次郎・泉屋久右衛門	状	文政7年6月		
3-4-1-3	覚（浜松藩積金借用証文）	升屋源四郎	状	（文政8）酉年3月		
3-4-1-4	預申金子之事（浜松藩積講金泉屋方取次借用証文）	後藤縫殿助内橋本権兵衛他	状	文政8年4月		
3-4-1-5	覚（浜松藩積講金借用証文）	島屋吉兵衛	状	文政8年4月		
3-4-1-6	預り申金子之事（浜松藩積講手取金預り覚）	泉屋吉次郎・升屋源四郎	状	文政8年4月		
3-4-1-7	預申金子之事（浜松藩積講金借用証文）	水野左近将監内元メ役朝生清太郎他3名	状	文政8年4月		
3-4-1-8	覚（浜松藩積講金預り覚）	泉屋吉次郎	状	（文政8）酉年4月		
3-4-1-9	借用申金子之事（浜松藩積講金借用証文）	山形屋清次郎・長尾覚左衛門	状	文政8年7月		
3-4-1-10	覚（浜松藩積講金借用証文）	升屋源四郎	状	文政8年11月26日		
3-4-1-11	覚（浜松藩積講金借用証文）	升屋源四郎	状	文政8年11月26日		
3-4-1-12	おほへ書（浜松藩積金講覚書）		横冊	（文政8）酉年11月26日		
3-4-1-13	覚（講当り金受取覚）	後藤縫殿助内長尾覚左衛門	状	文政8年12月11日		
3-4-1-14	五十人講三會目算用書（浜松藩）		横冊	（文政8）酉年12月		
3-4-1-15	拾式人講三會目算用書（浜松藩）		横冊	（文政8）酉年12月		
3-4-1-16	覚（浜松藩新取立講当關手取金受取）	水野左近将監内朝生清太郎他3名	状	文政9年4月3日		
3-4-1-17	覚（浜松藩新講当關手取金受取）	水野将監内朝生清太郎	状	（文政9）戌年8月19日		
3-4-1-18	覚（浜松藩新取立講当關手取金受取）	水野左近将監内朝生清太郎他3名	状	文政9年8月19日		
3-4-1-19	預申金子之事（浜松藩積講金借用証文）	古川八十次郎・別家伊右衛門	状	文政9年10月		
3-4-1-20	日光積金掛金之分戌六月ヨリ同十二月迄之分（積金掛金元利計算書）		状	（文政9）戌年12月		
3-4-1-21	覚（戌年浜松様積金講月賦金元利勘定）	切通元メ方	状	（文政10）亥年正月		
3-4-1-22	覚（金462両2分請取）	水野越前守内室庄九郎	状	（文政10）亥年8月晦日		
3-4-1-23	一札之事（浜松藩積講掛金借用）	松本宇兵衛	状	文政10年11月26日		
3-4-1-24	預申金子之事（浜松藩積講金住友取次にて借用証文）	小西屋宗兵衛・小西屋吉五郎	状	文政11年4月		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
3-4-1-25	預申金子之事（日光積金之内借用証文）	浜松藩水野越前守内朝生清太郎他2名	状	文政11年6月	1	※3-4-1-1～33で1冊「諸方講二 係ル書類」
3-4-1-26	預り申金子之事（浜松藩積講金住友取次 にて借用証文）	松本屋平八郎・宇兵衛	状	文政11年7月		
3-4-1-27	覚（日光積金のうち1000両受取）	浜松藩水野越前守内朝生清太郎他2名	状	文政11年11月27日		
3-4-1-28	覚（浜松藩積講雑勘定書綴）		綴	12月		
3-4-1-29	覚（浜松藩積講金借用証文）	田中半十郎・田中長助	状	文政12年2月晦日		
3-4-1-30	御為替預渡之通	住友吉次郎	横冊	天保4年4月		
3-4-1-31	浜松様積金講名簿		横冊			
3-4-1-32	勢州領分銀山御見分御頼申上候二付是迄 之手続書	加納遠江守家来銀銅山掛吉川孫太夫	冊	（安政4）巳年12月		
3-4-1-33	口上扣（勢州治田銀銅山見分始末口上 控）		冊	（安政5年）3月		
3-4-1-34	治田両山銀銅ヶ所附并二見分書上写	住友吉次郎別家阿部彦助	横冊	安政5年5月	1	※3-4-1-34～47で1冊「諸方講二 係ル書類」
3-4-1-35	銀山永続講仕様帳（勢州治田銀山）	加納遠江守内勝手方勘定奉行玉置源左衛門	冊	安政5年		
3-4-1-36	覚（金銀引替御手当銀等銀子受取）	松山藩内用方	綴	卯年12月26日～申年7月6日		
3-4-1-37	乍恐以書付奉願上候（国表引替金銀残り 分滞につき延約願）	泉屋盛六代判助七	状	辰年8月		
3-4-1-38	覚（周防守勝手方積金破講につき）	大谷作兵衛・大達小十郎	状	寅年11月朔日		
3-4-1-39	積金仕法帳（松林院）	大達小十郎・大谷作兵衛	冊	巳年12月		
3-4-1-40	預り申金子之事（金2両借用）	泉屋義助	状	嘉永5年10月		
3-4-1-41	借入金引当証文之事（金10両借用）	花田宗澤	状	嘉永5年11月		
3-4-1-42	引取申一札之事（新七病気につき御暇）	南伝馬町三丁目重左衛門地借宗平	状	万延元年12月3日		
3-4-1-43	覚（為替打銀等勘定書）		綴			
3-4-1-44	覚（打銀等銀子受取）	紙屋藤右衛門	綴	（天保11）子年3月2日～ （嘉永4）亥年12月28日		
3-4-1-45	覚（打銀等銀子受取）	嶋田店	綴	（天保11）子年7月晦日～ （嘉永元）申年6月29日		
3-4-1-46	覚（打銀等銀子受取）	嶋屋喜造	綴	（天保11）子年3月30日～ （嘉永元）申年6月27日		
3-4-1-47	覚（預り手形）	泉屋伴兵衛	綴	丑年3月		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年 月 日	製本冊数	備 考 ・ 参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
3-5-1-1	（長崎産物会所雑勘定書綴）		綴	（慶応2年）寅正月～8月28	1	※3-5-1-1～3-5-1-16で1冊
3-5-1-2	御振出御切手寅三月十一日より十月廿日迄之分下控（長崎産物会所振出切手）	住友吉左衛門	冊	（慶応2年）3月11日～10月20日		
3-5-1-3	（長崎産物会所金銀出方につき達並切手雛形）	定役上村井鍵之助・定役元々中村良平	状	（慶応2年）寅3月		
3-5-1-4	乍恐以書付奉申上候（長崎産物会所掛屋御用向手続につき）	住友吉左衛門	冊	（慶応2年）寅3月		
3-5-1-5	奉差上御請書之事（長崎産物会所掛屋改めて任命につき）	住友吉左衛門	状	慶応2年3月		
3-5-1-6	乍恐以書付奉申上候（長崎産物会所掛屋御用請書）		状	（慶応2年）		
3-5-1-7	乍恐口上（銅代金五千両下り渡し願）	住友吉左衛門	状	（慶応2）寅年6月21日		
3-5-1-8	覚（長崎産物会所受取切手）	長崎産物会所	状	（慶応2年）寅12月24日～（慶応3年）卯11月16日		
3-5-1-9	（長崎産物会所詰上村井着坂につき金銀取扱方達）		状	（慶応3）卯年正月		
3-5-1-10	（長崎産物会所詰椿氏着坂につき金銀取扱方達）		状	（慶応3年）2月		
3-5-1-11	辰正月中御金銀請払勘定帳	住友吉左衛門	冊	（慶応4年）正月29日		
3-5-1-12	（産物方差引預り金上納皆済につき受取書）	長崎取締助役長江晋作	状	（慶応4）辰年閏4月10日		
3-5-1-13	（従弟再願筋之儀等依頼書状）	多田宣平	状	2月10日		
3-5-1-14	（長崎産物会所詰吉岡良太夫出府中金銀取扱方達）		状	7月22日		
3-5-1-15	（長崎産物会所詰伊藤着坂につき金銀取扱方達書）		状	10月2日		
3-5-1-16	（長崎産物会所役人印鑑）		状		1	※3-5-2-0～3-5-2-3-2で1冊
3-5-2-0	（中橋店仕法帳面等入袋）		袋			
3-5-2-1-0	中橋店仕法帳面入 五冊		袋	（天保6年）		
3-5-2-1-1	当用・頼母子・月割・年賦・永代取替内訳精帳	中橋店	冊	天保6年		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年 月 日	製本冊数	備 考 ・ 参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
3-5-2-1-2	有物請払之精帳	江戸中橋	冊	天保6年	1	※3-5-2-0～3-5-2-3-2で1冊
3-5-2-1-3	金銀請払勘定帳	江戸中橋	冊	天保6年		
3-5-2-1-4	五ヶ年平均見積り勘定（中橋店）		冊	天保7年		
3-5-2-1-5	中橋店仕法書		冊	（天保7年）		
3-5-2-2	御仕法向状案控（江戸中橋店）		冊	天保8年		
3-5-2-3-1	中橋店支配交代引継一件（太兵衛より直蔵へ交代）	泉屋会所	冊	享和4年正月		
3-5-2-3-2	中橋店支配交代引継一件（直蔵より久右衛門へ交代）	住友両替店	冊	文政4年3月	1	※3-5-2-3-3～3-5-2-4-10で1冊
3-5-2-3-3	文政八酉年中橋支配人久右衛門晋右衛門へ交代諸用控		冊	文政8年2月		
3-5-2-3-4	中橋支配人晋右衛門より全九郎江交代引継一件	住友両替店	冊	文政12年3月		
3-5-2-3-5	全九郎より喜十郎へ支配役引継一件書	中橋両替店	冊	天保13年4月		
3-5-2-3-6	安政三辰年中橋正木町支配人又兵衛より市郎右衛門江引継一件書	住友店	冊	安政3年10月		
3-5-2-4-1	普請書附入		袋	嘉永2年4月		
3-5-2-4-2	覚（中橋正木町店移転につき普請請負覚綴）	大坂屋熊次郎他	綴	嘉永2年3月～7月14日		
3-5-2-4-3	覚（中橋正木町店移転につき普請代金受取綴）	家根屋長四郎他	綴	嘉永2年4月12日～7月14日		
3-5-2-4-4	表裏御長家御修覆仕様（中橋正木町店）	大坂屋熊次郎	冊	嘉永2年4月		
3-5-2-4-5	（当暮分約定金受渡日につき書状）	柴田民三	状	（嘉永2年）12月19日		
3-5-2-4-6	（中橋正木町店金銀出入勘定書）		状	（嘉永2年）		
3-5-2-4-7	中橋南榎町御店普請之節要用書類在中		袋	安政4年		
3-5-2-4-8	正木町ヨリ南榎町川岸江引移普請入用控	住友会所	横冊	安政4年正月	1	※3-5-2-4-11～3-5-2-4-23で1冊
3-5-2-4-9	御定用之通（南榎町移転普請関係）	大坂屋熊治郎	横冊	安政4年正月		
3-5-2-4-10	左官方之通（南榎町移転普請関係）	左官仁兵衛	横冊	安政4年5月		
3-5-2-4-11	覚（諸職人受負積り書之分別子五枚入り、中橋南榎町へ移転につき普請見積書綴）	大坂屋熊次郎他	綴	安政4年正月～3月		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年 月 日	製本冊数	備 考 ・ 参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
3-5-2-4-12	覚（中橋南榎町移転につき普請代金請取綴）	瓦師三右衛門他	綴	安政4年3月～5月	1	※3-5-2-4-11～3-5-2-4-23で1冊
3-5-2-4-13	普請請負仕法書并諸払請取書類入	中橋店	袋	安政5年12月		
3-5-2-4-14	中橋御店様新規建御住居荒増仕様帳	大坂屋熊治郎	冊	安政5年12月		
3-5-2-4-15	御土蔵壺ヶ所塗り直し仕様御積り（中橋南榎町店）	左官善兵衛	冊	安政5年12月		
3-5-2-4-16	普請諸払受取書（中橋南榎町店）	薦秀蔵他	綴	安政6年2月25日～8月		
3-5-2-4-17	普請用諸払帳（南榎町店）	中橋住友店	横冊	安政6年3月		
3-5-2-4-18	御普請諸方臨時共調帳（南榎町店）	大坂屋熊治郎	横冊	安政6年4月～8月		
3-5-2-4-19	普請用書付類入最大切之物也		袋	安政6年3月		
3-5-2-4-20	安政六末年普請入用諸払巨細之帳面并出入方請取書付共翌申年閏三月廿四日出を以本家表へ為差登依之委敷書付控無之相對之一札者精帳下訳書也墨記筆不分明粗因之可見故為念除置		包紙	安政6年3月		
3-5-2-4-21	普請受負代金并諸入用（南榎町店）		横半	安政6年3月		
3-5-2-4-22	徒移祝赤飯相送候分（送り先書き付け）		横冊	（安政6年3月）		
3-5-2-4-23	覚（中橋南榎町店穴蔵修造代金覚綴）	明石屋長八	綴	文久元年5月25日	1	※3-5-3-0～3-5-3-6で1冊
3-5-3-0	（友視公家督譲受一件書他入袋）		袋			
3-5-3-1	従友聞公友視公江御家督譲受一件書	中橋両替店	冊	弘化2年7月		
3-5-3-2	従友訓公友親公江御家督譲請一件書	中橋店	冊	慶応元年4月		
3-5-3-3	御内進物御勘定帳（買請米廃止一件につき）	卯兵衛・市郎右衛門	冊	（慶応3年）3月		
3-5-3-4-1	三田江年中贈物控		冊	文政12年		
3-5-3-4-2	三田入用控		冊	（文政12年）		
3-5-3-5	御老中脇坂中務大輔大輔様大坂御巡見控	住友会所	冊	安政4年10月		
3-5-3-6	元禄九子年参宮覚（伊勢参宮道中記並入用之覚）		冊	元禄9年	1	※3-6-0-1～3-6-22で1冊
3-6-0-1	諸家様方年賦証文入		袋			
3-6-0-2	（証文入包紙）		包紙			

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年 月 日	製本冊数	備 考 ・ 参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
3-6-1	覚（銀10貫目借用）	泉屋金右衛門・仁右衛門	状	明和6年5月	1	※3-6-0-1～3-6-22で1冊
3-6-2	奉追願上候口上	御内金右衛門・仁右衛門	状	明和6年5月		
3-6-3	定証文（笹山藩御用金差出につき）	佐々木十内他10名	状	天明3年12月		
3-6-4	米切手入替証文之事（明石米切手引当銀子借用証文）	具足屋伊右衛門他	綴	寛政5年7月		
3-6-5	枝証文之事（明石藩融通銀加入要用銀）	具足屋伊右衛門	状	寛政9年12月		
3-6-6	枝証文之事（明石藩銀子借用）	具足屋伊右衛門	状	寛政9年12月		
3-6-7	覚（田安御下ヶ金喜連川様普請金につき借用証文）	中橋模町惣五郎他4名	綴	文化7年8月16日		
3-6-8	借用申金子之事（金20両借用）	斎藤勝平他2名	状	文化7年8月		
3-6-9	借用申金子之事（金100両借用）	一橋様奉行大屋春次郎内谷嶋平学他1名	綴	文化7年9月		
3-6-10	借用申金子之事（金100両借用）	松平伊勢守内三浦仙右衛門他4名	状	文化8年6月		
3-6-11	借用申金子之事（金200両借用）	阿久沢弥平次手代舟橋大八	状	文化9年11月20日		
3-6-12	借用申金子之事（金100両借用）	阿久沢弥平次手代舟橋大八	状	文化9年12月16日		
3-6-13	恩借申金子之事（金10両借用）	金子拝借人北鞘町松坂屋喜右衛門他2名	状	文化10年9月		
3-6-14	覚（御用金請取書）	備後番所	状	文化10年10月晦日		
3-6-15	借用申金子之事（金20両借用）	金子借人松坂屋喜右衛門他1名	状	文化12年3月19日		
3-6-16	借用申金子之事（金740両借用）	駿河屋源七他3名	状	文化15年2月晦日		
3-6-17	差入申一札之事（田安御小人水野善助老母養育金預り証文）	田安御小人水野善助	綴	文政元年11月		
3-6-18-1	拝借申銀子之事（銀20貫目借用）	上柳彦兵衛代若森三之助	状	文政元年12月		
3-6-18-2	覚（銀2貫550目手形引替）	田村弥三治	状	文政2年8月19日		
3-6-18-3	覚（金18両手形受取）	石川亮平	状	文政10年12月12日		
3-6-18-4	覚（金2000両手形預り）	前田藤十郎	状	文化10年9月21日		
3-6-18-5	覚（金30両預り元金）	田村弥三治	状	文政10年2月24日		
3-6-18-6	請取申金子之事（金20両請取）	栄蝶院他1名	状	文政10年12月朔日		
3-6-19	議定一札之事（延岡藩勝手向俵約中之儀につき依頼方）	延岡藩内藤備後守家老内藤治部左衛門	状	文政2年3月		
3-6-20	土州様覚帳（家中借用証文）	住友店	横冊	文政2年4月		
3-6-21	借用申金子之事（金30両借用）	阿久沢修理手代中村廉右衛門	状	文政2年12月		
3-6-22	土州様証文入（家中借用証文綴）		綴	文政2年3月13日		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
3-6-23	覚（古橋隼人代官所年貢金並御用金口々 預り手形）	古橋隼人内田口五郎左衛門手附館雄次郎他 1名	状	文政3年7月	1	※3-6-23～3-6-38で1冊
3-6-24	乍恐以書付奉願上候（融通銀返済方願書 下書）	住友吉次郎	状	文政3年9月		
3-6-25	覚（預け銀渡方依頼書）	阿久沢修理手代中村廉右衛門	状	文政3年11月27日		
3-6-26	覚（預け金受取書）	阿久沢修理手代中村廉右衛門他1名	状	文政3年12月3日		
3-6-27	入置申添証文之事（借用滞金返済方添証 文）	阿久沢修理手代中村廉右衛門他1名	状	文政3年12月		
3-6-28	覚（預け金銀受取手形）	阿久沢修理手代他	綴	文政3年～5年		
3-6-29	乍恐以書付奉願上候（融通銀返済方願 書）	住友吉次郎名代直蔵	状	文政4年2月晦日		
3-6-30	借用申金子之事（金300両立替）	辻甚太郎手代武井美右衛門他1名	状	文政4年5月		
3-6-31-1	借用申金子之事（金4500両余借用）	辻甚太郎手代武井美右衛門他3名	状	文政4年5月		
3-6-31-2	借用申金子添証文之事（金4500両余借 用）	辻甚太郎知行所野州安蘇郡新吉水村百姓代 半蔵他5名	状	（文政4年5月）		
3-6-32	借用申金子之事（金150両借用）	借用人重三郎他2名	状	文政4年7月		
3-6-33	借用申金子之事（金25両借用）	森本什四郎他1名	状	文政4年12月		
3-6-34-1	売渡申証文之事（建家・諸道具売渡証 文）	松本屋十三郎他4名	綴	文政5年3月		
3-6-34-2	諸道具調控	松本屋十三郎他4名	横冊	文政5年閏正月		
3-6-35	入置申添証文之事（金40両返済方につ き）	伊勢屋惣五郎	状	文政5年5月15日		
3-6-36	借用申金子之事（金30両借用）	長谷川図書内加藤右門他2名	状	文政5年7月		
3-6-37	入置申別紙証文之事（借入金200両田安 役料を以て返済につき）	村上大和守内斎藤与左衛門他1名	状	文政5年10月		
3-6-38	添証文之事（金200両借用）	村上大和守内斎藤三郎兵衛他1名	状	文政6年11月	1	※3-6-39～3-6-46-2で1冊
3-6-39	借用申御金之事（田安家御下げ金長谷川 図書借用につき郷印証文）	長谷川図書知行所遠州城東郡子隣村他村役 人	綴	文政6年12月		
3-6-40	奉拝借金之事（青蓮院祠堂金借用証 文）	牧野中務内崎山助右衛門他	綴	文政6年12月		
3-6-41	沓ヶ年暮方入用帳	松井和多理・後藤又市・加藤右門	冊	（文政7）申年8月		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年 月 日	製本冊数	備 考 ・ 参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
3-6-42	収納米仕訳ケ書	長谷川図書内松井和多理・後藤又市・加藤	冊	文政7年8月	1	※3-6-39～3-6-46-2で1冊
3-6-43	月々定式仕訳帳	松井和多理・後藤又市・加藤右門	冊	文政7年8月		
3-6-44	覚（村方へ御貸付金300両依頼につき）	長谷川図書内加藤右門・後藤又市・松井和	状	（文政7）申年8月		
3-6-45	差出シ申一札之事（物成米取計心得方）	遠州13ヶ村惣代西貝塚村庄屋庄兵衛他1名	状	文政7年8月		
3-6-46-1	借用申金子之事（金15両借用）	長谷川図書内加藤右門他2名	状	文政7年閏8月		
3-6-46-2	借用申金子之事（金130両借用）	長谷川図書内加藤右門他2名	状	文政7年閏8月		
3-6-47	借用申金子之事（田安御下げ金長谷川図書借用郷印証文）	長谷川図書知行所遠州13ヶ村	綴	文政7年11月	1	※3-6-47～3-6-69で1冊
3-6-48-0	相済手形不用之分（請取手形入包紙）		包紙	（文政7年）		
3-6-48-1	借用申金子之事（金60両借用）	長谷川図書内加藤右門他2名	状	文政7年12月		
3-6-48-2	借用申金子之事（金125両借用）	長谷川図書内加藤右門他1名	状	文政9年6月		
3-6-48-3	覚（浜崎様より渡金寅年分18両請取）	福田清作	状			
3-6-49	請取申金子之事（勝手賄金受取書綴）	長谷川図書内加藤右門他	綴	文政7年4月～12月		
3-6-50	借入金証文之事（金80両借用）	借主大坂屋武七他	状	文政8年4月17日		
3-6-51	御拝借金証文之事（金20両借用）	借用人清兵衛・組合理兵衛	状	文政9年11月24日		
3-6-52	覚（金25両借用）	いせ屋作兵衛	状	（文政10）亥年3月晦日		
3-6-53	覚（金子借用せず証文差戻につき）	辻六郎左衛門元メ手代高橋仁太夫	状	文政10年5月2日		
3-6-54	入置申一札之事（田安家公用下金借用置居につき）	伊勢松坂在中万村伊勢屋源兵衛	状	文政10年10月27日		
3-6-55	為替金先受取証文之事（延岡藩為替金引当金子借用）	内藤備後守内山下喜久七他4名	状	文政10年12月		
3-6-56	為替金先受取証文之事（延岡藩為替金引当金子借用）	内藤備後守内平野孫右衛門他5名	状	文政11年2月		
3-6-57	借用申金子之事（延岡藩田安様御下金借用）	内藤備後守内平野孫右衛門他8名	状	文政11年8月		
3-6-58	御頼談書（借用滞金返済方につき）	田中半十郎・田中長助	状	文政12年2月		
3-6-59	借用申証文之事（金30両借用）	岡本三左衛門	状	文政12年10月		
3-6-60	預り申金子之事（年賦預り金証文並差入一札）	田中半十郎・田中長助	状	文政4・11・13年3・正・5月		
3-6-61	一札（貸付金返済方につき）	住友吉次郎名代全九郎	状	文政13年		
3-6-62	覚（金300両借用）	又兵衛	状	天保2年10月19日		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
3-6-63	覚（金10両借用）	田安家高橋次太夫	状	天保2年11月	1	※3-6-47～3-6-69で1冊
3-6-64	書付之事（延岡藩借入金下につき返済方）	内藤備後守内荻野銀三郎他3名	状	天保3年正月		
3-6-65	加金証文之事（竹谷四郎兵衛借入金中へ加金）	半田久蔵・村井新七	状	天保3年10月		
3-6-66	預申一札之事（盛岡荒銅運賃預りにつき）	竹谷四郎兵衛	状	天保3年12月13日		
3-6-67	預り申一札之事（盛岡銅運賃）	竹谷四郎兵衛	状	天保4年5月3日		
3-6-68	借用申金子証文之事（金100両借用）	佐藤一・喜惣次	状	天保4年7月		
3-6-69	借用申証文之事（金20両借用）	竹谷四郎兵衛	状	天保4年12月26日	1	※3-6-70～3-6-99で1冊
3-6-70	借用申金子之事（返済方綴）	男谷彦四郎内吉子又七	綴	天保5年8月～嘉永3年9月		
3-6-71	借用証文之事（金17両借用）	竹谷四郎兵衛・泰蔵	状	天保7年3月3日		
3-6-72	預り申金子之事（金子借用証文）	田中半十郎他	綴	天保7年3月～安政3年5月		
3-6-73	借用申金子之事（水沢廻銅口銀引当金）	竹谷四郎兵衛	状	天保7年7月		
3-6-74	入置申一札之事（会田弥兵衛借入金引受）	浅草平右衛門町喜八店会田屋林蔵	状	天保8年2月10日		
3-6-75	借用申金子之事（田安家御下げ金500両借用）	越ヶ谷宿会田弥兵衛他2名	状	天保8年2月10日		
3-6-76	借用申金子之事（田安家御用金265両借用）	越ヶ谷宿会田弥兵衛他2名	状	天保8年2月		
3-6-77	覚（金5両借用）	竹谷四郎兵衛	状	天保8年3月		
3-6-78-1	預り金証文之事（金100両借用）	筒井伊賀守内青砥秀次郎	状	天保8年10月		
3-6-78-2	（金子借用につき書状）	筒井伊賀守内青砥秀次郎	状	天保8年10月11日		
3-6-79	借用申金子之事（家業要用につき金250両・350両借用）	泉屋平右衛門	状	天保9年6月		
3-6-80	覚（金350両滞金返済方）	越谷宿会田弥兵衛他2名	状	天保9年9月29日		
3-6-81	借用申金子之事（家業要用につき金600両借用）	泉屋平右衛門	状	天保9年12月		
3-6-82	借用申金子之事（田安御屋形御用金借用）	内藤能登守内草野喜八郎他7名	状	天保11年正月		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
3-6-83	(倉敷代官所公用預り金清算につき為取替一札)	倉敷代官所大原四郎右衛門手付大塚衝右衛門	綴	天保11年3月	1	※3-6-70～3-6-99で1冊
3-6-84	(金子借用方依頼書)	筒井紀伊守内青砥秀次郎	状	天保11年5月		
3-6-85	借用申金子之事(金100両借用)	借主伊阿弥伊勢・証人三富正蔵	状	天保13年5月		
3-6-86	入置申一札之事(借入金利息支払猶予につき)	伊阿弥伊勢	状	天保13年7月		
3-6-87	借用申金子之事(金20両借用)	会田屋林蔵	状	天保13年8月23日		
3-6-88	借用申金子之事(金200両借用)	借主伊阿弥出雲・証人三富正蔵	状	天保13年10月		
3-6-89	御年賦金請取通	住友甚兵衛	横半	天保14年7月		
3-6-90-1	入置申一札之事(金100両借用)	石川奎之助	状	天保15年3月		
3-6-90-2	書付(返済方勘弁願につき)	石川奎之助	状	弘化4年12月22日		
3-6-91	借用申金子之事(田安御下金白河藩借用証文並添証文)	阿部能登守内勘定頭取八木橋栄蔵他	状	天保15年6月		
3-6-92-1	差入申一札之事(借用金差引勘定済口)	後藤四郎兵衛	状	天保15年10月		
3-6-92-2	覚(借用金差引勘定)	(後藤四郎兵衛)	状	(弘化元年10月)		
3-6-93	演舌書(松平周防守借用金置据頼談)	味岡東馬・文伝兵蔵	状	弘化2年2月		
3-6-94	借用申金子之事(旦那勝手向入用につき借用残金再借用願)	井伊家内前沢儀平他2名	状	弘化3年9月		
3-6-95	借用申金子之事(金200両借用)	借主清須美源太郎・証人小林鉄次郎	状	弘化3年12月		
3-6-96	差入申一札之事(借用金谷中本村上リ商米ヲ以返済につき)	牧野中務跡目牧野八太夫内神山篤兵衛・崎山助右衛門	状	弘化3年		
3-6-97	(安松八郎右衛門預り金始末書綴)	住友吉次郎	綴	弘化4年4月～文久2年11月6		
3-6-98	借用申金子之事(金200両借用)	借主清須美源太郎・証人小林鉄次郎	状	弘化4年6月		
3-6-99	乍憚以書付奉願上候(金子借用依頼)	末家徳右衛門・証人平右衛門	状	弘化4年9月		
3-6-100	(高柳より金子借用関係綴)	高柳権十郎	綴	弘化4年～5年	1	※3-6-100～3-6-129で1冊
3-6-101	(熊野三山修復金借請証文綴)	豊後町泉屋甚次郎他	綴	嘉永元年5月～安政3年5月		
3-6-102	借用申金子之事(金20両借用)	借主後藤四郎兵衛・証人嶋村栄治郎	状	嘉永元年7月28日		
3-6-103	入置申一札之事(田安家御下げ金返済立替金借用証文)	勢州松坂在中間村源兵衛他	状	嘉永元年10月		
3-6-104	覚(金50両借用証文)	村井忠蔵・村井鉄五郎	状	嘉永元年12月		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
3-6-105	借用申金子之事（金50両借用）	借主泉屋徳右衛門、徳兵衛	状	嘉永元年11月	1	※3-6-100～3-6-129で1冊
3-6-106	差入申一札之事（借用滞金返済方）	田中栄蔵	状	嘉永2年2月		
3-6-107	預り申金子之事（金200両借用）	田中栄蔵	状	嘉永2年2月		
3-6-108	御頼申上候口上之覚（借用滞金返済方頼談につき）	田中半十郎・田中長助	状	（嘉永2）酉年2月		
3-6-109-1	借用申金子之事（金80両借用）	中村弥太夫、弥惣兵衛	状	嘉永2年2月		
3-6-109-2	入置申一札之事（元利皆済分手形紛失有之につき）	中村弥太夫	状	嘉永2年2月		
3-6-110	借用申金子之事（金100両借用）	借主別家泉屋徳右衛門・平右衛門	状	嘉永2年2月		
3-6-111	借入金之事（金20両借用）	関十次郎	状	嘉永2年5月		
3-6-112	覚（年賦金返済帳）	住友	横冊	嘉永2年		
3-6-113	差上申一札之事（借財返済方につき）	徳右衛門	状	嘉永2年8月		
3-6-114	（預り金年賦返納証文綴）	住友吉次郎名代又兵衛他	綴	嘉永3年2月～文久3年8月2		
3-6-115	御為替銀請取申手形之事（銀170貫目）	泉屋甚次郎代判伴兵衛他2名	状	嘉永3年8月		
3-6-116	御為替銀置手形之事（別紙銀170貫目為替本手形相渡候につき）	泉屋甚次郎代判伴兵衛他2名	状	嘉永3年8月		
3-6-117	一札（江戸御為替銀返済方約定）	泉屋甚次郎代判伴兵衛他2名	状	嘉永3年8月		
3-6-118	御為替銀置手形之事（別紙銀10貫目為替本手形相渡候につき）	泉屋甚次郎代判伴兵衛他2名	状	嘉永3年8月		
3-6-119	御為替銀請取申手形之事（銀10貫目）	泉屋甚次郎代判伴兵衛他2名	状	嘉永3年8月		
3-6-120	（泉屋甚次郎代判他印鑑書）		状	嘉永3年～6年		
3-6-121	御為替銀請取申手形之事（銀85貫500目）	泉屋甚次郎代判伴兵衛他2名	状	嘉永4年3月		
3-6-122	御為替銀置手形之事（別紙銀85貫500目為替本手形相渡候につき）	泉屋甚次郎代判伴兵衛他2名	状	嘉永4年3月		
3-6-123	証文之事（江戸御為替銀受取引当証文）	泉屋甚次郎代判伴兵衛他2名	状	嘉永4年3月		
3-6-124	覚（金1両借用）	伊勢屋正次郎	状	嘉永4年5月		
3-6-125	（後藤四郎兵衛引請金借入一札綴）	平野屋平八	綴	嘉永4年6月		
3-6-126	借入金証文之事（金8両借用）	上槇町元家守借主喜四郎・請人吉兵衛	状	嘉永4年11月		
3-6-127	借用申金子之事（金20両借用）	泉屋平右衛門	状	嘉永4年11月		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
3-6-128	(一宮藩預け金利息受取綴)	加納備中守内吉川源太夫他	綴	嘉永4年12月27日～安政5年3月朔日	1	※3-6-100～3-6-129で1冊
3-6-129	(知恩院宮様御用途銀拝借証文綴)	泉屋甚次郎代判伴兵衛他	綴	嘉永4年12月		
3-6-130	(内藤様借用金年賦返済方一件綴)	内藤能登守内長谷川秀七他	綴	嘉永4年～安政4年	1	※3-6-130～3-6-167で1冊
3-6-131	預り申銀子之事(銀3貫目借用)	泉屋林之助他3名	状	嘉永5年10月		
3-6-132	御為替銀請取申手形之事(銀3貫500目)	泉屋甚次郎代判伴兵衛他2名	状	嘉永6年8月		
3-6-133	御為替銀請取申手形之事(銀85貫500目)	泉屋甚次郎代判伴兵衛他2名	状	嘉永6年8月		
3-6-134	御為替銀置手形之事(別紙銀3貫500目為替本手形相渡候につき)	泉屋甚次郎代判伴兵衛他2名	状	嘉永6年8月		
3-6-135	御為替銀置手形之事(別紙銀85貫500目為替本手形相渡候につき)	泉屋甚次郎代判伴兵衛他2名	状	嘉永6年8月		
3-6-136	拝借申金子之事(金1両借用)	肴屋寅吉	状	嘉永6年10月23日		
3-6-137	拝借申金子之事(金3両借用)	泉屋金助	状	嘉永6年10月26日		
3-6-138	奉拝借御銀之事(智恩院宮様御用途銀拝借証文)	泉屋甚次郎代判伴兵衛他2名	状	嘉永7年9月		
3-6-139	添書一札之事(実父松岡肇金15両借用添証文)	前田老之助	状	安政元年12月		
3-6-140	奉拝借御銀之事(智恩院宮様御用途銀拝借証文)	泉屋甚次郎代判伴兵衛他	状	安政2年5月		
3-6-141	覚(金300両借用証文)	五十崎順蔵	状	安政2年7月2日		
3-6-142	入置申一札之事(白河藩借用金利息延納聞届につき一札並書状)	阿部播磨守内国島永左衛門他	綴	安政2年12月		
3-6-143	一札之事(積金講脱退跡掛屋引受一札並追書)	嶋勾当・嶋村素雲	綴	安政3年3月		
3-6-144	約定一札之事(家屋敷譲り受につき)	京都川端親類小西屋勘兵衛	状	安政3年6月		
3-6-145	借用申金子之事(金60両借用)	内藤能登守内赤坂平右衛門他8名	状	安政3年8月		
3-6-146	覚(金1両2分銀12匁借用)	内藤能登守内和知政治郎	状	(安政3)辰年9月11日		
3-6-147	(智恩院宮様御用途銀拝借証文綴)	泉屋甚次郎代判伴兵衛他	綴	安政3年12月		
3-6-148	(江戸南横町家屋敷売渡証文綴)	小金屋庄助他	綴	安政3年12月		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年 月 日	製本冊数	備 考 ・ 参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
3-6-149	覚（金5両借用）	西村忠之助	状	辰（安政3）年正月	1	※3-6-130～3-6-167で1冊
3-6-150	一札之事（藤間方預り残金につき）	泉屋又兵衛	状	安政4年6月		
3-6-151	差上申一札之事（有馬備後守熊野三山寄附金借用につき引請）	泉屋吉次郎店支配人泉屋市郎右衛門	状	安政5年2月		
3-6-152	（金子借用依頼につき書状並金子借用証文）	田中半十郎	綴	（安政5）午年3月		
3-6-153	（紀州屋御備銀拝借証文綴）	豊後町泉屋甚次郎代判伴兵衛他	綴	安政5年9月		
3-6-154	借用申金子之事（金300両借用）	後藤吉五郎	状	安政5年9月		
3-6-155	借用申金子之事（金5両借用）	泉屋平右衛門	状	安政5年10月		
3-6-156	覚（有馬兵庫頭預け金之内一部請取書）	有馬兵庫頭内坂本丈右衛門・三宅七右衛門	状	安政5年12月		
3-6-157	儀定一札（有馬兵庫頭預け金につき）	有馬兵庫頭内勘定奉行坂本丈右衛門・三宅七右衛門	状	安政5年12月		
3-6-158	借用申金子之事（金7両2分借用）	泉屋平右衛門	状	安政5年12月		
3-6-159	覚（銀6貫目借用）	泉屋甚次郎代判伴兵衛・泉屋孫兵衛	状	安政5年12月		
3-6-160	書取（天保元年借入金元利休滞頼談書）		状	安政5年12月		
3-6-161	（内藤能登守他三家借用滞金高調）		状	安政6年9月		
3-6-162-1	借用申金子之事（金25両借用）	借用主後藤一葉・後藤四郎兵衛・熊谷恒右	状	安政6年11月		
3-6-162-2	一札之事（借入金返済方取斗につき）	熊谷恒右衛門	状	安政6年11月		
3-6-163	預り申銀子之事（銅座役所入用銀50貫目）	銅座掛屋住友吉次郎・三井元之助名代石井與三次郎・石島保右衛門	状	万延元年7月		
3-6-164	加入銀枝証文之事（銀30貫目）	住友吉次郎	状	万延元年8月		
3-6-165	預り申銀子之事（銀1貫目借用）	天王寺屋源之助	状	万延元年10月～11月29日		
3-6-166	乍恐以書附奉願上候（銀子借用願）	堺屋辰三郎	状	万延2年正月		
3-6-167	（白河様御年賦金につき願書状並音物書上書）	越智全九郎	状	（文久元）酉年12月24日		
3-6-168	預り申銀子之事（銀2貫目借用）	泉屋理兵衛	状	文久元年7月	1	※3-6-168～3-6-194で1冊
3-6-169	入置申一札之事（借入金年賦返済方）	田中半十郎飛州住宅二付店支配人孫三郎	状	文久元年8月		
3-6-170	証文之事（大宝寺町住友吉次郎家屋敷売渡）	大坂長堀茂左衛門町住友吉次郎	状	文久元年8月		
3-6-171	覚（足守藩貸付銀元利受領証）	泉屋喜七郎	状	文久元年11月28日		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
3-6-172	加入銀枝証文之事（銀60貫目）	住友吉次郎	状	文久元年11月	1	※3-6-168～3-6-194で1冊
3-6-173	（金子借用証文綴）	清水家臣松岡肇他	綴	文久元年11月		
3-6-174	預り申銀子之事（銀50貫目借用）	住友吉次郎	状	文久元年12月		
3-6-175	（銅座公用銀預り証文綴）	銅座掛屋住友吉次郎・三井元之助名代杉本久次郎・石井與三次郎	綴	万延元年7月		
3-6-176	預り申銀子之事（銀50貫目借用）	住友吉次郎	状	文久2年正月		
3-6-177-1	差入申約定証文之事（月々賄金融通につき）	鈴木親之輔家来梅沢儀兵衛・笹田右十郎	状	文久2年3月		
3-6-177-2	覚（収納高書）	鈴木親之輔知行所上総国長柄郡立烏村百姓代吉蔵他5名	状	（文久2年3月）		
3-6-177-3	差入申郷印証文之事	鈴木親之輔知行所上総国長柄郡立烏村百姓代吉蔵他5名	状	文久2年3月		
3-6-177-4	月割定敷金送り高帳		冊	文久2年3月		
3-6-178	加入銀枝証文之事（銀60貫目借用）	住友吉次郎	状	文久2年5月		
3-6-179	請取申金子之事（大坂引替元手金1万7280両受取）	住友吉次郎	状	文久2年6月		
3-6-180	借用申金子之事（後藤四郎兵衛借用金年賦返済証文綴）	後藤四郎兵衛	綴	文久2年12月		
3-6-181	証文（金20両借用）	（新微組）藤本佐一郎	状	文久3年7月		
3-6-182	（中橋店立入飯田生糸問屋万屋安五郎借用金綴）		綴	文久3年10月～慶応2年2月		
3-6-183	書附を以御届申上候（秋田銅山仕入銀出銀届）	泉屋源兵衛	状	文久3年10月		
3-6-184	書附を以御届申上候（秋田銅山仕入銀出銀届）	泉屋源兵衛	状	文久3年11月15日		
3-6-185	書附を以御届申上候（秋田銅山仕入銀出銀届）	銭屋佐兵衛	状	文久3年11月29日		
3-6-186	書附を以御届申上候（秋田銅山仕入銀出銀届）	銭屋佐兵衛	状	文久3年12月15日		
3-6-187	御国産生糸并諸国買入生糸取引仕法御請申一札之事	住友吉次郎店支配人市郎右衛門・又兵衛他1名	状	慶応元年8月		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
3-6-188-1	借用申金子之事（金1500両借用）	深川入船町家持五郎右衛門名代精一郎他3	状	慶応元年8月27日	1	※3-6-168～3-6-194で1冊
3-6-188-2	添書一札之事（金1500両借用）	深川入船町家持五郎右衛門名代精一郎他3	状	慶応元年8月27日		
3-6-189	（某家下賜五人扶持之義覚）		状	慶応2年		
3-6-190	（長崎出立仕度金として金子借用願につき書状）	八木岡大蔵内九鬼勝蔵	状	丑年正月晦日		
3-6-191	借用申銀子之事（銀128貫目借用）	木下備中守（足守藩）内米方児玉広助・銀方間埜四郎	状			
3-6-192	（中橋店閉店につき預り金返済約定書下書綴）	住友吉次郎他	綴			
3-6-193	覚（出入金書き上げ）		状	9月24日～4月		
3-6-194	（小林勘平他3名料理代書き上げ）		状			
4-4-3-1	長崎初発書		冊	慶長8年～末年3月	1	『泉屋叢考』第10輯
4-4-4-1	別子銅山百五十年賀之控	勘庭	冊	天保11年	1	※4-4-4-0～4-4-4-7で1冊
4-4-4-2	予州銅山鉞吹真吹大工前手子年々歩附平均書		冊	天保3年正月		
4-4-4-3	予州宇摩郡別子御銅山覚書（下書）		冊	正徳3年7月		
4-4-4-4	向地山見分次第書		冊	亥年4月		
4-4-4-5	長崎銅会所最初ノ仕方一件口上書	長崎銅会所舟井武左衛門・大坂屋又右衛門・泉屋六郎左衛門	冊	午年10月		
4-4-4-6	江戸状二申来候銅山拝借金買請米発端御尋二付訳書申下ス（銅山拝借金買請米発端御尋につき訳書申下ス）		冊	寅年6月2日		
4-4-4-7	宝永二年酉閏四月下り同八月上り（江戸行上下入用金銀受払帳）		冊	宝永2年閏4月～8月		
5-1-5-1	奉公人請状之事（鍵屋まつ悱源蔵）	伯父八幡屋佐助・請人蚊帳屋忠治郎	状	天保2年正月	1	※5-1-5-1～5-1-5-42で1冊
5-1-5-2	奉公人請状之事（和泉屋利兵衛悱繁蔵）	親和泉屋利兵衛・請人泉屋吉兵衛	状	天保3年8月29日		
5-1-5-3	奉公人請状之事（金子屋茂右衛門悱宇蔵）	親金子屋茂左衛門・請人藤屋七左衛門	状	天保4年4月		
5-1-5-4	奉公人請状之事（松屋代五郎悱音蔵）	親松屋代五郎・請人五軒屋庄右衛門	状	天保4年4月		
5-1-5-5	奉公人請状之事（新宮屋嘉七悱徳松）	親新宮屋嘉七・受人柴屋又三郎	状	天保4年9月23日		
5-1-5-6	奉公人請状之事（新屋利助悱又市）	親新屋利助・請人嶋屋善兵衛	状	天保4年10月13日		

公開史料目録（近世） 2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
5-1-5-7	奉公人請状（住吉屋喜兵衛忰喜蔵）	親住吉屋喜兵衛・請人住吉屋久兵衛	状	天保4年11月	1	※5-1-5-1～5-1-5-42で1冊
5-1-5-8	奉公人請状之事（小橋屋季兵衛忰豊次郎）	親小橋屋季兵衛・請人羽山屋平助	状	天保5年3月15日		
5-1-5-9	奉公人請状之事（木綿屋小兵衛忰為蔵）	親木綿屋小兵衛・受人日和田屋源七	状	天保6年4月		
5-1-5-10	奉公人請状之事（大和屋利兵衛忰寅蔵）	請人紀伊国屋喜兵衛・親大和屋利兵衛	状	天保6年6月		
5-1-5-11	奉公人請状之事（大條平兵衛忰政松）	受人柴屋長兵衛・親大條平兵衛	状	天保7年4月		
5-1-5-12	奉公人請状之事（千草屋六次郎忰太蔵）	親千草屋六次郎・受人井筒屋市郎兵衛	状	天保7年5月		
5-1-5-13	奉公人請状之事（井上与兵衛忰三蔵）	親井上与兵衛・請人播磨屋茂兵衛	状	天保7年6月		
5-1-5-14	奉公人請状之事（日岡蔵人忰平蔵状）	親日岡蔵人・受人泉屋源助	状	天保7年6月		
5-1-5-15	奉公人請状之事（舩屋宗右衛門忰岩蔵）	請人羽山屋小兵衛・親舩屋宗右衛門	状	天保8年2月		
5-1-5-16	奉公人請状之事（伊賀屋伊之助忰市之助）	親伊賀屋伊之助・請人阿波屋貞兵衛	状	天保8年5月		
5-1-5-17	奉公人請状之事（古座屋儀兵衛忰寅蔵）	親古座屋儀兵衛・請人柵屋丈助	状	天保8年6月		
5-1-5-18	奉公人請状之事（紀伊国屋栄次郎忰市蔵）	親紀伊国屋栄次郎・請人田村屋次兵衛	状	天保8年7月18日		
5-1-5-20	奉公人請状之事（嶋屋喜兵衛忰徳蔵）	親嶋屋喜兵衛・請人宮崎屋治右衛門	状	天保9年6月		
5-1-5-21	奉公人請状之事（伊勢屋伊兵衛忰又蔵）	親伊勢屋伊兵衛・請人雛屋兵助	状	天保9年6月		
5-1-5-22	奉公人請状之事（伊勢屋伊兵衛忰久蔵）	親伊勢屋伊兵衛・請人雛屋兵助	状	天保9年8月		
5-1-5-23	奉公人請状之事（指物屋利助忰岩次郎）	親指物屋利助・請人羽山屋兵助	状	天保9年8月		
5-1-5-24	奉公人請状之事（河内屋利兵衛忰源蔵）	親河内屋利兵衛・請人布袋屋与兵衛	状	天保10年4月		
5-1-5-25	奉公人請状之事（布屋九蔵忰手代忠助）	親布屋九蔵・請人小部屋喜兵衛	状	天保10年4月		
5-1-5-26	奉公人請状之事（浜野四郎右衛門忰徳蔵）	親浜野四郎右衛門	状	天保10年6月		
5-1-5-27	奉公人請状之事（大和屋清七忰亀松）	親大和屋清七・請人長尾屋藤兵衛	状	天保11年2月		
5-1-5-28	奉公人請状之事（山田屋権兵衛忰亀蔵）	親山田屋権兵衛・受人丸屋吉兵衛	状	天保11年4月		
5-1-5-29	奉公人請状之事（山口吉左衛門忰慶蔵）	親山口吉左衛門・請人播磨屋伝兵衛	状	天保11年7月		
5-1-5-30	奉公人請状之事（百姓善左衛門忰梅蔵）	親百姓善左衛門・請人菊畑屋常治	状	天保12年8月6日		
5-1-5-31	奉公人請状之事（京屋与兵衛忰与三郎）	親京屋与兵衛・請人河内屋長兵衛	状	天保12年9月		
5-1-5-32	奉公人請状之事（山口屋治三郎忰辰蔵）	親山口屋治三郎・請人川崎屋嘉兵衛	状	天保12年9月		
5-1-5-33	奉公人請状之事（伊丹屋儀助忰帛之助）	親伊丹屋儀助・請人天王寺屋奎兵衛	状	天保12年11月朔日		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年 月 日	製本冊数	備 考 ・ 参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
5-1-5-34	奉公人請状之事（豊嶋屋清助忰米蔵）	親豊嶋屋清助・請人土屋作右衛門	状	天保13年正月21日	1	※5-1-5-1～5-1-5-42で1冊
5-1-5-35	奉公人請状之事（吉田屋周助忰梅次郎）	親吉田屋周助・請人柏屋作兵衛	状	天保13年3月		
5-1-5-36	奉公人請状之事（大和屋楠五郎忰源蔵）	親大和屋楠五郎・受人伊与屋武兵衛	状	天保13年4月		
5-1-5-37	奉公人請状之事（丹波屋次左衛門忰常蔵）	親丹波屋次左衛門・請人山口屋次三郎	状	天保13年8月		
5-1-5-38	奉公人請状之事（津国屋庄兵衛忰亀蔵）	親津国屋庄兵衛・請人和泉屋善兵衛	状	天保13年11月24日		
5-1-5-39	奉公人請状之事（米屋伊右衛門忰金蔵）	親米屋伊右衛門・受人木綿屋宇兵衛	状	天保14年6月		
5-1-5-40	奉公人請状之事（三郎兵衛忰良蔵）	親三郎兵衛・請人勘右衛門	状	天保14年閏9月		
5-1-5-41	奉公人請状之事（天満屋佐吉忰手代彦四郎）	請人播磨屋太兵衛・親元天満屋佐吉	状	天保14年10月		
5-1-5-42	奉公人請状之事（亀屋利兵衛忰平蔵）	親亀屋利兵衛・受人伊丹屋儀助	状	天保14年12月		
5-2-3-1	奉公人請状之事（近江屋久兵衛忰梅蔵）	親近江屋久兵衛・請人大和屋新助	状	万延元年7月	1	※5-2-3-1～5-2-3-26で1冊
5-2-3-2	奉公人請状之事（美田利之助弟秀蔵）	兄美田利之助・請人美田幾二	状	万延2年2月		
5-2-3-3	奉公人請状之事（稲田善右衛門忰寅之助）	親稲田善右衛門・請人松本平太夫	状	万延2年2月		
5-2-3-4	奉公人請状之事（砂屋太郎兵衛忰善蔵）	親砂屋太郎兵衛・請人山崎屋嘉兵衛	状	文久元年4月		
5-2-3-5	奉公人請状之事（蚊帳屋又七忰清次郎）	親蚊帳屋又七・請人近江屋吉兵衛	状	文久元年4月		
5-2-3-6	奉公人請状之事（三野屋弥右衛門忰左代松）	親三野屋弥右衛門・請人江口屋林蔵	状	文久元年5月		
5-2-3-7	奉公人請状之事（備前屋久吉忰鹿蔵）	親備前屋久吉・請人布屋弥兵衛	状	文久元年5月		
5-2-3-8	引取一札之事（手代直七御家法相背につき御暇）	親請人伊丹屋儀助	状	文久元年8月		
5-2-3-9	奉公人請状之事（播磨屋徳兵衛忰重蔵）	親播磨屋徳兵衛・請人松前屋佐兵衛	状	文久元年10月		
5-2-3-10	奉公人請状之事（百姓助七忰新蔵）	親助七・請人弥次兵衛	状	文久元年12月		
5-2-3-11	奉公人請状之事（百姓新兵衛忰手代静助）	親元百姓新兵衛・請人笠屋半兵衛	状	文久2年正月		
5-2-3-12	奉公人請状之事（百姓新兵衛忰栄蔵）	親百姓新兵衛・請人笠屋半兵衛	状	文久2年正月		
5-2-3-13	奉公人請状之事（加勢屋半兵衛忰音蔵）	親加勢屋半兵衛・請人庄屋半兵衛	状	文久2年2月		
5-2-3-14	奉公人請状之事（生瀬屋為助忰林蔵）	親生瀬屋為助・請人伊丹屋儀助	状	文久2年7月		
5-2-3-15	奉公人請状之事（野田屋安太郎忰芳蔵）	親元野田屋安太郎・請人柴屋長兵衛	状	文久2年7月		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年 月 日	製本冊数	備 考 ・ 参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
5-2-3-16	奉公人請状之事（榎並屋新次郎忰音松）	親榎並屋新次郎・請人榎並屋新助	状	文久2年閏8月19日	1	※5-2-3-1～5-2-3-26で1冊
5-2-3-17	奉公人請状之事（姫路屋弥七忰嘉兵衛）	請人鋸屋平兵衛・親姫路屋弥七	状	文久2年閏8月		
5-2-3-18	奉公人請状之事（八幡屋喜兵衛忰福松）	親八幡屋喜兵衛・請人八幡屋利兵衛	状	文久2年9月		
5-2-3-19	引取一札之事（菊造宿元相続につき御暇）	請人亀屋栄次郎	状	文久2年12月2日		
5-2-3-20	奉公人請状之事（河内屋長兵衛忰手代豊七）	親河内屋長兵衛・請人泉屋源右衛門	状	文久3年3月		
5-2-3-21	奉公人請状之事（布屋九蔵忰莊蔵）	親布屋九蔵・請人末家泉屋重右衛門	状	文久3年4月18日		
5-2-3-22	奉公人請状之事（河内屋吉兵衛忰手代巳之助）	親河内屋吉兵衛・請人泉屋源右衛門	状	文久3年4月		
5-2-3-23	奉公人請状之事（和泉屋源次郎忰寅松）	親和泉屋源次郎・請人飼葉屋佐兵衛	状	文久3年7月3日		
5-2-3-24	奉公人請状之事（茨木屋武一郎忰喜蔵）	親茨木屋武一郎・請人灰屋清兵衛	状	文久3年9月		
5-2-3-25	奉公人請状之事（大和屋重助忰手代松次郎）	親大和屋重助・請人近江屋弥助	状	文久3年12月		
5-2-3-26	乍恐以書付奉願上候（喜七郎眼病につき下宿養生願）	御内喜七郎	状	文久4年正月		
5-6-3-2	銅吹屋仲間由緒書	大坂屋久左衛門・丸銅屋治郎兵衛	冊	宝暦13年9月	1	『泉屋叢考』第8輯
5-6-4	備中銅山公用帳		冊	正徳2年2月	1	『泉屋叢考』第14輯 ※5-6-4,5 で1冊
5-6-5	備中銅山控		冊	天和4年正月～正徳4年5月		
5-6-7	予州別子立川両銅山年々買請御米石数		冊	元禄15年～宝暦12年	1	
5-6-8	鉾業諸用留		冊	元禄5年7月～元禄13年10月	1	『住友史料叢書』既刊
6-1-1	御米請払帳	新居浜住友	冊	（文政12）丑年～（天保7）申年	1	
6-1-2	御米請払帳	新居浜住友	冊	弘化2巳年～安政元寅年	1	
6-1-3	御米受取帳	立川（中宿）	冊	弘化3年7月～安政5年	1	
6-1-4	御米一通帳	新居浜住友	冊	安政5年11月～明治4年5月	1	
6-1-5-1	（別子鉾山視察状況報告原文）	工部省鉾山寮御雇英人フレッチウィル	冊	明治8年6月	1	※6-1-5-1～6-2-1で1冊
6-1-5-2	（タイプ文）		状	明治8年6月		
6-1-5-3	（訳文）		冊	明治8年6月		
6-2-1	（買請米関係諸証文雛形）	新居浜泉屋	冊	文化元年～天保2年3月		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年 月 日	製本冊数	備 考 ・ 参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
6-2-2	御米帳（御米一通帳）		冊	天保11年2月～慶応3年7月	2	
6-2-3	御米帳（予州各村よりの納米石高）	新居浜住友	冊	安政3年～4年	1	※6-2-3,4で1冊
6-2-4	御米帳（予州各村よりの納米石高）	（新居浜）住友	冊	弘化3年～4年		
6-2-5	御米帳（予州各村よりの納米石高）	住友役所	冊	弘化4末年～嘉永元申年	1	※6-2-5～7で1冊
6-2-6	御米帳（予州各村よりの納米石高）		冊	慶応2年10月		
6-2-7	御米帳（予州各村よりの納米石高）		冊	慶応3年～明治2年		
6-2-8	御米帳（予州各村よりの納米石高）		冊	明治元年～2年	1	※6-2-8～11で1冊
6-2-9	御米帳（予州各村よりの納米石高）	新居浜住友	冊	明治2年～3年		
6-2-10	御米帳（予州各村よりの納米石高）	新居浜住友	冊	明治3年～4年		
6-2-11	御米帳（予州各村よりの納米石高）	新居浜住友	冊	明治4年～5年		
6-2-12	御米帳（予州各村よりの納米石高）	新居浜浦住友	冊	安政2年～3年	1	※6-2-12～14で1冊
6-2-13	御米帳（予州各村よりの納米石高）		冊	（万延元）申～（文久元）		
6-2-14	御米帳（予州各村よりの納米石高）	浜荷二	冊	（文久2）戌～（文久3）亥		
6-3-1	御米帳	予州別子立川両御銅山	冊	文政5年9月～安政3年10月	1	
6-3-2	御米帳	予州別子立川両御銅山	冊	安政3年9月～明治2年2月	1	※6-3-2～5で1冊
6-3-3	江戸松山年々御米願書	泉屋吉左衛門	冊	延享4年8月～文政4年10月		
6-3-4	御家法掟書（別子銅山掟書）		冊	文化6年8月		
6-3-5	取替名前帳（取替名前帳）	余慶二役所	冊	享和2年正月		
6-4-1	別子立川銅炭運上帳		冊	宝暦11年1月～明和6年12月	1	
6-4-2	別子立川銅炭運上帳		冊	寛政7年1月～文化10年12月	3	
6-4-3	別子立川銅炭運上帳		冊	文化11年1月～文政8年12月	2	
6-4-4	別子立川銅炭運上控		冊	天保9年1月～嘉永7年12月	3	
6-5-1	金銀精帳控（諸入目精帳控二番）	新居浜泉屋	冊	文化9年～文政5年	2	
6-5-2						* 状態が悪いため閲覧不可
6-5-3	諸入目精帳控（一番）	新居浜役所	冊	享和2年～文化8年	2	
6-6-1						* 状態が悪いため閲覧不可
6-6-2	（大坂廻銅）大福帳	泉屋吉左衛門	冊	文化2年～嘉永2年	1	
6-6-3	（勇力丸難船示談一件綴）		綴	弘化3年7月	1	※6-6-3,4で1冊
6-6-4	（別子銅山公用記）		冊	明治20～23年		
7-1-1	別子銅山公用記（一番）		冊	元禄4年4月～宝永3年12月	1	
7-1-2	別子銅山公用記（二番）	泉屋吉左衛門	冊	宝永4年2月～正徳5年11月	1	

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年 月 日	製本冊数	備 考 ・ 参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
7-1-3	別子銅山公用記三番	泉屋吉左衛門	冊	正徳5年12月～享保6年8月	1	
7-1-4	別子銅山公用記（四番）	泉屋吉左衛門	冊	享保6年4月～15年10月	2	
7-2-1	別子銅山公用記（五番）		冊	享保15年11月～宝暦6年7月	2	
7-2-2	別子銅山公用記（五番ノ内）	泉屋吉左衛門	冊	元文4年3月～延享5年4月	1	
7-2-3	別子銅山公用記（六番）	泉屋吉左衛門	冊	宝暦6年8月～明和3年2月	1	
7-3-1	別子立川公用記（七番）	□□吉左衛門	冊	明和3年12月～文化4年5月	2	
7-3-2	（別子立川公用記八番）		冊	天明8年2月～寛政12年2月	1	
7-3-3	別子立川公用記九番	住友吉次郎	冊	寛政12年3月～文政10年6月	1	
7-3-4	（別子立川公用記十番）		冊	文政10年2月～嘉永4年3月	2	
7-4-1-1	伊右衛門支配役相蒙諸方届ケ音物三右衛門引払二付松山川之江諸方付届ケ控		冊	文化4年正月	1	※7-4-1-1～5で1冊
7-4-1-2	太右衛門支配役相蒙諸方届ケ音物伊右衛門引払二付松山川之江諸方付届控		冊	文化8年3月		
7-4-1-3	太兵衛支配役相蒙諸方届ケ音物田右衛門引払二付松山川之江諸方付届控		冊	文化13年5月		
7-4-1-4	卯兵衛支配役相蒙諸方届音物太兵衛引払二付松山川之江諸方付届控		冊	文政5年10月		
7-4-1-5	政右衛門支配役相蒙諸方届音物彦兵衛引払二付松山川之江諸方付届控		冊	天保11年9月		
7-4-1-6	廿八代目総裁治右衛門支配役相蒙諸方届音物政右衛門引払二付松山川之江諸方付届控		冊	天保14年12月	1	※7-4-1-6～7-4-2で1冊
7-4-1-7	廿九代目総裁卯兵衛支配役相蒙諸方届音物治右衛門引払二付松山川之江諸方付届		冊	（嘉永2年）		
7-4-1-8	三十代目総裁徳兵衛支配役相蒙諸方届音物卯兵衛引払二付松山川之江諸方付届控		冊	（安政4年）		
7-4-1-9	三十二代総裁義右衛門支配役相蒙諸方届音物并二惣右衛門引継二付松山川之江諸方付届控		冊	慶応元年10月		
7-4-2	病氣二付出坂上下音物録	廿八代目支配北脇治右衛門	冊	弘化4年正月～8月		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年 月 日	製本冊数	備 考 ・ 参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
7-4-3-0～18	御一新銅山支配人広瀬義右衛門上京之上 天朝工歎願之書類		冊	慶応4年2月	1	※7-4-3-0～7-4-5で1冊
7-4-4	御用金一件（住友店）	住友両替店	冊	文化10年10月	1	
7-4-5	京大坂逗留公用牒	泉屋理右衛門	冊	元禄16年10月		
7-5-1	別子立川公用記拾壹番	住友吉次郎	冊	嘉永4年正月～元治元年9月	2	
7-5-2	別子鉾山公用記拾貳番		冊	元治元年正月～明治8年9月	3	
7-6-1	別子鉾山公用記拾三番	住友吉左衛門	冊	明治9年1月～15年7月	2	
7-6-2	別子鉾山公用記拾四號（十四番）		冊	明治14年4月～16年4月	1	
7-6-3	（別子鉾山公用記十五番）		冊	明治14年10月～16年4月	1	
8-1-2	諸用記（炭役所）	桑瀬村炭役所	冊	文久2年～慶応2年	1	
8-2-1	（土州公用記一番）		冊	宝暦8年～文化6年	2	
8-2-2	土州公用帳（二番）	泉屋吉次郎	冊	文化5年～天保9年	1	
8-2-3	土州公用記（三番）	炭方	冊	天保2年～文久元年	1	
8-2-4	土州公用記（四番）	落合炭方	冊	文久3年～明治9年	1	※8-2-4, 8-3-1で1冊
8-3-1	土州諸雑誌（当分諸用控）	銅山勘場	冊	明治元年正月	1	※8-3-2～4で1冊
8-3-2	諸用控		冊	慶応3年10月～明治3年7月		
8-3-3	一番諸日記（勘場）	勘場	冊	明治7年3月～10月		
8-3-4	壹番公用帳（上原池処）	中邨上原池処住友	冊	嘉永4年～文久元年	1	※8-3-5,6で1冊
8-3-5	立川銅山公用記		冊	宝暦7～12年		
8-3-6	諸用旧記録	支配方	冊	文化4年～天保9年	1	※8-3-7,8で1冊
8-3-7	公用旧記録（新居浜口屋）	新居浜住友	冊	元治元年～明治7年	1	
8-3-8	浦山西谷銅山諸用記	泉屋	冊	天明8年～寛政6年	1	
9-1-1	儀式帖（新居浜口屋）	新居浜浦住友	冊	元禄4年	1	
9-1-2	証文書翰儀式控（炭方）	炭方	冊	寛保3年	1	
9-1-3	儀式帳（新居浜諸用記五番）		冊	明和3年	2	
9-1-4	儀式帳（新居浜諸用記三番）	新居浜浦住友	冊	享保4年～延享3年	1	
9-2-1	廻文控（炭方）	炭方	冊	文化10年11月～明治2年3月	2	
9-2-2	廻文帳（勘場）	勘場	冊	文政9年5月～嘉永4年12月	3	
9-2-3	廻文控（新居浜口屋）	新居浜住友	冊	文政11年8月～明治3年正月	2	
9-2-4	廻文帳（勘庭）	勘庭	冊	嘉永5年正月～明治3年4月	2	
9-2-5	回文控（立川中宿）	立川中宿	冊	明治2年正月～7年3月	1	

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年 月 日	製本冊数	備 考 ・ 参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
9-2-6	廻文控（勘場）	勘場	冊	明治3年5月～7年9月	1	
9-3-1	状案控（書翰方）	書翰方	冊	宝暦7年5月	1	
9-3-2	状案控（別子銅山）	別子銅山泉屋	冊	寛政5年	1	
9-3-3	状案控（新居浜役頭庭）	新居浜役頭庭	冊	文化5年7月	1	
9-3-4	状案控（住友役所）	住友役所	冊	天保8年正月	2	
9-3-5	状案控七番（別子銅山）	別子銅山住友	冊	天保14年	1	
9-3-6	月々書簡式	書簡場	冊	弘化2年4月	1	
9-3-7	東西用書控		冊	文政元年	1	
9-3-8	東西用書控		冊	文政12年12月	1	
9-4-1	本状録（弘化～嘉永）		冊	弘化元年	1	
9-5-1	（別子銅山支配方表状控）	支配方	冊	元治元年	1	
9-5-2-1	旧日誌（年中行事控帳）	勘庭	冊	寛政～明治	2	※9-5-2-1～9-5-2-2 で2冊
9-5-2-2	日誌（立川中宿年中行事控帳）	立川中宿	冊	寛政～明治		
9-5-3	（銅山勘場元々方諸方往復記録）	銅山勘場元々方	冊	文久2年～慶応3年	1	
9-5-4	古事録（別子銅山）		冊	文化2年～明治5年	2	
9-6-1	友紀様古稀賀被遣物控	豫州	冊	文化9年12月	1	※9-6-1～9-6-9で1冊
9-6-2	友端様家督御相続弘覚	豫州両銅山	冊	寛政4年4月		
9-6-3	順泉院様御法事控	立川中宿	冊	安政5年正月		
9-6-4	予州銅山并御料所御見分之儀被仰渡候御答書之写		冊	丑年正月		
9-6-5	（友紀公古稀年賀御弘内祝等書付）		冊	文化10年4月		
9-6-6	（友聞公豫州下向につき下調）		冊	（文政4）巳年		
9-6-7	友聞君御相続記	支配用署	冊	文化5年3月	1	※9-6-1～9-6-9で1冊
9-6-8	友聞公御下向之節勘庭并二里両宿諸入目控	豫州銅山	冊	文政5年4月		
9-6-9	友聞様御登山之節諸手当控		冊	文政5年3月	1	※9-6-10～9-6-15で1冊
9-6-10	友親君御家督一条記	別子立川両銅山	冊	慶応元年10月		
9-6-11	住友吉左衛門友親君御家督細記（但嶋屋市五郎様江御入家有之卯之助君也）	豫州両銅山支配方	冊	慶応元年7月		
9-6-12	従友視君友訓君江御家督御譲渡一条記	豫州両銅山支配方	冊	安政4年6月		
9-6-13	友聞君より友視君江御家督御譲渡一条記	両銅山支配方	冊	弘化2年6月		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年 月 日	製本冊数	備 考 ・ 参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
9-6-14	良寿様五拾廻忌諸用		冊	(文化4年)	1	※9-6-10～9-6-15で1冊
9-6-15	大泉院様三回忌御法会控	勘場	冊	文政元年11月22日		
9-6-16	大泉院様御法会控	豫州別子立川両銅山	冊	文化13年12月22日	1	※9-6-16～9-6-18で1冊
9-6-17	文殊院嘉休尊霊百五拾廻忌控		冊	享和元年8月14日		
9-6-18	即泉院様御法事控	両銅山勘場	冊	元治元年11月22日	1	※9-6-19～9-6-20で1冊
9-6-19	通泉院様御法会控	勘庭	冊	嘉永6年6月10日		
9-6-20	友間公御下向大坂表懸合諸用控		冊	文政4年9月～5年	1	※9-6-21～9-6-28で1冊
9-6-21	友間公還暦御祝二付為御弘メ当地詰合中 并二御別家出入之輩山中山外役前之者江 被下置品々写	豫州	冊	弘化4年3月		
9-6-22	友紀様古稀御年賀御弘留控		冊	文化10年2月		
9-6-23	友紀様古稀御年賀御祝儀附大坂表江差為 登候控	豫州銅山	冊	文化10年2月		
9-6-24	旦那様御登山献立（友親）		冊	明治5年3月		
9-6-25	友親公御下浜諸用記		冊	明治5年3月28日		
9-6-26	友親様御下向日記	立川中宿	冊	明治5年3月		
9-6-27	（友親公御下向雑書綴）		綴	（明治5年3月）		
9-6-28	順泉院様御法事控		冊	安政4年6月3日		
9-6-29	備中倉敷応対書下書（御米請取之儀につ き）		冊			
9-6-30	予州両銅山買請米代主法一件二付伺書	松平隠岐守御預所	冊	慶応元年12月		
9-6-31	買請米并買足米直段違書		冊	嘉永4年～文久元年		
9-6-32	予州両銅山戌年買請米御勘定組伺書	御名御預所	冊	嘉永4年4月		
9-6-33	予州村々御物成御廻米之儀二付伺書	松平隠岐守御預所	冊	慶応2年9月		
9-6-34	作州御米福嶋湊破船一件		冊	寛政4子年正月		
9-6-35-0	御米定石代歎願書類在納 不許他見		袋	安政4年		
9-6-35-1	壺 乍恐以書附奉願上候	銅山御用達住友吉次郎	冊	嘉永5年8月		
9-6-35-2	式（買請米御定直段につき）	松平隠岐守内高橋兵衛	冊	（嘉永6）丑年4月		
9-6-35-3	三（予州銅山師買請米の件）		冊	（嘉永6）丑年4月		
9-6-35-4	四（御定直段願立一条につき）	井伊又兵衛	冊	（嘉永6）4月16日		
9-6-35-5	五 乍恐以書附奉申上候	銅山御用達住友吉次郎	綴	嘉永7年7月		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
9-6-35-6	六 乍恐以書附奉願上候（一件写）	銅山御用達住友吉次郎	冊	嘉永7年8月	1	※9-6-29～9-6-35-9で1冊
9-6-35-7	七（住友吉次郎買請米石代御定直段につき）	高橋兵衛	冊	（嘉永7）寅年8月		
9-6-35-8	八（住友吉次郎買請米石代御定直段につき）	高橋兵衛	冊	（嘉永7年）9月24日		
9-6-35-9	九 御勝手方江御差出し二相成候御書面写	松平隠岐守内高橋兵衛	冊	嘉永7年10月		
9-6-35-10	十 乍恐以書附奉申上候	住友吉次郎	冊	嘉永7年10月	1	※9-6-35-10～9-6-38で1冊
9-6-35-11	十壹（買請米石代歎願につき）	高橋兵衛	冊	（嘉永7年）10月26日		
9-6-35-12	二重 乍恐以書付奉申上候	住友吉次郎	冊	嘉永7年10月		
9-6-35-13	（御取箇方より御勝手江御懸合、御勝手方より御答方）		状	（嘉永7年）		
9-6-35-14	乍恐以書附奉願上候	銅山御用達住友吉次郎	冊	安政4年5月		
9-6-35-15	予州両銅山買請米石代之儀二付伺書	松平隠岐守内高橋兵衛	冊	安政4年6月		
9-6-35-16	乍恐以書付奉追願候	銅山御用達住友吉次郎	冊	安政4年7月		
9-6-35-17	乍恐以書附奉願上候（卯年石代延納歎願写）	住友吉次郎名代市郎右衛門	冊	安政4年9月		
9-6-35-18	御請	松平隠岐守内五十崎順蔵	冊	（安政4）巳年9月26日		
9-6-35-19	（此度下知の石代松山表掛合用状写）	高橋兵衛	冊	（安政4年）10月2日		
9-6-35-20	予州御銅山卯年買請米代銀御勘定組伺書	高橋兵衛	冊	安政4年10月		
9-6-35-21	乍恐以書付奉願上候	銅山御用達住友吉次郎	冊	安政5年正月		
9-6-36	（讃州高松米榧違一件控）		冊			
9-6-37	（買請米平均値段値違一件書類）		冊			
9-6-38	（新居郡大永山村・宇摩郡別子山村他計11村明細帳書抄）		冊	慶応2年9月		
9-6-39	宇新両郡村々納米割賦帳（宇摩・新居両郡）		冊	慶応元年11月	1	※9-6-39～9-6-46で1冊
9-6-40	作州御米於天満沖難破船一条御勘定場空兵衛出役中日記		冊	弘化2年2月		
9-6-41	予州銅山渡米村々請書		冊	宝暦6年3月		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
9-6-42	宇新両郡村々納米割賦帳（宇摩・新居両郡）		冊	文久3年11月	1	※9-6-39～9-6-46で1冊
9-6-43	予州松山町寅十月米相場書付	讃岐屋弥兵衛・河内屋源兵衛	冊	天保13年10月		
9-6-44	予州松山町辰年ヨリ年々十月米相場書附 （但年々此帳面江筆記可致置事、尤天保十五辰十月始ル）	両銅山支配方	冊	弘化元年～慶応3年		
9-6-45	越智桑村貸付米請取之帳	泉屋万十良	冊	寛政2年正月		
9-6-46	予州御米端書帳		冊	宝暦7年2月		
10-1-1	（銅水流差縫一件書類）		冊	嘉永3年	1	※10-1-1～2で1冊
10-1-2	従天保十五辰六月冬休山御届書其侘松山御預所江差出候願書諸方往復掛合并二弘化二巳冬御手当増御下知結構被仰付候迄之諸膳録	両銅山支配方総裁和喜治右衛門	冊	天保15年6月～弘化3年2月		
10-1-3	別子銅山御運上銀御拝借金御米控		冊	元禄4年～享保6年	1	※10-1-3～7で1冊
10-1-4	三ヶ山銅代銀見競書（別子・秋田・盛岡）		冊	戊辰4月		
10-1-5	新居宇摩両郡松山侯始両御預所被仰蒙候抄書	支配用署	冊	享保6年8月		
10-1-6	炭焼安之丞親子横死一件之覚		冊	寛政2年正月		
10-1-7	上役大村氏并真吹大工京蔵掛組一件筆記	支配方	冊	弘化2年6月～12月		
10-1-8	松山八蔵屋内間困窮二付歎願并運ひ書之次第		冊	文化3年～14年	1	※10-1-8～13で1冊
10-1-9	御用諸荷物請取書	別子立川両銅山師代泉屋龍輔	冊	弘化3年7月29日		
10-1-10	奉伺口上覚（問屋職御用之儀につき願書）	藤屋七左衛門	冊	元治元年7月		
10-1-11	分銅改用要之控	予州銅山	冊	文化8年7月		
10-1-12	従西條公買上地巨細御尋二付書上之控		冊	嘉永6年8月		
10-1-13	変革諸伺要項	別子鉦山元ノ場	冊	明治元年	1	※10-1-14～17で1冊
10-1-14	諸役所季々入用平均見競書控		冊			
10-1-15	上原作人中西條表江願達控		冊	嘉永6年		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年 月 日	製本冊数	備 考 ・ 参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
10-1-16	勘場心得之事		冊		1	※10-1-14～17で1冊
10-1-17	永続申渡書	別子立川両御銅山	冊	安政3年4月～慶応3年11月		
10-1-18	諸申渡書類（別子銅山）		冊		1	※10-1-18～21で1冊
10-1-19	手代中妻合一條規定書		冊	文久3年3月～慶応元年閏5		
10-1-20	再為申替写		冊	寛政12年		
10-1-21	一山改革法立雑誌	両御銅山	冊	天保14年12月		
10-1-22	規則帳	鉾山支配方	冊	明治6年1月～12年5月	1	※10-1-22～26で1冊
10-1-23	予州別子鉾山事務章程并規則		冊	明治12年2月25日		
10-1-24	予州別子御銅山御高札写		冊	元禄4年～5年		
10-1-25	別子御銅山御制札写		冊	天和2年5月～享保6年9月		
10-1-26	別子立川両御銅山并浜中宿御制札写		冊	天和2年5月～享保6年9月		
10-2-1	（荒銅廻船伊勢丸難破関係文書）		冊	万延元年閏3月21日	1	※10-2-1～15で1冊
10-2-2	古証文県庁より戻ル分不用（金子借用証文）	別子鉾山借区人代広瀬幸平代栗本碌二	冊	明治8年9月30日		
10-2-3	（大泉院様三十三回忌法要につき書付）	勘場・支配方	冊	嘉永元年10月		
10-2-4	（買足米書類）		冊	嘉永3年		
10-2-5	高村殿へ為御心得遣候覚書写（別子銅山由緒書）	別子銅山師泉屋吉左衛門代嘉兵衛	冊	（延享2）丑年8月		
10-2-6	此一帖八出不申候得共途中忤二而不意御尋有之節之心得二調置候（銅山明細調控）		冊	天明7年		
10-2-7	治右衛門より原為助へ書簡写	元メ治右衛門	冊	10月		
10-2-8	弍百錢積り書（二百文錢千枚吹立）		冊	（慶応3）卯年8月		
10-2-9	支配人三右衛門用向二付登坂いたし罷下り候節諸向土産覚		冊	文化元年4月		
10-2-10	水引賃銀割合書	舗方	冊	文政8酉年12月		
10-2-11	豫州別子立川両銅山諸入用銀去ル申年より戌年迄三ヶ年平均書		冊			
10-2-12	金庄二関スル問合せ書（西條藩為替方金子屋庄右衛門取込一件書）		冊	酉年正月～8月		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
10-2-13	従御勘定所三田御役人江被仰渡書付控 (買請米難船時につき勘定所より回答書付)		冊	享和3年4月	1	※10-2-1～15で1冊
10-2-14	(立川銅山合併二付百姓申立一件書)	別子銅山師泉屋吉左衛門代泉屋金右衛門	冊	延享4年10月		
10-2-15	(歎喜丸正金紛失金子屋庄右衛門一件)		冊			
10-2-16	土州黒瀧山通し覚日記		冊	文化元年11月	1	※10-2-16～24で1冊
10-2-17	水引賃銭小前書		冊			
10-2-18	荷物受払之精帳	新居浜荷方	冊	文久元年7月		
10-2-19	文久三亥年義定書(老分卯兵衛下向時)	老分日勤卯兵衛他5名	冊	文久3年7月		
10-2-20	台所銅請払精帳	新居浜荷方	冊	文久3年7月		
10-2-21	乍恐再三奉願上候(別子銅山稼業難渋につき御下ヶ銀増拝借)	泉屋治右衛門	冊	天保15年7月		
10-2-22	(銅山鋪中出水之儀につき書類綴)	両銅山師泉屋平右衛門	綴	天保4年10月		
10-2-23	覚(別子銅山諸入用高訳并買請米損益勘定書ほか綴)		綴	安政2年10月		
10-2-24	友訓家督相続二付予州別子立川両御銅山買請御米為引当家質并田畑証文		冊	安政5年正月		
10-2-25	予州別子立川両御銅山師下代共備後陣屋二而御応対之覚書		冊		1	※10-2-25～31で1冊
10-2-26	西条中屋近江屋両家より銀子借用頼来取替二相成元利無滞相済候一件諸控		冊	文政6年～11年11月		
10-2-27	奥居嶋村七郎兵衛鉄一件書		冊			
10-2-28	金子屋庄右衛門より未十一月下関油屋仁右衛門方江肥前生蠟預ケ有之右纏一件嘉永二酉四月藤屋七左衛門下向対談内済連書		冊	嘉永2年閏4月		
10-2-29	新居浜役手対談之記事		冊	酉年正月		
10-2-30	(野間郡大井宮脇村次郎兵衛并松山辰五郎兩人銅盗取一件書付)		冊	寛政8年8月～11月		
10-2-31	商法人貸地料取立規則	別子鉦山会計方・鉦山本局	冊	明治12年1月		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
10-2-32	(銅山明細記)		冊	(安政3年力)	1	※10-2-32～42で1冊
10-2-33	差入申一札之事（近來諸色高直にて難渋のため錢御貸下につき）	惣馬中	冊			
10-2-34	多喜浜先年開発諸入用帳写		横冊	文政2年6月		
10-2-35	池鋪算用帳		横冊	嘉永4年3月		
10-2-36	未二月惣助渡海倉鋪郡屋清兵衛江応対之次第左二		冊	未年2月		
10-2-37	予州銅山入用之木生木切遣せ申様二と遠藤様より銅山御役人衆へ被仰遣候御状写	本郷沢右衛門	冊	巳年10月15日		
10-2-38	小松庭所へ認遣し有之芳兵衛預り書之義二付同所より懸合書状之写		冊	7月15日		
10-2-39	炭山之儀被仰渡候御答書	別子立川両銅山師泉屋万次郎	冊	天明7年12月		
10-2-40	伊野川大佐れ御山御遣附控	宮地莊蔵・祖谷次郎作他	冊	寛政12年11月28日		
10-2-41	予州両銅山銅炭運上并在在役人之儀二付伺書	松平隠岐守内梯渡	冊	慶応2年10月		
10-2-42	弟地道不吞水木伐番家之内行倒もの一件覚		冊	文化14年8月	1	※10-2-43～47で1冊
10-2-43	土州大北川山買受一条		冊	文化9年		
10-2-44	吉井山板中持大蔵当山木伐銀次板賊之一件		冊	文化9年7月6日		
10-2-45	御銅山御林覚書（此通相認東武御役人様并御預所江差出ス）	別子立川両銅山師泉屋万十郎代嘉右衛門・次兵衛	冊	未年9月		
10-2-46	出来炭積覚	別子立川両銅山	冊	文化3年12月		
10-2-47	涌山三ヶ山津根山四ヶ山為御見分御吟味御下役柳田喜十良様御普請役和田繁蔵様御廻山日記		横冊/冊	天明7年8月	1	※10-2-48～50で1冊
10-2-48	桑瀬中之川一之谷掛合控式番	弟地炭方	冊	安政6年8月		
10-2-49	土州桑瀬一之谷山中ノ川山見分一条控	弟地炭方	冊	嘉永6年3月		
10-2-50	御林願書写		冊	享保6年8月	1	※10-2-51,53で1冊
10-2-51	銅炭御改帳	泉屋吉左衛門	冊	正徳2年正月		
10-2-53	御料山境目〔 〕畑買林控帳	炭方	冊	文化11年2月		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
10-3-1	五歩付十ヶ年賦米御借入差引帳		横冊	享和3年12月	1	※10-3-1～8で1冊
10-3-2	(松山往来日記)		冊	巳年		
10-3-3	寿銅丸諸色入用積り書		横冊	文化13年3月		
10-3-4	質入本畑小前帳	東角野村河端基之右衛門他2名	横冊	文政4年12月		
10-3-5	大嶋浦逗留難船一件諸入用控		横冊	文政9年5月		
10-3-6	鋪方一件二付松山日記并後段		冊	文化5年5月		
10-3-7	当浦中塚政助銅一件書（新居浜浦中塚不正銅取扱につき）		冊	弘化3年6月		
10-3-8	両谷脱走一条徒党召捕川の江御役人御登山記録		冊	慶応3年11月		
10-3-9	脱走一條（別子立川銅山稼人）		冊	慶応3年5月	1	※10-3-9～16で1冊
10-3-10	銅山方諸入用書付		冊	文政2年		
10-3-11	松山内達状之控	卯兵衛	冊	文政9年7月4日		
10-3-12	(文化十三年大風雨・焼失損亡拝借銅出来につき俟素委細書付)	予州	冊	文化14年9月		
10-3-13	新居浜浦嘉吉銅一件始末書（水主政助不正銅抜ケ売につき）	両銅山	冊	弘化3年6月		
10-3-14	立川中宿申渡書（休山之儀につき）		冊			
10-3-15	(本屋敷買請証文他写書)		冊	宝暦5年8月～文化4年11月		
10-3-16	御申渡書（別家中より請書）	銅山支配清水惣右衛門・元々明星儀兵衛・広瀬義右衛門	冊	文久3年10月		
10-3-17	金子屋正右衛門一件従初発対談進退之記事（新居浜正右衛門一件）		冊	嘉永元年12月	1	※10-3-17～21で1冊
10-3-18	拝借銀一条松山出張日記	寛右衛門・卯兵衛	冊	天保15年9月		
10-3-19	別子山村足谷御銅山新見立之覚（別子立川両銅山御代官年次ほか雑記録）		冊			
10-3-20	長崎用諸雑記		冊	天保13年2月		
10-3-21	伊与国宇摩別子山村明細帳	別子山村善左衛門他22名	冊	宝永7年8月		
10-3-22	別子立川両銅山鋪内抜合二付交渉日録		冊	元禄14年～16年	1	
10-3-23	(鉋代水引賃焼木代等諸控)		冊		1	※10-3-23～25で1冊

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
10-3-24-1	商法方藤屋七左衛門買物仕切書并諸算用書在中		袋	明治2年	1	※10-3-23～25で1冊
10-3-24-2	覚（米・灯油など買物仕切書）		綴	（明治2）巳年5～8月		
10-3-24-3	覚（魚油代など入用割付）		横冊	（明治2年）		
10-3-24-4	諸差引覚帖（明石米屋藤治郎ほか）		横冊	明治2年5月		
10-3-24-5	金受払帳		横冊	（明治2年）		
10-3-25	銅一件諸記		冊	嘉永7年8月	1	※10-3-26～29で1冊
10-3-26	生野砒山傭教師コハニイー氏当別子山江検査登山之節差出し候書附		冊	（明治6年）		
10-3-27	立川銅山大坂屋時代堀子離山騒動始末書	別子勘場	冊	元文4年		
10-3-28	分銅改役人へ差出候書付控	支配人泉屋田右衛門	冊	文化8年7月24日		
10-3-29	自元禄至慶応以降至明治当鉦山沿革調	鉦山重任分局	綴	（明治23年頃）	1	※10-3-30～32で1冊
10-3-30-1	予州別子立川両銅山仕格覚書控		冊	文化元年		
10-3-30-2	予州別子立川両銅山仕格覚書		冊	弘化4年		
10-3-30-3	予州別子立川両銅山仕格覚書		冊	慶応元年		
10-3-31	別子立川境論控		綴	（元禄10年）		
10-3-32	銅山開発一条願書類抄書写（但壱番公用帳并両銅山付御林帳競合支配人たるへきもの必可暗記事）	支配用署	冊	元禄4年～14年	1	※10-3-33～39で1冊
10-3-33	立川御銅山仕覚明細書（御巡見様登山之節御三人様江三冊指上并松山御役所江一冊出候控）		冊	宝暦11年		
10-3-34	別子銅山開基ヨリ百年之祝記（天保十一庚子銅山より提出シタル百五十年祭執行二関するもの）		冊			
10-3-35	別子銅山百ヶ年相当候二付大坂江掛合執斗候諸控		冊	寛政2年4月		
10-3-36	鋪方稼人中願出躁動雑記	支配用署	冊	天明5年8月		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年 月 日	製本冊数	備 考 ・ 参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
10-3-37	別子御銅山仕覚明細書（御巡見様登山之節御三人様江三冊指上并松山御役所江一冊出候控）		冊	宝暦11年	1	※10-3-33～39で1冊
10-3-38	予州別子立川両御銅山仕格覚書		冊	明和6年		
10-3-39	松山守宰役儀録	住友	冊	文化5年		
10-4-1	諸国銅山見分記	住友	冊	元文4年～明治23年	2	
10-4-2-1	証文之控帳（別子銅山より銀子貸付等諸証文控壱番）	天満泉屋	冊	元禄15年3月～寛保2年8月	1	
10-4-2-2	諸証文（別子銅山より銀子貸付等諸証文控）	住友	冊	享保19年3月～元文3年12月	1	
10-4-2-3	証文控（別子銅山より銀子貸付等諸証文控）	炭方	冊	天明7年12月～安政6年8月	1	
10-4-2-4	証文控（別子銅山より銀子貸付等諸証文控四番）		冊	元文5年10月～天保13年8月	2	
10-4-2-5	炭宿床地子代類山質持林買置証文控	勘場	冊	文化5年11月～安政2年3月	1	
10-5-1	（予州銅山水掛之儀につき長崎奉行へ書上）		冊		1	※10-5-1～10-5-5 で1冊
10-5-2	江戸御役人杉山戸右衛門様御登山心得	勘定庭	冊	（文政9）戌年10月		
10-5-3	松山御奉行山田四郎兵衛様御登山之節御給仕人役割控	茶之間	冊	文政13年閏3月		
10-5-4	為涌水御見分御御普請役副田元右衛門様長崎会所中山利十郎様御登山之節諸手当之控		冊	安政3年10月		
10-5-5	御普請役副田元右衛門様長崎会所中山利十郎様涌水為御見分御登山之節日記		冊	安政3年10月22日～11月25日		
10-5-6	涌水為御見分御登山之節御普請役副田元右衛門様長崎会所中山利十郎様差上候書類		冊	安政3年11月	1	※10-5-6～10-5-8 で1冊

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
10-5-7-1	為涌水御見分御普請役副田元右衛門様長崎会所中山利十郎様御登山之節諸方文通控 壱番（弐冊之内）		冊	安政3年6月29日～10月12日	1	※10-5-6～10-5-8 で1冊
10-5-7-2	涌水為御見分御普請役副田元右衛門様長崎会所中山利十郎様御登山之節諸方文通控 弐番（弐冊之内）		冊	安政3年10月11日～11月25日		
10-5-8	為涌水御見分御普請役杉山戸右衛門様御登山之節差出候書類		冊	文政9年10月		
10-5-9	鋪中涌水為御見分東武御役人大坂銅座詰杉山戸右衛門様御下向諸用控	勘場	冊	文政9年10月	1	※10-5-9～10-5-14 で1冊
10-5-10	公儀御役人様記（別子銅山涌水見分役人応接記録）	龍河中宿	冊	文政9年9月		
10-5-11	銅山出水為御見分東武御役人杉山戸右衛門様御下向諸控	新居浜	冊	文政9年10月		
10-5-12	松山御預所御奉行山田四郎兵衛様御登山之控		冊	文政13年閏3月17日		
10-5-13	東武御役人様御登山之節座敷割并給仕方控	勘場茶之間	冊	文政2年4月		
10-5-14	公儀御役人郡司善三郎様檜原百之助様御登山料理献立道具付	銅山勘定場	冊	文政2年3月	1	※10-5-15～10-5-17-7 で1冊
10-5-15	東武御役人郡司善三良様檜原百之輔様水流御見分手当之控	鋪役所	冊	文政2年3月		
10-5-16	公儀御役人御普請役郡司善三郎様檜原百之助様御見分御登山一件	勘場	冊	文政2年3月		
10-5-17-0	涌水御見分御普請副田元右衛門様長崎会所役中山利十郎様御下向二付徳兵衛船中御案内上下両度浪花滞留中書記		包紙	安政3年11月		
10-5-17-1	御見分御役人様御下向二付御伺之覚		冊	（安政3年）		
10-5-17-2	涌水御見分心得書	予州銅山	冊	（安政3年）		
10-5-17-3	出来銅百斤二付諸入用凡積		冊	（安政3年）		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
10-5-17-4	諸直段書		冊	(安政3年)	1	※10-5-15～10-5-17-7 で1冊
10-5-17-5	覚（水引賃など書き上げ）		横冊	(安政3年)		
10-5-17-6	公事至浪華征中雅俗雑史	岡埜氏	冊	安政3年9月7日～10月13日		
10-5-17-7	予州別子立川両御銅山鋪内惣絵図		図	(安政3年)		
10-5-18-1	御見分二付御尋之答書		綴	文化元年3月～5月	1	※10-18-1～10-5-18-3 で1冊
10-5-18-2	阿州御領より銅水流之儀申立有之候二付 為御見分江戸御役人様長崎表より御帰路 之節御登山二付諸方掛ヶ合控	与州両銅山	冊	文化元年4月		
10-5-18-3	公儀御役人御普請役落合文五郎様田村織 右衛門様御見分御登山一件		冊	文化元年5月		
10-5-19	江戸従御勘定所三田御役所江御尋二付銅 山方買請御米国々里数運賃諸掛物并方等 御答書控	支配稻田右衛門代	冊	文化10年12月	1	※10-5-19～10-5-23 で1冊
10-5-20	東武旅客入山為聞合応答書	両銅山支配方	冊	弘化2年5月24日		
10-5-21	心得筆記		冊	文政9年10月		
10-5-22	浦山之儀御尋二付如此認出入		冊	天明7年9月		
10-5-23	明和六丑三月銅山并御料所為御見分江府 御役人様御登山二付此一件控		冊	明和6年3月		
10-5-24	御料御巡見使御登山控		冊	寛政元年4月	1	※10-5-24～10-6-6で1冊
10-6-1	桑村郡河原津浜難船一条運書	藤屋七左衛門	横半	天保8年12月13日		
10-6-2	伊勢丸難舟諸日記		冊	安政6年11月28日		
10-6-3	桑村郡河原津村於大崎龍王鼻御米難船一 件	新居浜役所	冊	天保8年12月		
10-6-4	飛船七三郎と船之儀二付出入出来之節始 中終一件控	新居浜役所	冊	寛政8年8月		
10-6-5	覚日記		冊	(寛政元) 酉年閏6月～8月	1	※10-6-7～10-6-10で1冊
10-6-6	御当家御苗字御免控	住友吉次郎内鈴江伊右衛門	冊	文化8年閏2月		
10-6-7	勇力丸忠七船於備前州児嶋郡日比浦難船 二付手代龍造彼地へ差向候内済一条諸筆 記写	両銅山新居浜役所	冊	弘化3年7月～8月		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年 月 日	製本冊数	備 考 ・ 参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
10-6-8-1	作州御米破船一件記	新居浜住友	冊	文政9年5月	1	※10-6-7～10-6-10で1冊
10-6-8-2	脇坂中務大輔様御預所之分於大嶋浦作州御米船破損控	住友役所	冊	文政9年5月		
10-6-9	但州生野布施孫三郎様御代官所作州御米破船一件控写		冊	享和3年正月		
10-6-10	(新居浦定右衛門一件二付住返之書面類留)		冊	9月～10月		
10-6-11						* 状態が悪いため閲覧不可
10-6-12	布施孫太郎様御代官所作州御米破船一件		冊	享和3年正月	1	
11-1-1	(別子運上銅増額につき関係書付写)		綴	元禄4年～9年	1	※11-1-1～11-1-30で1冊
11-1-2	(別子立川合併二関する経緯書類写)		綴	元禄10年～宝永3年		
11-1-3	覚(蔵々御仕替証文)	藤屋七左衛門	状	正徳3年3月		
11-1-4	(銅山買請米海上遭難之儀につき定書)	松平隠岐守内秋山小助	状	寛延4年4月13日		
11-1-5	覚(予州銅山師渡米遅滞御尋につき返答書)	天野助次郎	冊	申年6月		
11-1-6	(銅山方別子山村旧例違変につき村方陳述書)	別子村惣百姓・組頭・庄屋・隠居	状	宝暦2年		
11-1-7	別子山村旧例追啓書之事	別子山村惣百姓大小人数不残	状	宝暦2年		
11-1-8	別子山村百姓渡世仕来旧例之事		状			
11-1-9	一札之事(御用銅・上下荷物運搬につき馬方差入)	預り主嘉右衛門・請人与六・二人喜兵衛・彦七	状	明和7年5月		
11-1-10	一札之事(御用銅・上下荷物運搬被仰付につき馬方差入)	預り主吉右衛門・彦七・勘平	状	明和8年正月		
11-1-11	一札之事(御用銅・上下荷物運搬被仰付につき)	預り主善次郎・請人丈右衛門他2名	状	明和8年正月		
11-1-12	一札之事(年貢米之儀相違につき内済)	宮内村庄屋代平兵衛・年寄代市郎兵衛・幸	状	明和8年3月24日		
11-1-13	一札之事(年貢米之儀相違につき内済)	庄屋代平兵衛・年寄代市郎兵衛・幸治	状	明和8年3月24日		
11-1-14	一札(甚蔵不埒之儀あり託)	甚蔵他5名	状	安永8年5月		
11-1-15	預申御米代銀之事(造船につき銅山米代上納銀之内より借用証文)	新居浜浦忠七	状	安永8年8月		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
11-1-16	預り申御米代銀之事（造船につき銅山米代上納銀之内より借用証文）	御手船沖船頭孫右衛門	状	安永8年9月	1	※11-1-1～11-1-30で1冊
11-1-17	預申御米代銀之事（造船につき銅山米代上納銀之内より借用証文）	新居浜浦船頭重左衛門	状	安永8年9月		
11-1-18	預申御米代銀之事（造船につき銅山米代上納銀之内より借用証文）	飛舟七三郎	状	安永8年9月		
11-1-19	一札（御用銅・上下荷物運搬につき馬方差入）	馬持久兵衛・受人慶右衛門・定馬持惣代彦佐	状	天明2年正月6日		
11-1-20	一札（御用銅・上下荷物運搬につき馬方差入）	馬持佐吉・請人与三郎・二人重蔵	状	天明2年8月		
11-1-21	奉誤一札之事（無調法申出につき）	佐兵衛・重右衛門・忠右衛門・常右衛門・	状	天明2年9月		
11-1-22	誤書一札之事（御用荷物二間違有之につ	彦七・権六	状	天明4年12月		
11-1-23	一札之事（役所用向勤につき差入）	宇兵衛他6名	状	天明6年1正月27日		
11-1-24	預申銀子之事（年貢未進につき銅山米代上納之内より借用）	藤屋七左衛門・松屋弥市右衛門	状	天明6年12月		
11-1-25	一札之事（船新造仕度につき銀子借用証	孫右衛門	状	寛政3年1正月		
11-1-26	一札之事（米積之節心得違有之候処、御聞済につき差入）	船頭佐兵衛・常右衛門	状	寛政5年7月		
11-1-27	預申御米代銀之事（造船につき銅山米代上納銀之内より借用証文）	新居浜浦飛船孫右衛門	状	寛政5年12月		
11-1-28	新市来状写（難渋につき銀子恩借願）	河上喜右衛門	状	6月29日		
11-1-29	口上（内間難渋につき銀子恩借願）	新市村喜右衛門	綴	閏1正月	1	※11-1-31～11-1-68-2で1冊
11-1-30	口上（内間難渋につき銀子恩借願）	新市村喜右衛門	状	寅年12月		
11-1-31	誤一札之事（御用銅船頭役心得違有之につ	長久丸船頭与市郎・親重左衛門	状	寛政7年5月		
11-1-32	口上（桑村郡取替米一件済につき樽代受取書）	河上喜右衛門	状	卯年8月		
11-1-33	桑村郡取替米差縫之儀二付新市村喜右衛門儀セ話掛り之儀二付其節之入用銀渡呉候様申来ル一件控	新市村庄屋河上喜右衛門・泉屋三右衛門	冊	寛政7年8月		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
11-1-34	乍恐以書附奉歎上候（買受米値段三匁高御赦免願）	銅山師泉屋吉次郎幼少二付代判仁右衛門	状	寛政9年10月	1	※11-1-31～11-1-68-2で1冊
11-1-35	一札之事（銅山買受米手落につき訖）	宇摩郡下分村組頭与右衛門	状	寛政10年10月		
11-1-36	一札之事（銅山買受米手落につき訖）	川之江次兵衛・小川山村清右衛門	状	寛政1元年3月		
11-1-37	申渡（損失打続につき儉約）	吉次郎・吉左衛門	状	申9月		
11-1-38	差入申一札之事（銅一丸積過御札之處内済被成下候につき）	清兵衛・藤兵衛・好兵衛・源蔵	状	享和元年6月		
11-1-39	為取替申浦証文之事（銅山渡米破船につき済方）	沖之嶋組頭彦左衛門他4名	状	享和3年閏正月		
11-1-40	借用申銀子之事（年貢差詰につき）	亀之丞・弥市右衛門	状	享和3年12月		
11-1-41	（小足谷水拔之趣意等書付）		状	3月23日		
11-1-42	（豫州銅山悪水吉野川流込につき見分願）		状	4月3日		
11-1-43	（御普請役通行につき西条藩領村々申）	御普請役	状	4月1朔日・子5月		
11-1-44	借用申銀子之事（年貢他上納筋差詰につき銀子借用証文）	亀之丞・弥市右衛門	状	文化元年6月		
11-1-45	水拔発旦之趣意并二間数猶又是非成就不致而八後年鋪中指支二相成候哉之段荒増書付指出候様被仰聞候二付官兵衛、左通相認指出候間差出候写		状	3月23日		
11-1-46	覚（別子銅山入用諸色調方問屋勤方につき）	平野屋嘉右衛門	状	文化2年1正月		
11-1-47	売渡申船証文之事（150石積1艘）	備前銅湊茂吉・源六	状	文化4年3月6日		
11-1-48	口上（新造船之儀西條役所用向仰付勘弁願）	藤屋七左衛門	状	文化4年4月		
11-1-49	差入申一札之事（銅山方諸穀物買入口銭之儀につき一札）	米問屋金子屋庄右衛門・藤屋七左衛門	状	文化7年6月		
11-1-50	乍恐書付を以奉申上候（別子立川銅山買請米之儀につき伊予米下渡願写）	住友吉次郎名代直蔵	綴	文化9年1正月9日～12日		
11-1-51	一札之事（作州御米船請負につき）	泉屋才右衛門	状	文化9年12月		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
11-1-52	御侘一札之事（銅縄買入方出入差止につき託）	米屋庄次	状	文化1元年2月	1	※11-1-31～11-1-68-2で1冊
11-1-53	永代売渡申田地証之事（年貢未進につき）	壬生川岩見屋善治・与助	状	文化12年12月		
11-1-54	売渡申家屋敷証文之事（年貢未進につき銅山方米代銀より借用）	兵太郎・幼少二付代判嘉兵衛他4名	状	文化12年12月		
11-1-55	永代売渡申田地証文之事（年貢未進につき）	岩見屋善治	状	文化12年12月		
11-1-56	永代売渡申田地証文之事（年貢未進につき）	岩見屋善治他3名	状	文化12年12月		
11-1-57	永代売渡申田地証文之事（年貢未進につき）	岩見屋善治	状	文化12年12月		
11-1-58	借用仕銀子之事（御用延代前借につき銅山米代銀より銀子借用）	岩見屋善次	状	文化12年12月		
11-1-59	借用申証文之事（年貢未進につき銅山上納銀より借用）	岩見屋善治	状	文化12年12月		
11-1-60	永代売渡申田地証文之事（年貢未進につき）	岩見屋善治・与助	状	文化12年12月		
11-1-61	以口上書奉申上御事（入用相増につき新借願）	新居浜浦定右衛門・喜兵衛	状	文化13年3月		
11-1-62	差上申御請書之事（藤屋七左衛門方問屋職忰兵太郎相続につき）	新居浜浦兵太郎・親類惣代嘉兵衛他3名	状	文化13年3月		
11-1-63	指入申一札之事（問屋職藤屋兵太郎若年にて後見）	兵太郎後見人小泉屋三右衛門	状	文化13年4月		
11-1-64	奉歎上口上（寿銅丸引請名前相続願）	藤屋兵左衛門	状	文化14年正月		
11-1-65	口書一札之事（買請米積船難船につき内済）	壬生川浦船頭平兵衛・丈助	状	文化14年8月23日		
11-1-66	口上書一札之事（買請米積船難船につき内済）	壬生川浦船頭定蔵	状	文化14年8月23日		
11-1-67	覚（近年銅山難渋につき目録差遣シのさい申達）	吉次郎	状	丑年9月		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
11-1-68-1	浦山御林二而同所丑之助直次郎背キ仕成一件留		冊	文化15年2月	1	※11-1-31～11-1-68-2で1冊
11-1-68-2	浦山御林之内背キ有之候所山賊相沢候二付同所庄屋へ及掛合候節法院并二名頭中、内済願出候節運ひ書済口証文在中（袋表題）		綴	文政元年2月		
11-1-69	此度従阿州御普請役江御書上被成候写左二（予州銅山銅毒被害につき）		状	4月3日	1	※11-1-69～11-1-115で1冊
11-1-70	（公儀普請役書付候別子銅山心得書写）		状	文政2年4月22日		
11-1-71	覚書（予州銅山水毒等につき）		状	4月		
11-1-72	借用仕銀子之事（年貢差詰につき）	新居浜浦大坂屋市郎兵衛・丸屋孫兵衛・丸屋兵左衛門	状	文政2年8月		
11-1-73	借用仕銭之事（銅山米代）	政助・平八・茂左衛門	状	文政2年12月		
11-1-74	（予州銅山銅毒につき書付）	泉川雨（力）村・中村望子	状			
11-1-75	乍恐奉歎上御事（諸式高直につき船方賃銭御増願）	新居浜浦林兵衛・忠七・兵左衛門・十左衛門	状	文政4年10月		
11-1-76	差入申田地証文之事（年貢未進につき田地売渡）	金右衛門・武蔵	状	文政4年		
11-1-77	奉歎上口上（幾右衛門引負銀返済につき忠七船株継続願）	新須賀村源助・新居浜浦七左衛門	状	文政5年正月		
11-1-78	指入申一札事（井筒屋忠七借用米返済につき）	新須賀村源祐	状	文政5年2月		
11-1-79	覚（酒酔にて御用銅之馬を妨候につき詫）	西角野村総吉・五人組頭甚左衛門他3名	状	文政5年4月9日		
11-1-80	差上申一札之事（松右衛門身持不埒につき詫）	松右衛門・二人和助	状	文政5年9月		
11-1-81	差入申添一札之事（郡中難渋にて銀借用につき）	郡中惣代安倍理右衛門他4名	状	文政8年5月		
11-1-82	指入申一札之事（札歩下落にて前借につき勤方一札）	佐兵衛・孫右衛門・安右衛門・松右衛門	状	文政8年12月		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
11-1-83	借用申銀子之事（御用銅縄代前借につき）	風早郡北條町藤屋九郎右衛門・後見中西内村儀右衛門	状	文政8年12月	1	※11-1-69～11-1-115で1冊
11-1-84	質物証文之事（年貢未進につき銅山米代銀之内より銀子借用）	岩吉・請入兵左衛門	状	文政8年12月		
11-1-85	予州銅山師御渡米送状之事	脇坂中務大輔預所役人中田所介	状	文政9年5月16日		
11-1-86	口達之覚（買受米廻漕船難破につき内達）	泉屋卯兵衛	状	5月25日		
11-1-87	口書一札之事（作州米積船遭難一件につき内済）	船頭茂十郎	状	文政9年5月26日		
11-1-88	差入申一札之事（水主行方不明にて搜索打切につき）	児嶋郡阿津村船頭金五郎・上乘七左衛門	状	文政9年5月26日		
11-1-89	差入申一札之事（水主行方不明にて搜索打切につき）	児嶋郡阿津村船頭金五郎・上乘七左衛門	状	文政9年5月26日		
11-1-90	乍恐口上之覚（別子立川両銅山買請米積船破船につき内済）	銅山師泉屋卯兵衛	状	文政9年5月28日		
11-1-91	差上申一札之事（予州銅山買請米積船難船につき内済）	備前金岡湊船差配人市場屋七左衛門・新屋清七	状	文政9年5月		
11-1-92	差入申一札之事（予州銅山買請米積船難船につき内済）	倉見村庄屋善平	状	文政9年5月		
11-1-93	一札之事（予州銅山買請米積船難船につき内済）	泉屋卯兵衛代泉屋清兵衛	状	文政9年5月		
11-1-94	口書一札之事（買受米廻漕船難破につき）	備前児嶋郡小串村船頭茂十郎	状	文政9年5月		
11-1-95	差入申一札之事（難船買請米受取内済につき）	倉見村庄屋善平	状	文政9年5月		
11-1-96	差入申一札之事（米積船遭難につき内済）	船頭茂十郎・船受負人七左衛門	状	文政9年5月		
11-1-97	口書一札之事（米積船遭難につき内済、付紙とも）	船頭茂十郎	状	文政9年5月		
11-1-98	口書一札之事（米積船難船につき内済）	倉見村庄屋善平・船請負七左衛門	状	文政9年5月		
11-1-99	指入申一札之事（水主行方不明にて搜索打切につき）	直乗船頭金五郎・船請負七左衛門	状	文政9年5月		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
11-1-100	借用申田地証文之事（年貢未進につき田地指入）	金右衛門・請人作右衛門	状	文政9年12月	1	※11-1-69～11-1-115で1冊
11-1-101	乍恐口上之覚（水主三兵衛行方不明一件につき）	泉屋卯兵衛	状	文政9年5月28日		
11-1-102	借用申銭之事（銭借用証文并添一札）	借主柳屋友蔵・受人大蔵屋積内	状	文政10年12月		
11-1-103	問屋藤屋七左衛門へ申渡書（餅米問屋之儀につき）	住友役所	状	文政10年12月		
11-1-104	奉願上口上覚（打壊しに遭い難渋につき借用銀年賦返納願）	藤屋儀兵衛・兵左衛門	状	文政12年3月		
11-1-105	借用申銀子之事（村方小入用につき銀子借用証文）	頭百姓彦三郎他6名	状	文政12年12月		
11-1-106	奉願上口上（諸算用運賃銀紛失につき借財返却延引願）	藤屋兵左衛門	状	文政13年2月		
11-1-107-1	田地質物一札之事（年貢未進につき田地質物差入米借用一件書類）	高知村貞兵衛他2名	状	文政13年11月		
11-1-107-2	貞兵衛持分田畑横貫写		横冊	（文政13年）		
11-1-108	売渡申居宅証文事（年貢未進につき居宅差入銀子借用証文）	藤屋定右衛門・金子屋茂左衛門	状	文政13年12月		
11-1-109	（平右衛門支配役申付書）	吉次郎友聞	状	8月21日		
11-1-110	口演（平右衛門同役仰付につき）	卯兵衛	状	9月28日		
11-1-111	借用仕銀子之事（銅山米代上納銀之内より借用）	新須賀村清右衛門	状	天保3年11月		
11-1-112	四ヶ年切売渡申屋敷証文之事（年貢未進につき屋敷差入）	新居浜浦市左衛門	状	天保4年3月		
11-1-113	覚（村方米借用証文）	国安村庄屋越智繁九郎	状	天保4年4月		
11-1-114	指入申一札之事（米揚荷取扱につき）	新居浜浦春右衛門他10名・馬土頭三次郎・弥兵衛	状	天保4年11月		
11-1-115	十ヶ年切売渡家屋敷証文之事（年貢未進につき差入銀子借用）	惣左衛門・請人藤十郎・安右衛門	状	天保5年4月		
11-1-116	指入証文之事（田地指入借用）	又三郎他3名	状	天保6年12月		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
11-1-117	乍恐奉願上御事（寿銅丸拝借銀高引受につき）	十左衛門・林兵衛・忠七	状	天保7年2月	1	※11-1-116～11-1-162で1冊
11-1-118	指入申一札之事（年貢米遅納につき差入）	備前国金岡湊市場屋七左衛門	状	天保7年6月		
11-1-119	拝借仕錢之事（内間入用につき）	借用主津根村金兵衛・庄平	状	天保9年2月		
11-1-120	指入申証文之事（田地指入錢借用）	米屋吉右衛門	状	天保10年正月		
11-1-121	指入申一札之事（御用銅并諸荷物運送につき）	新居浜浦六兵衛・利吉・菊松・卯八・弁吉	状	天保11年2月		
11-1-122	指入申一札之事（銅山荷物上下駄賃馬相勤につき）	新居浜浦岩太郎・受人忠七	状	天保11年2月		
11-1-123	御侘申一札之事（銅山御用荷物運送中紛失につき）	儀作・定助・竹蔵・万吉・民吉・庄兵衛	状	天保11年2月		
11-1-124	差入申一札之事（銅山御用荷物上下駄賃馬相勤につき）	新居浜浦弁吉・受人熊蔵	状	天保11年2月		
11-1-125	指入申一札之事（銅山御用荷物上下駄賃馬相勤につき）	新居浜浦利吉・受人長兵衛	状	天保11年2月		
11-1-126	指入申一札之事（銅山御用荷物上下駄賃馬相勤につき）	新居浜浦卯八・請人米屋清八	状	天保11年2月		
11-1-127	指入申一札之事（銅山御用荷物上下駄賃馬相勤につき）	新居浜浦菊松・請人儀平	状	天保11年2月		
11-1-128	申達之覚（改法之趣意申渡書）	支配人	状	（天保14）卯年11月		
11-1-129	一札証文之事（年貢未進につき居宅物置差入銀子借用）	幸吉・請人弥五兵衛	状	天保12年正月		
11-1-130	申渡（銅船運航につき申渡并請書）	勇力丸忠七他3名	状	天保12年7月		
11-1-131	乍恐御返答奉申上御事（銅船運行につき申渡并請書、他一件書類）	勇力丸忠七・伊勢丸林兵衛・長久丸十左衛門	状	天保12年8月		
11-1-132	拝借仕錢札之事（家・薬種株引当錢借用証文）	八蔵屋忠五郎・右馬太郎	状	天保13年12月		
11-1-133	（別子銅山休業申渡につき書状）	藤田覚兵衛他2名	状	6月22日		
11-1-134	（別子銅山休業之儀につき書状）	藤田覚兵衛・赤路豊助・三木佐右衛門	状	7月14日		
11-1-135	（別子銅山休業一件につき書状）	友視	状	7月21日		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
11-1-136	(別子銅山休業につき引払方指図書)		状	卯年10月	1	※11-1-116～11-1-162で1冊
11-1-137	改法申談書（別子銅山）	支配人	状	卯年11月		
11-1-138	廻章（詰合中転役之節酒宴等停止之廻章）	本家吟味役兼省略方覚兵衛・支配方治右衛門	状	天保14年11月		
11-1-139	差上申一札之事（改法につき請書）	年寄大工金七他5名・鍛治実平・平大工仙松他15名・稼人惣代源八他3名	状	天保14年12月19日		
11-1-140	乍憚口上（御改法に彼是申出候につき詫并改法厳守の一札）	中持中	状	天保14年12月		
11-1-141	差上申一札之事（改法につき請書）	木方竈大工竹七他3名・同手子亀松他2名・稼人惣代元平他1名	状	天保14年12月		
11-1-142	差上申一札之事（改法につき請書）	山留忠右衛門他5名・鍛治勝之丞他4名・床屋小右衛門他5名・役人手子林次他8名・壺番堀子代兵衛他4名・札場次兵衛他1名・追探幾右衛門・浪人頭政太郎・惣稼人中代弥平他4名	状	天保14年12月		
11-1-143	差入申一札之事（諸入用高直にて運賃直増聞済につき）	惣馬中	状	天保15年正月		
11-1-144	乍恐以書付御届奉申上候（銅山稼方難渋につき休山の心組上申書）	銅山御用達住友甚兵衛	冊	天保15年6月		
11-1-145	奉願上御事（内間指支につき盆前残銀貸下并増賃願）	長久丸十左衛門他2名	状	天保15年12月		
11-1-146	乍恐奉願上御事（諸色高直につき盆前借残銀拝借願）	飛舟孫右衛門・佐兵衛・藤五郎・松右衛門	状	天保15年12月		
11-1-147	御請奉申上候（銅代値増願聞済につき請書）		冊	辰年9月		
11-1-148	差入申一札之事（銅山方渡米積船破船につき内済）	備前国金岡湊船請負人七左衛門	状	弘化2年2月		
11-1-149	差入申一札之事（御米積船破船につき内済）	備前国児嶋郡小串村船頭忠三郎・金岡湊船請負人七左衛門	状	弘化2年2月		
11-1-150	覚（両銅山七月分給扶持水夫米）	尾崎儀右衛門	状	弘化2年7月		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年 月 日	製本冊数	備 考 ・ 参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
11-1-151	乍恐奉願上御事（前貸銀減額にて難渋につき先例通銀御貸下願）	伊勢丸林兵衛・長久丸十左衛門・勇力丸忠七	状	弘化2年12月	1	※11-1-116～11-1-162で1冊
11-1-152	覚（村方皆済差支につき米借用証文）	国安村庄屋越智繁九郎他2名	状	弘化2年12月		
11-1-153	豫州別子立川両御銅山年々買請米代銀之内稼人共江売渡米代銀請取候分引残損銀凡積左二		冊	弘化2年～安政元年		
11-1-154	乍恐以書付奉願上候（長久丸舟頭重左衛門多病老衰につき退勤願）	長久丸重左衛門	状	弘化3年2月		
11-1-155	為取替一札之事（廻船一艘代金）	西條三河屋伊兵衛	状	弘化3年5月		
11-1-156	乍恐以書附奉願上候（新船造立資金拝借住友本家へ執成願）	伊勢丸林兵衛	状	午年閏5月		
11-1-157	奉願上御事（勇力丸破損につき造替仰付願）	新居浜浦忠七	状	弘化3年9月		
11-1-158	覚（村方年貢米差支につき米借用）	国安村庄屋越智繁九郎	状	弘化3年12月		
11-1-159	乍恐以書付御歎願申上候（米不納分納方之儀につき）	喜兵衛	状	弘化3年12月		
11-1-160	借用申証文之事（上納金差支につき畑地引当西札2貫900目借用）	門助・惣助他3名	状	弘化4年11月		
11-1-161	乍憚以書附奉歎願候（金借用にて鉄問屋株差入之处株差置願）	茜屋宇右衛門	状	弘化5年正月	1	※11-1-163～11-2-40で1冊
11-1-162	五ヶ年限証文之事（年貢未進につき田地引当米借用）	大工屋十郎兵衛	状	弘化5年正月		
11-1-163	借用申証文之事（年貢米指詰につき銅山仕入米之内より借用）	河端忠次他5名	状	弘化5年3月		
11-1-164	口上（借用銀返済方につき願書）	金子村伝左衛門	状	申年3月		
11-1-165	指入申証文之事（年貢差詰につき田地引当通札借用）	久右衛門	状	嘉永元年5月		
11-1-166	売渡申一札之事（蔵二軒売渡証文）	久右衛門	状	嘉永元年5月		
11-1-167	差入申一札之事（桑村郡年貢米未皆済につき入割願）	河上喜三左衛門・越智繁九郎	状	嘉永元年6月		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年 月 日	製本冊数	備 考 ・ 参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
11-1-168	乍恐以書附奉願上候（船新造作替につき銀子借用）	伊勢丸林兵衛	状	嘉永元年9月	1	※11-1-163～11-2-40で1冊
11-1-169	（役所宛願書并三河屋行書状等につき書状）	田中半右衛門	状	12月5日		
11-1-170	売渡申田地証文之事（金子返納差支につき一ヶ年切売渡）	金子屋庄右衛門	状	嘉永元年12月		
11-1-171	覚（桑村郡越智郡納米覚）	野村五左衛門	状	嘉永元年12月		
11-1-172	乍憚以書附ヲ奉願上候（銅船問屋源治郎死去にて借財返納につき）	土佐屋四郎吉代判長三郎	状	嘉永元年12月		
11-1-173	借用証文之事（年貢指詰につき銅山仕入米より年賦にて借用）	新宮村預庄屋猪川六郎兵衛・年寄直太郎	状	嘉永2年3月		
11-1-174	乍恐以書附奉再願申上候（船新造作替につき銀子借用を再願）	伊勢丸林兵衛	状	嘉永2年4月		
11-1-175	覚（両銅山七月分給扶持水夫米渡）	関家市郎	状	嘉永2年7月		
11-1-176	預り申御米之事（年貢上納差し詰りにつき銅山納米より米借用）	西角野村好造他35名	状	嘉永2年12月		
11-1-177	覚（嘉永二年桑村郡物成米）	野村五左衛門	状	嘉永2年12月		
11-1-178	覚（嘉永二年分越智郡納米高）	野村五左衛門	状	嘉永2年11月		
11-1-179	覚（宇摩郡新居郡御成箇納米割符）	関家市郎	状	嘉永2年12月		
11-1-180	覚（御給扶持水夫米渡分）	関家市郎	状	嘉永2年2月		
11-1-181	奉願上御事（諸色高値につき銅運賃値上願）	長久丸十左衛門・伊勢丸林兵衛・歓喜丸徳太郎	状	嘉永3年5月		
11-2-1	再願書ヲ以奉申上御事（濡銅素銅の節目方用捨并船手借銀等につき）	重左衛門・林兵衛・篤太郎	状	嘉永3年6月		
11-2-2	奉願上申御事（銅山方御宿仰付願）	西條屋九助	状	嘉永3年9月		
11-2-3	覚（桑村越智両郡御成箇米）	野村五左衛門	状	嘉永3年11月		
11-2-4	奉願上事（手製醤油買上継続願）	上泉川村松井芳輔	状	嘉永3年11月		
11-2-5	乍恐奉願上御事（御用銅船頭難渋、借財返済方につき）	伊勢丸林兵衛	状	嘉永3年12月		
11-2-6	奉願上御事（諸穀高値につき銀6貫目年賦借用）	表屋伊八	状	嘉永3年12月		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
11-2-7	乍恐奉願上御事（雇船并運賃貸付願）	伊勢丸林兵衛	状	嘉永3年12月	1	※11-1-163～11-2-40で1冊
11-2-8	乍恐奉願御事（難渋につき定馬株一人前仰付願）	泉屋銀右衛門	状	嘉永3年12月		
11-2-9	指上申定書之事（銅運賃銀値上につき差入一札）	長久丸十左衛門・伊勢丸林兵衛・歓喜丸徳太郎	状	嘉永3年12月		
11-2-10	覚（宇摩新居郡御成箇米割符）	関家市郎	状	嘉永3年12月		
11-2-11	御歎奉申上口上（正右衛門商売差詰家出につき弟為吉問屋仰付）	親類惣代垣生村弥五郎	状	嘉永4年正月		
11-2-12	御歎奉申上口上（正右衛門商売差詰家出につき為蔵問屋仰付）	親類惣代垣生村弥五郎	状	嘉永4年正月		
11-2-13	乍恐奉願御事（養子国助出奔等にて難渋につき賦米）	米問屋嘉右衛門	状	嘉永4年2月		
11-2-14	御歎奉申上口上（正右衛門不埒之儀御免并弟へ問屋職仰付願）	親類惣代垣生村弥五郎	状	嘉永4年9月		
11-2-15	覚（宇摩・新居両郡御成箇納米割符）	光田弥兵衛	状	嘉永4年12月		
11-2-16	覚（亥年分桑村郡納米割符）	野村五左衛門	状	（嘉永4）亥12月		
11-2-17	覚（美作国ほか銅山米割当高書上）		状	嘉永4年		
11-2-18	予州銅山師御渡米送状之事	作州藤堂融助	状	嘉永5年2月15日		
11-2-19	覚（両銅山御給扶持水夫米渡）	光田弥兵衛	状	嘉永5年2月		
11-2-20	覚（両銅山御給扶持水夫米渡）	光田弥兵衛	状	嘉永5年2月		
11-2-21	覚（両銅山御給扶持水夫米渡）	光田弥兵衛	状	嘉永5年7月		
11-2-22	覚（宇摩郡新居郡子歳御成箇納米割符）	光田弥兵衛	状	嘉永5年10月		
11-2-23	乍恐口上（燈油取締につき銅山入用分積下シ許可願提出届書）	住友吉次郎病氣に付代八三郎	状	嘉永5年11月		
11-2-24	覚（当子歳越智郡納米之覚）	野村五左衛門	状	嘉永5年11月		
11-2-25	口達（当季差支につき銀子借用願）	伊勢丸林兵衛	状	嘉永5年12月		
11-2-26	予州銅山師御渡米送状之事	備前金岡湊御用先白石忠太夫手付本多元治	状	嘉永6年正月17日		
11-2-27	予州銅山師御渡米送状之事	白石忠太夫手付本多元治	状	嘉永6年正月17日		
11-2-28	予州銅山師御渡米送状之事	白石忠太夫手付本多元治	状	嘉永6年正月17日		
11-2-29	予州銅山師御渡米送状之事	白石忠太夫手付本多元治	状	嘉永6年正月17日		
11-2-30	予州銅山師御渡米送状之事	白石忠太夫手付本多元治	状	嘉永6年正月17日		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
11-2-31	予州銅山師御渡米送状之事	備前国金岡湊書役佐竹半十郎代白谷完平	状	嘉永6年正月18日	1	※11-1-163～11-2-40で1冊
11-2-32	予州銅山師御渡米訳之事	作州藤堂融助	状	嘉永6年2月15日		
11-2-33	予州銅山師御渡米送状之事	藤堂融助	状	嘉永6年2月15日		
11-2-34	予州銅山師御渡米送状之事	藤堂融助	状	嘉永6年2月15日		
11-2-35	予州銅山師御渡米送状之事	藤堂融助	状	嘉永6年3月15日		
11-2-36	予州銅山師御渡米訳之事	藤堂融助	状	嘉永6年3月15日		
11-2-37	予州銅山師御渡米送状之事	藤堂融助	状	嘉永6年3月15日		
11-2-38	予州銅山師御渡米送状之事	藤堂融助	状	嘉永6年3月15日		
11-2-39	差入申書札之事（拝借金返済につき）	惣馬中・頭金兵衛	状	嘉永6年7月		
11-2-40	覚（宇摩郡新居郡御成箇納米割符）	光田弥兵衛	状	嘉永6年11月	1	※11-2-41～11-2-100で1冊
11-2-41	覚（桑村越智両郡御成箇銅山渡米高）	野村五左衛門	状	嘉永6年12月		
11-2-42	乍恐奉願上御事（家屋敷買戻し度につき銀子借用）	藤屋七左衛門	状	嘉永6年12月		
11-2-43	覚（銅山納米割符高）		状	（嘉永6年）		
11-2-44	予州銅山師渡米送状之事	白石忠太夫手付本多元治	状	嘉永7年正月29日		
11-2-45	奉願口上（別家半右衛門米問屋開業につき同業私共引立願）	藤屋七左衛門	状	嘉永7年2月		
11-2-46	差入申一札之事（定馬与平治死去にて代役につき勤方の件）	定馬中・定蔵・請人八蔵・本人竹蔵	状	嘉永7年4月		
11-2-47	借用申米之事（銅山方入用につき）	住友吉次郎代今沢卯兵衛・新居浜詰吉村市郎右衛門	状	嘉永7年5月		
11-2-48	乍恐奉願上御事（内間差支につき年賦銀借用証文）	木屋十兵衛	状	嘉永7年閏7月		
11-2-49	差入申一札之事（肴売十吉御用銅抜買穂済につき）	新居浜浦新平・寅吉	状	嘉永7年8月		
11-2-50	差入申一札之事（肴売十吉ら御用銅抜買穂済につき）	肴売十吉・久吉・善蔵	状	嘉永7年8月		
11-2-51	差入申一札之事（菊蔵御用銅抜買穂済につき）	新居浜浦菊蔵	状	嘉永7年8月		
11-2-52	奉願上御事（西上野村指米なく迷惑につき助情取り扱いを願う）	米問屋嘉右衛門	状	嘉永7年8月		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
11-2-53	乍恐口上（忤亀太郎勘当につき役所御用 向仰付願）	長久丸十左衛門	状	嘉永7年9月	1	※11-2-41～11-2-100で1冊
11-2-54	以書附御歎奉申上候（馬道年貢不納御引 取之上銀子借用願）	金子村伝左衛門	状	嘉永7年11月		
11-2-55	差入申一札之事（三嶋醤油株錢札一貫目 にて差し上げにつき）	木屋十兵衛	状	嘉永7年12月		
11-2-56	去寅年壹ヶ年分銅山方諸入用銀高訳書		冊	安政元年～2年10月		
11-2-57	予州銅山師渡米送状之事	白石忠太夫手代大塚官兵衛	状	安政2年正月27日		
11-2-58	指入申一札之事（口養難凌飯料麦借用に つき）	惣世話方伊三郎他13名	状	安政2年2月		
11-2-59	借用証文之事（村方上納差支につき銅山 手当之内より米借用）	上野村東組庄屋井上八千蔵・同村年寄良 作・忠平	状	安政2年3月		
11-2-60	（御米代安値願并下し金御取計願）	銅山支配人今沢卯兵衛	冊	（安政2）卯年9月25日		
11-2-61	差入申一札之事（年貢米納方につき）	川之江村百姓代岡蔵・同村役人代橋本屋夫 右衛門	状	安政3年正月		
11-2-62	（別子銅山舗内湧水一条御尋につき荒増 申上書）	住友吉次郎代高井茂兵衛	冊	安政3年2月		
11-2-63	借用証文之事（年貢米皆納差支につき米 借用）	中村庄屋真鍋太郎治他3名	状	安政3年3月		
11-2-64	拝借仕御米之事（中背一統難渋につき米 借用）	中背中惣代友助他5名	状	安政3年5月		
11-2-65	乍恐以書附奉願上候（別子銅山湧水見分 願）	銅山御用達住友吉次郎	冊	安政3年10月5日		
11-2-66	奉伺口上覚（諸色高値につき船運賃銀値 上願）	金子屋為吉・藤屋七左衛門	状	安政3年12月		
11-2-67	差入申年賦証文之事（年貢上納差支につ き米年賦借用証文）	宇摩郡中村庄屋真鍋太良次他4名	状	安政4年3月		
11-2-68	乍恐奉願上御事（講錢滞納調査之儀につ き願書控）	住友吉次郎代今沢卯兵衛他8名	状	安政4年4月		
11-2-69	借用一札之事（郡中へ用立につき米借 用）	桑村郡・引受借主藤屋七左衛門	状	安政4年5月		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
11-2-70	乍恐以書付御願申上候（難波につき銀子借用）	末家孝右衛門忒増之丞	状	安政4年6月	1	※11-2-41～11-2-100で1冊
11-2-71	借用申米之事（銅山方入用につき米借用）	新居浜詰東條勝右衛門・住友吉次郎代岡野徳兵衛	状	安政4年8月5日		
11-2-72	借用申金子之事（銅山方入用につき金子借用）	新居浜詰東條勝右衛門・住友吉次郎代岡埜徳兵衛	状	安政4年10月17日		
11-2-73	借用申金子之事（銅山方入用につき金子借用）	新居浜詰東條勝右衛門・住友吉次郎代岡埜徳兵衛	状	安政4年11月17日		
11-2-74	借用申金子之事（銅山方入用につき金子借用）	新居浜詰東條勝右衛門・住友吉次郎代岡埜徳兵衛	状	安政4年12月10日		
11-2-75	借用申金子之事（銅山方入用につき金子借用）	新居浜詰東條勝右衛門・住友吉次郎代岡埜徳兵衛	状	安政4年12月18日		
11-2-76	借用申金子之事（銅山方入用につき金子借用）	新居浜詰東條勝右衛門・住友吉次郎代岡埜徳兵衛	状	安政4年12月22日		
11-2-77	借用申金子之事（銅山方入用につき金子借用）	新居浜詰東條勝右衛門・住友吉次郎代岡埜徳兵衛	状	安政4年12月		
11-2-78	借用申金子之事（銅山方入用につき金子借用）	新居浜詰東條勝右衛門・住友吉次郎代岡埜徳兵衛	状	安政5年正月25日		
11-2-79	乍恐再願申上候御事（御用銅積船新造作替につき銀子借用）	伊勢丸林兵衛	状	安政5年4月		
11-2-80	借用証文之事（入用差支につき御廻し方預之内より銀子借用）	宇摩・新居郡御用達続木太郎兵衛・星川忠兵衛	状	安政5年7月		
11-2-81	以書附奉願上御事（馬道年貢上納等難波につき銀子借用願）	金子村伝左衛門	状	安政5年7月		
11-2-82	覚（村方差支につき銅山御用米之内より借用証文）	山田井村頭庄屋星川忠兵衛他2名	状	安政5年12月		
11-2-83	予州銅山師御渡米送状之事	作州池部房四郎	状	安政6年正月17日		
11-2-84	予州銅山師御渡米訳之事	作州柴田八十八	状	安政6年3月朔日		
11-2-85	予州銅山師御渡米送状之事	備前国金岡湊出役脇坂中務大輔預所役人寺村友三郎	状	安政6年3月8日		
11-2-86	予州銅山師御渡米之事	寺村友三郎	状	安政6年3月28日		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
11-2-87	予州銅山師御渡米送状之事	寺村友三郎	状	安政6年3月28日	1	※11-2-41～11-2-100で1冊
11-2-88	予州銅山師御渡米送状之事	寺村友三郎	状	安政6年3月		
11-2-89	予州銅山師御渡米送状之事	寺村友三郎	状	安政6年3月		
11-2-90	予州銅山師御渡米送状之事	寺村友三郎	状	安政6年3月		
11-2-91	仮請取一札之事（難船につき積込之御用書類仮受取）	伊勢丸船頭林兵衛他2名	状	安政6年11月29日		
11-2-92	預り申御米之事（米借用并御用荷物取扱につき）	西角野村春蔵他36名	状	安政6年12月		
11-2-93	浦手形之事（難船一件取計方につき）	佐柳嶋組頭儀助他2名・高見嶋与三左衛門	状	安政6年12月		
11-2-94	差入申舟賃借用証文之事	泉屋清兵衛	状	万延元年7月		
11-2-95	預り申御米之事（年貢上納差支につき銅山納米之内より借用）	西角野村梅造他36名	状	万延元年12月		
11-2-96	御歎申一札之事（諸色高値につき船運賃値上願）	船請負人備前金岡湊市場屋八郎右衛門	状	万延2年2月		
11-2-97	指入申田地証文之事（年貢未進につき田地指入銭借用）	質地主安兵衛・本人三兵衛	状	文久元年2月	1	※11-2-101～11-2-170で1冊
11-2-98	拝借仕御米之事（年貢未進につき米借用）	西町中町世話人吉蔵他8名	状	文久元年12月		
11-2-99	乍恐以書附奉願上候（別子銅山買請米増石并値下願）	住友吉次郎	冊	文久2年10月		
11-2-100	為申替証書之事（別子銅山稼人召抱につき）	銅山師代土岐義助・広瀬義右衛門	冊	文久2年12月		
11-2-101	預り申御米之事（年貢上納差詰につき銅山納米之内より借用）	西角野村甚蔵他36名	状	文久2年12月		
11-2-102	乍恐以書付奉願上候（難渋につき米代之儀延納願并下札書付写）	住友吉次郎	冊	文久3年3月		
11-2-103	奉歎上口上之覚（諸色高値につき駄賃値上願）	角野邑惣馬中	状	文久3年6月		
11-2-104	（西條領津根村八日市新開絵図）		図	文久3年7月		
11-2-105	奉願上書付（諸色高値につき御米積船運賃値上げ願）	金岡湊船請負人市場屋八郎右衛門	状	文久4年2月		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
11-2-106	乍恐奉願上御事（諸色高値につき船運賃并糧米増額）	長久丸・伊勢丸・歓喜丸	状	文久4年2月	1	※11-2-101～11-2-170で1冊
11-2-107	乍恐奉願上御事（船運賃値上げにて前拝借銀上納）	弥五郎・佐平・松右衛門	状	元治元年6月		
11-2-108	奉願上御事（難渋につき馬一疋月一俵宛米拝借）	定馬岩右衛門他12名	状	元治元年8月		
11-2-109	乍恐書付を以奉願上候（忤永左衛門不埒につき詫并歓喜丸再差配願）	井筒屋増右衛門	状	元治元年9月		
11-2-110	乍恐奉願上御事（御用銅積送り相続人につき）	伊勢丸老人林兵衛・同引受太蔵	状	元治元年9月		
11-2-111	乍恐以書附奉願上候（別子立川銅代銀値増願）	住友吉次郎	冊	元治元年9月		
11-2-112	乍恐奉願上御事（穀物等高値につき味噌醤油値上願）	近江屋五郎右衛門・米屋久右衛門	状	元治元年10月		
11-2-113	奉願上御事（諸色高値につき銅運賃値上願）	歓喜丸徳太郎・長久丸十左衛門・伊勢丸林兵衛	状	元治元年10月		
11-2-114	奉願上御事（銅筵一時値上願）	今治片原町清水屋利右衛門	状	元治元年10月		
11-2-115	乍恐奉願口上（諸色高値につき銅筵値上并買入願）	岩見屋善次	状	元治元年11月		
11-2-116	乍恐奉願上御事（内間難渋につき銀子借用願）	角野村惣馬頭金兵衛	状	元治元年12月		
11-2-117	乍恐奉願上御事（諸色高値につき船運賃値上願）	銅船中	状	元治元年12月		
11-2-118	借用申一札之事（米10石借用）	仲間頭弥太郎他4名	状	元治元年12月		
11-2-119	歎願書之事（銅船伊勢丸船頭林兵衛不行届容赦願）	中村真光寺	状	元治2年正月		
11-2-120	差入申一札之事（買請米濡米に相成候につき）	備前金岡市場屋八郎右衛門代儀之助・甚助	状	元治2年3月朔日		
11-2-121	差入申一札之事（濡米之儀内済につき）	備前敷名浦浅蔵・市場屋八郎右衛門代証人義之助	状	元治2年3月		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
11-2-122	差入申一札之事（濡米之儀内済につき）	備前敷名浦浅蔵・市場屋八郎右衛門代証人儀之助	状	元治2年3月	1	※11-2-101～11-2-170で1冊
11-2-123	奉願上御事（諸色高値につき銅運賃値上願）	長久丸十左衛門・伊勢丸林兵衛・歓喜丸徳太郎	状	慶応元年10月		
11-2-124	預り申御米之事（米借用并御用荷物取扱につき）	西角野村丈右衛門他36名	状	慶応元年12月		
11-2-125	借用申一札之事（中背中米10石）	中背頭七右衛門他4名	状	慶応元年12月		
11-2-126	覚（桑村郡越智郡御成箇米請取）	小山民右衛門	状	慶応元年		
11-2-127	乍恐奉申上御事（御本家へ納金延着御用捨願）	市屋九助	状	慶応2年2月		
11-2-128	口上覚（銅山納新酒値段引上願）	塩屋定右衛門・近江屋丹次	状	慶応2年3月		
11-2-129	奉願上口上書（諸品高値につき味噌・醤油値上願）	近江屋幸助・米屋久右衛門	状	慶応2年4月		
11-2-130	奉願上口上書（味噌・醤油値上願并値段覚）	近江屋幸助・米屋久右衛門	状	慶応2年8月		
11-2-131	差入申田地証文之事（年貢未進につき田地差入銭借用）	借主銀三郎	状	慶応2年4月		
11-2-132	乍恐奉願上候御事（借用銀返納方につき）	末家清兵衛	状	慶応2年5月		
11-2-133	借用申銭札之事（銅山方入用につき銭100貫目借用）	新居浜詰明星義平・銅山支配広瀬義右衛門	状	（慶応2）寅年7月13日		
11-2-134	借用申金子之事（銅山方入用につき金1000両借用）	新居浜詰明星義平・銅山支配広瀬義右衛門	状	（慶応2）寅年7月13日		
11-2-135	口上覚（諸色高値につき酒値上願）	志保屋貞右衛門・近江屋丹次	状	慶応2年7月7日		
11-2-136	乍恐奉願上候御事（諸品高値にて難渋につき賃増願）	両角野村惣馬中	状	慶応2年7月		
11-2-137	差入申証文之事（年貢未進につき敷地賃物借用）	清左衛門他2名	状	慶応2年8月		
11-2-138	奉願上御事（難渋につき酒値上願）	志保屋貞右衛門・木村丹次	状	慶応2年8月		
11-2-139	奉願上口上覚（買酒高値につき酒値上願）	塩屋貞右衛門・近江屋丹次	状	（慶応2）寅年10月20日		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
11-2-140	奉願上口上書（材料高値につき味噌値上願）	近江屋幸助・米屋久右衛門	状	慶応2年10月	1	※11-2-101～11-2-170で1冊
11-2-141	預申御米之事（米借用并御用荷物取扱につき）	西角野村丈右衛門他36名	状	慶応2年12月		
11-2-142	奉願上口上書（諸品高値につき味噌駄賃等値上願）	近江屋幸助・米屋久右衛門	状	慶応2年12月		
11-2-143	■入申一札之事（酒宴後心得違にて銅船指留につき詫）	長久丸十左衛門・寿銅丸兵左衛門・勇力丸増次	状	（慶応3）卯年3月		
11-2-144	差入申一札之事（弥兵衛忤作三郎他再勤につき）	弥兵衛忤作三郎・安兵衛忤幸介・芳兵衛忤栄吉	状	慶応3年4月		
11-2-145	差入申一札之事（茶屋薪米銀改法につき）	立川山村庄屋神野良右衛門	状	慶応3年5月		
11-2-146	承り書之事（御用書飛脚請書）	備中早嶋村諸国早飛脚小川屋忠吉	状	慶応3年9月		
11-2-147	覚（紋付御用提灯受取につき）	備中早嶋諸国早飛脚小川屋忠吉	状	慶応3年10月17日		
11-2-148	口上覚（穀物相場下落につき味噌醤油値下願）	近江屋幸助・米屋久右衛門	状	慶応3年10月		
11-2-149	願書（別家義平病死につき借用銀返済方願）	義平親類明星操・直二郎	状	慶応3年10月		
11-2-150	申渡書（銅山改法につき）		状	（慶応3）卯年11月		
11-2-151	銅吹所之儀荒増奉申上候	住友吉左衛門・大坂屋又右衛門他4名	状	（慶応4）辰年2月26日		
11-2-152	乍恐以書附御願奉申上候（別子銅山永続稼業願下書）	銅山師住友吉左衛門代広瀬義右衛門	状	慶応4年2月		
11-2-153	（銅山取締并職方扶助継続につき天朝より御書写）		状	（慶応4）辰年3月		
11-2-154	（銅引当借入等につき書状）	松井嘉右衛門・今沢卯兵衛・鷹藁源兵衛	状	（慶応4）辰年閏4月23日		
11-2-155	乍恐以書附御願奉申上候（銅商銅職者難渋につき鑄銭許可願）	御用達住友吉左衛門	状	（慶応4）辰年4月		
11-2-156	（半朱銭鑄造積書）	住友吉左衛門	状	（慶応4）辰年4月		
11-2-157	乍恐奉再願候（貢銅并半朱銭鑄立につき）	御用達住友吉左衛門	状	（慶応4年）閏4月		
11-2-158	（銅山稼業継続願下書）		状	（慶応4年）		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年 月 日	製本冊数	備 考 ・ 参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
11-2-159	(別子銅山稼業継続願)	御用達住友吉左衛門	状	(慶応4) 辰年5月	1	※11-2-101～11-2-170で1冊
11-2-160	申渡(銅山稼方困難并御公儀改革につき)	万太郎友視・甚兵衛友間	状	(慶応4) 辰年6月		
11-2-161	乍恐奉願上御事(作替につき金子借用願)	住久丸十左衛門	状	慶応4年8月		
11-2-162	乍恐奉願上口上書(材料高値につき味噌醤油値上願)	近江屋幸助・米屋久右衛門	状	明治元年11月		
11-2-163	御請奉申上候(御改革新法諸賃銀仰渡につき)	惣通唯次郎・儀(力)太郎・半兵衛	状	(明治元年) 12月20日		
11-2-164	乍恐奉願上御事(諸色高値にて難渋につき運賃値上願)	住久丸十左衛門・住栄丸林兵衛・住宝丸徳太郎	状	明治元年12月		
11-2-165	乍恐奉願上口上書(穀物高値につき味噌値上願)	近江屋幸助・米屋久右衛門	状	明治元年12月		
11-2-166	(吹所勘定書)		綴	(明治元年力)		
11-2-167	御願申上候御事(御宿仰付)	布屋九助	状	明治2年2月		
11-2-168	御請書之事(商法世話方仰付)	藤屋七左衛門・泉屋清兵衛	状	明治2年2月		
11-2-169	奉願上候御事(銅山元飯米入用につき津出願)	新居浜詰植村真十郎	状	明治2年2月		
11-2-170	誓文(御預所旅帯刀御免被仰付)	安兵衛	状	明治2年3月	1	※11-2-171～11-2-230で1冊
11-2-171	誓文(御預所帯刀御免被仰付)	平兵衛	状	明治2年3月		
11-2-172	誓文(御預所旅帯刀御免被仰付)	平兵衛	状	明治2年3月		
11-2-173	誓文(御預所旅帯刀御免被仰付)	實之助	状	明治2年3月		
11-2-174	誓文(御預所帯刀御免被仰付)	半兵衛	状	明治2年3月		
11-2-175	誓文(御預所帯刀御免被仰付)	藤助	状	明治2年3月		
11-2-176	誓文(御預所帯刀御免被仰付)	保次郎	状	明治2年3月		
11-2-177	誓文(御預所旅帯刀御免被仰付)	次右衛門	状	明治2年3月		
11-2-178	誓文(御預所旅帯刀御免被仰付)	齋助	状	明治2年3月		
11-2-179	誓文(御預所苗字旅帯刀御免被仰付)	増助	状	明治2年3月		
11-2-180	誓文(御預所旅帯刀御免被仰付)	保蔵	状	明治2年3月		
11-2-181	誓文(御預所旅帯刀御免被仰付)	好輔	状	明治己年3月		
11-2-182	誓文(御預所苗字旅帯刀御免被仰付)	市松	状	明治2年3月		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
11-2-183	誓文（御預所旅帯刀御免被仰付）	米治郎	状	明治2年3月	1	※11-2-171～11-2-230で1冊
11-2-184	乍恐奉願上御事（諸色高値につき船造り替用金子借用）	住久丸十左衛門	状	明治2年10月		
11-2-185	預り申御米之事（米借用并御用荷物取扱につき）	西角野村六左衛門他36名	状	明治2年12月		
11-2-186	乍恐以書附奉願上候（別子銅山勘定足益銀納方につき）	住友吉左衛門	冊	明治3年正月		
11-2-187	高知藩御添翰（明治二年分買請米代金年割願書につき）	高知藩	状	（明治3年）2月24日		
11-2-188	（已年米代金上納年割再願并返書）	高知藩	状	（明治3年）2月24日		
11-2-189	奉差上一札之事（住光丸船頭仰付につき）	本人治平・請人佐平・松市	状	明治3年2月		
11-2-190	覚（別子銅山米代金受取）	（高知藩）在坂出納司（森紀内）	状	（明治3）午年3月29日		
11-2-191	覚（別子銅山銅運上直納伺）	高知藩御預所出張中村観一郎	状	（明治3）庚午年3月		
11-2-192	（小泉鉱山土質検査につき願）	池田家下野誠之	状	（明治3）午年4月12日		
11-2-193	乍恐以書附奉歎願候（明治二年度買受米代金十ヶ年賦返納願）	別子銅山師住友吉左衛門	冊	明治3年8月		
11-2-194	乍恐以書附奉願上候（別子銅山継続請負願）	鉱山師住友吉左衛門代広瀬幸平	状	明治3年10月		
11-2-195	（別子銅山住友吉左衛門へ委任願）	高知藩竹村丑之助	冊	明治3年10月		
11-2-196	乍恐以書付奉歎願候（別子鉱山助成願）	鉱山師代広瀬幸平	状	明治3年10月		
11-2-197	乍恐口上之覚（当役所上棟につき米祝納）	別子鉱山広瀬幸平	状	（明治3）午年10月		
11-2-198	歎願書（米価高値、銅価下落等につき助力願）	銅山師住友吉左衛門	冊	明治3年閏10月		
11-2-199	乍恐以書附奉申上候（買請米制度沿革申上書）	銅山師住友吉左衛門	冊	明治3年11月		
11-2-200	乍恐口上之覚（予州銅山稼人預り券につき）	住友吉左衛門代別家手代泉屋為右衛門・年寄病氣二付代泉屋小兵衛	冊	（明治3）午年12月22日		
11-2-201	改三番（小泉山開業につき願）	備中成羽笠岡中島喜三郎	状	12月23日		
11-2-202	（小泉鉱山請負の儀につき願）	中島喜三郎	状	（明治3力）12月31日		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
11-2-203	(高知藩預所倉敷県へ引渡之儀につき指図仰付願)	高知藩	状	(明治3) 庚午年12月	1	※11-2-171～11-2-230で1冊
11-2-204	(高知藩預所倉敷県へ引渡之儀につき指図仰付願)	高知藩	状	(明治3) 庚午年12月		
11-2-205	乍恐以書附奉歎願候 (別子銅山買受米下渡願并添書)	銅山師住友吉左衛門	冊	明治3年12月		
11-2-206	乍恐以書附奉歎願候 (別子銅山困窮につき金子借用願)	銅山師住友吉左衛門	冊	明治3年12月		
11-2-207-1	(川之江町倉敷県管轄替之儀につき評儀願)	高知藩	状	明治4年正月		
11-2-207-2	(川之江町倉敷県管轄替之儀につき評儀願)	高知藩	状	明治4年正月20日		
11-2-208	(小泉鉦山開業願)	備中笠岡中島喜三郎	状	(明治4年) 正月23日		
11-2-209	乍恐以書附奉歎願候 (明治二年度買請米代金十年賦返納願)	銅山師住友吉左衛門	冊	明治4年正月		
11-2-210	(小泉鉦山開業につき願)	備中成羽中島喜太郎	状	(明治4年) 正月		
11-2-211	乍恐以書付奉願上候 (別子銅山拝借金願書取下願)	銅山師住友吉左衛門	状	明治4年正月		
11-2-212	乍恐以書付奉歎願候 (別子銅山難渋につき買請米代金年賦上納願)	銅山師住友吉左衛門	冊	明治4年2月		
11-2-213	乍恐以書付奉再願候 (米価高騰につき助成再願)	銅山師住友吉左衛門代広瀬幸平	冊	明治4年2月		
11-2-214	(明治二年度買請米代上納許容願)	高知藩	状	(明治4) 辛未年3月7日		
11-2-215	(伊予国村々管轄替にて租税上納方につき願書)	高知藩	状	(明治4) 辛未年6月3日		
11-2-216	(去午年租税上納出願につき書状)	中尾弾十郎	状	(明治4年) 7月12日		
11-2-217	乍恐以書取奉追願候 (別子銅山稼入食料米払下追願書)	銅山師住友吉左衛門	冊	(明治4) 辛未年10月28日		
11-2-218	(別子銅山出銅高明細書)	住友吉左衛門	状	(明治4) 辛未年10月29日		
11-2-219	乍恐以書取奉歎願候 (買請米継続願)	別子鉦山師住友吉左衛門	冊	(明治4) 辛未年10月		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年 月 日	製本冊数	備 考 ・ 参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
11-2-220	乍恐以書取奉願上候（別子銅山西洋土質 学家雇入につき願書）	別子銅山師住友吉左衛門	冊	（明治4）辛未年10月	1	※11-2-171～11-2-230で1冊
11-2-221	乍恐以書取奉歎願候（買請米継続再願 書）	別子鉦山師住友吉左衛門	冊	（明治4）辛未年11月7日		
11-2-222	（旧諸藩全穀調達約定書差出につき達 書）	太政官	状	（明治4）辛未年11月		
11-2-223	乍恐以書取奉歎願候（明治三年分買受米 代金延納願）	銅山師住友吉左衛門	状	（明治4）辛未年12月朔日		
11-2-224	予州西條御藩調達金証札写并勘定書	住友吉左衛門	冊	（明治4）末年12月		
11-2-225	乍恐以書附奉歎願候（明治三年分買請米 代金五ヶ年賦返納）	松山県権参事児玉氏精	状	（明治4）辛未年12月		
11-2-226	乍恐書附を以奉願上御事（紛失荷物代金 上納にて困窮につき金子借用）	往徳丸馬造	状	明治4年8月		
11-2-227	預申御米之事（年貢差詰につき銅山納米 借用証文）	惣馬頭取次人丈右衛門他35名	状	明治4年12月		
11-2-228	乍恐奉願上御事（往徳丸新造替願）	往徳丸馬吉	状	明治5年正月		
11-2-229	乍恐奉願上候（新居浜浦住宝丸関所通過 願）	住友吉左衛門	状	明治5年4月4日		
11-2-230	乍恐以書取奉願上候（別子銅山継続請負 願等綴）	住友吉左衛門	綴	（明治5）壬申年6月	1	※11-2-231～11-2-266で1冊
11-2-231	乍恐以書取奉願上候（別子立川両銅山稼 業継続願）	住友吉左衛門	冊	（明治5）壬申年7月		
11-2-232	大坂住友吉左衛門納金延期願（買請米代 金延納願聞届書并願書草案）	石鉄県	綴	（明治5）壬申年9月7日		
11-2-233	預り申御米之事（年貢上納差詰につき銅 山納米借用）	総馬頭取次人丈右衛門他35名	状	明治5年12月		
11-2-234	乍恐以書取奉願上候（小泉鉦山老山にて 休業につき）	住友吉左衛門代小泉鉦山今西為右衛門	状	明治6年3月		
11-2-235	（吉岡山川田様御請之儀別紙申上）	中島喜三郎	状	12月31日		
11-2-236	乍恐口上（宰平帰坂まで小泉鉦山休業談 判猶予願）	住友吉左衛門	状	（明治6）酉年12月		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年 月 日	製本冊数	備 考 ・ 参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
11-2-237	(小泉銅山の儀につき返答願書状)	岡山羽原貞	状	(明治7年) 1月7日	1	※11-2-231～11-2-266で1冊
11-2-238	乍恐以書附を願上候 (小泉鉾山再業につき)	住友吉左衛門	状	(明治7) 戌年1月8日		
11-2-239	日延之御願 (小泉鉾山開業日)	予州鉾山広瀬幸平・本田理平	状	明治7年1月12日		
11-2-240	(小泉鉾山再業御掛合につき書状)	中島喜三郎	状	(明治7年) 1月25日		
11-2-241	(小泉鉾山開業延引につき書状)	小泉山にて宮崎順吾	状	(明治7年) 1月31日		
11-2-242	(小泉鉾山売却につき書状)	本田理平	冊	(明治7年) 4月23日		
11-2-243	記 (小泉鉾山返却につき請取覚)	池田家内下野誠之	状	明治7年6月27日		
11-2-244	(小泉鉾山差戻につき書状)	中島喜三郎	状	(明治7年) 6月27日		
11-2-245	小田県官下小泉村鉾山休業中預り物記	備中川上郡成羽中島喜三郎	状	明治7年6月		
11-2-246	証券 (金63円9銭1厘前借)	金子村高橋銀次	状	明治8年4月9日		
11-2-247	證券 (金31円55銭2厘前借)	金子村塩崎利左衛門	状	明治8年4月9日		
11-2-248	(申年年貢米未進につき無利息年賦願)	宝寿院代理大樹仁阿	冊	明治8年7月		
11-2-249	売畑証券 (田畑売渡証文)	立川村近藤源治郎他2名	状	明治9年6月		
11-2-250	口上覚 (新代日雇賃高値につき酒値上願)	塩尾貞右衛門・近江屋丹次	状	子年6月		
11-2-251	覚 (貴家別家施物につき座頭共寄集一件)	荒明寺・栗本道隆・庄屋六郎兵衛	状	寅年6月11日		
11-2-252	借用申金札之事 (質畑引当金札)	為次郎他2名	状	未年3月		
11-2-253	乍恐口上覚 (米津止めにつき四千俵売下願)	銅山師代平右衛門	状	酉年4月6日		
11-2-254	口上 (拝借銀返済困窮につき勘弁願)	桑村郡新市村庄屋喜右衛門	状	戌年5月		
11-2-255	(船破損につき濡米数済方等書付)	飯田奎兵衛・藤屋七左衛門	状	2月10日		
11-2-256	(銅・御用状・金千両・和六船積込につき書状)	立川清水惣右衛門	状	3月2日		
11-2-257	(難渋につき年賦銀返済延引一件)	泉屋善蔵	状	12月20日～3月8日		
11-2-258	(多喜浜新田開発之儀につき書状)	神野喜兵衛	状	6月朔日		
11-2-259	(手代心得違村方と差縫之儀につき詫状)	今沢卯兵衛	冊	8月6日		
11-2-260	(伊勢丸船頭銅抜売につき書状)	松井嘉右衛門・今沢卯兵衛・鷹藁源兵衛	状	9月29日		
11-2-261	(伊勢丸船頭銅抜売につき書状)	松井嘉右衛門・今沢卯兵衛・鷹藁源兵衛	状	10月29日		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年 月 日	製本冊数	備 考 ・ 参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
11-2-262	(借用書類返却日限御尋につき書状)	庄右衛門	状	23日	1	※11-2-231～11-2-266で1冊
11-2-263	覚(別子銅山諸役場心得)		状			
11-2-264	乍恐以書付御届申上候(代理人病気につき交代願)	広瀬宰平	状			
11-2-265	奉誤入一札之事(積登せ荷物不都合につき託)	伊勢丸船頭九平	状			
11-2-266	人參左金円(薬の引札)		状			
12-2-1	松平隠岐守様薩州栄姫様御対願一件控		冊	宝暦10年4月	1	※12-2-1～7 で1冊
12-2-2	松平隠岐守様御参勤之節友紀出勤一件		冊	宝暦10年4月		
12-2-3	松平隠岐守様京都御上使一件控		冊	明和8年4月		
12-2-4	松平隠岐守京都上使二付諸事控		冊	寛政6年		
12-2-5	鹿狩当日供之衆姓名書写并獲数姓名書		冊	寛政7年3月5日		
12-2-6	老中酒井讃岐守巡見之控		冊	文化12年8月		
12-2-7	諸家御通行録		冊	文政3年8月		
12-2-8	老中松平和泉守巡見諸用日記		冊	文政5年11月	1	※12-2-8～11 で1冊
12-2-9	奥平藤左衛門通坂之節記		冊	文政6年3月21日		
12-2-10	老中水野出羽守巡見之節諸事控		冊	文政8年6月		
12-2-11	上使松山様御上京為恐悦上京諸用控		冊	天保8年10月5日		
12-2-12	御老中御見分控一番		冊	寛延3年～享和3年	1	
12-2-13	御老中御見分控二番		冊	文化4年～文政5年	1	
12-2-14	御老中御見分控三番		冊	文政8年～安政3年	1	
12-3-1	両御奉行御見分控一番		冊	宝暦8年～文化13年	1	
12-3-2	両御奉行御見分控二番		冊	文政3年～天保10年	1	
12-3-3	両御奉行御見分控三番		冊	天保12年～安政5年	1	※12-3-3,4 で1冊
12-3-4	両御奉行御見分控四番		冊	安政6年～慶応2年		
12-3-5	御定番御見分控一番		冊	宝暦10年～安政4年	1	※12-3-5,6 で1冊
12-3-6	御定番御見分控二番		冊	文久2年～4年		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年 月 日	製本冊数	備 考 ・ 参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
12-3-7	御城代御見分控一番		冊	寛延3年～宝暦3年	1	
12-3-8	御城代御見分控二番		冊	明和元年～文化12年	1	
12-3-9	御城代御見分控三番		冊	文政5年～安政6年	1	
12-3-10	御城代御見分控四番		冊	文久1年～元治2年	1	
12-3-11	御目付御見分控一番		冊	文化9年～安政5年	2	※12-3-11 後半と12-3-12 で1冊
12-3-12	御目付御見分控二番		冊	安政6年～慶応2年	1	※12-3-11 後半と12-3-12 で1冊
12-4-1	大番頭加番衆見分控一番		冊	宝暦4年～文政13年	1	
12-4-2	大番頭加番衆見分控二番		冊	天保2年～安政5年	1	
12-4-3	大番頭加番衆見分控三番		冊	万延1年～慶応2年	1	
12-4-4	両御奉行御引遣帳一番		冊	文政3年～天保14年	1	
12-4-5	東西御奉行様御引遣帳二番		冊	弘化2年5月	1	
12-4-6	長崎奉行御見分控一番		冊	寛延3年～天明7年	1	
12-4-7	長崎奉行見分控二番		冊	寛政1年～享和3年	1	
12-4-8	長崎奉行見分控三番		冊	文化1年～文政3年	1	
12-4-9	長崎奉行見分控四番五番		冊	文政4年～天保5年	1	
12-4-10	長崎奉行見分控六番		冊	天保9年～文久2年	1	
12-5-1	長崎御下向御目附ほか御見分控 一番		冊	文化8年～安政6年	2	※12-5-1 後半と12-5-2 で1冊
12-5-2	長崎御下向御目附ほか御見分控 二番		冊	安政7年～慶応3年	1	※12-5-1 後半と12-5-2 で1冊
12-5-3	紅毛人吹所見物入来控一番		冊	安永3年～天明8年	1	
12-5-4	紅毛人吹所見物入来控二番		冊	寛政6年～安政5年	1	
12-5-5-1	例年紅毛人入来之節諸道具控		冊	安永8年4月	1	※12-5-5-1～12-5-8, 12-5-11～12-5-19 で1冊
12-5-5-2	紅毛人来臨諸道具控		冊	安永10年		
12-5-6	紅毛人来臨諸道具控		冊	安永9年4月		
12-5-7	紅毛人入来之節入用道具下帳		冊			
12-5-8	阿蘭陀人入来之節奥土蔵より出す道具控		冊	文政5年2月		
12-5-11	阿蘭陀人入来之控		冊	寛政元年4月6日		
12-5-12	紅毛人入来帳		冊	寛政2年3月24日		
12-5-13	紅毛人吹所入来諸賄控		冊	寛政6年5月26日		
12-5-14	紅毛人控		冊	寛政10年5月		
12-5-15	紅毛人入来之控		冊	享和2年4月2日		

「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

67/120ページ

住友史料館

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年 月 日	製本冊数	備 考 ・ 参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
12-5-16	紅毛人入来之控		冊	文化3年4月23日	1	※12-5-5-1～12-5-8, 12-5-11～12-5-19 で1冊
12-5-17	紅毛人入来之控		冊	文化15年4月23日		
12-5-18	紅毛人入来下控		冊	文政5年3月23日		
12-5-19	紅毛人入来之控		冊	文政9年5月6日		
12-5-9	御城代両御奉行代々録		冊		1	
12-5-10	諸家様方御宿所控		冊	文久2年5月	1	
12-6-1	諸用御窺控一番		冊	嘉永3年3月～4年2月	1	※12-6-1～4 で1冊
12-6-2	諸用御窺控二二番		冊	文政12年5月18日～10月24日		
12-6-3	諸用御窺控二三番		冊	文政12年11月1日～13年正月28日		
12-6-4	諸用御窺控二四番		冊	文政13年2月～8月2日		
12-6-5	諸用御窺控二五番		冊	文政13年8月12日～天保2年3月9日	1	※12-6-5～6 で1冊
12-6-6	諸用御窺控二六番		冊	天保2年4月9日～3年2月15日		
12-6-7	諸用御窺控二七番		冊	天保3年2月29日～4年4月晦日	1	※12-6-7～8 で1冊
12-6-8	諸用御窺控二八番		冊	天保4年5月6日～5年5月11日		
12-6-9	諸用御窺控二九番		冊	天保5年5月12日～11月16日	1	※12-6-9～10 で1冊
12-6-10	諸用御窺控三〇番		冊	天保5年12月4日～6年9月29日		
12-6-11	諸用御窺控三一番		冊	天保8年9月25日～11年7月1日	1	※12-6-11～12 で1冊
12-6-12	諸用御窺控三二番		冊	天保11年7月4日～15年4月1日		
12-6-13	諸用御窺控三三番		冊	天保15年4月10日～弘化2年9月4日	1	※12-6-13～18 で1冊

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年 月 日	製本冊数	備 考 ・ 参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
12-6-14	諸用御窺控三四番		冊	弘化2年8月20日～嘉永2年11月	1	※12-6-13～18 で1冊
12-6-15	諸用御窺控三五番		冊	嘉永2年11月2日～6年6月27日		
12-6-16	諸用御窺控三六番		冊	嘉永6年8月～安政2年3月25日		
12-6-17	諸用御窺控三七番		冊	安政2年4月1日～3年9月26日		
12-6-18	諸用御窺控三八番		冊	安政3年10月8日～4年5月晦日		
12-6-19	諸用御窺控三九番		冊	安政4年9月～6年12月29日	1	※12-6-19～22 で1冊
12-6-20	諸用御窺控四〇番		冊	安政7年2月9日～文久元年12月29日		
12-6-21	諸用御窺控四一番		冊	文久2年4月4日～元治元年11月4日		
12-6-22	諸用御窺控四二番		冊	元治2年4月21日～明治3年5月13日	1	※12-6-19～22 で1冊
13-1-1	別子銅山公用帳一番		冊	元禄4年4月～宝永3年12月	1	『住友史料叢書』既刊
13-1-2	別子銅山公用帳二番		冊	宝永4年正月～正徳5年11月	1	『住友史料叢書』既刊
13-1-3	別子銅山公用帳三番ノ一		冊	正徳5年12月～享保5年11月	1	『住友史料叢書』既刊
13-1-4	別子銅山公用帳三番ノ二		冊	享保5年11月～9年8月	1	『住友史料叢書』既刊
13-2-1	別子銅山公用帳四番		冊	享保9年9月～20年正月	1	『住友史料叢書』既刊
13-2-2	別子銅山公用帳五番		冊	享保20年2月～元文5年12月19日	1	『住友史料叢書』既刊
13-2-3	別子銅山公用帳六番		冊	寛保元年9月～宝暦11年12月	2	『住友史料叢書』既刊
13-3-1	別子銅山公用帳七番		冊	宝暦12年2月～天明8年4月	2	『住友史料叢書』既刊
13-3-2	別子銅山公用帳八番		冊	天明8年4月～寛政10年7月	1	『住友史料叢書』既刊
13-3-3	別子銅山公用帳九番		冊	寛政11年7月～文化7年10月26日	1	『住友史料叢書』既刊

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年 月 日	製本冊数	備 考 ・ 参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
13-4-1	別子銅山公用帳一〇番		冊	文化8年2月～文政2年閏4月6日	1	『住友史料叢書』既刊
13-4-2	別子銅山公用帳一一番		冊	文政2年5月～8年正月	1	『住友史料叢書』既刊
13-5-1	別子銅山公用帳一二番		冊	文政8年9月～天保8年11月	1	『住友史料叢書』既刊
13-5-2	別子銅山公用帳一三番		冊	天保9年2月～弘化2年11月11日	1	『住友史料叢書』既刊
13-5-3	別子銅山公用帳一四番		冊	弘化2年12月～嘉永7年12月	1	(史料叢書刊行予定)
13-6-1	別子銅山公用帳一五番		冊	安政2年正月～慶応元年12月	1	(史料叢書刊行予定)
13-6-2	別子銅山公用帳一六番		冊	慶応2年3月～明治5年11月	1	(史料叢書刊行予定)
13-6-3	別子銅山公用帳一七番		冊	明治6年8月～11年2月16日	1	(史料叢書刊行予定)
14-1-1	公用帳（銅座）	住友	冊	弘化3年1月～12月	1	
14-1-2	公用帳（銅座）	住友	冊	嘉永5年1月～12月	1	
14-1-3	別子銅山公用帳二番（江戸本）	泉屋吉左衛門	冊	正徳4年1月～5年11月	1	
14-1-4	別子銅山公用帳三番（江戸本）	泉屋	冊	正徳5年12月～享保9年8月	1	
14-1-5	別子銅山公用帳四番（江戸本）	泉屋	冊	享保9年9月～20年1月	1	
14-1-6	別子銅山公用帳七番二冊之内（江戸本）	江戸中橋泉屋	冊	宝暦1年10月～4年5月	1	
14-1-7	別子御銅山公用記七番(江戸本、二冊之内)	中橋泉屋	冊	寛延3年8月～宝暦2年6月	1	
14-1-8	別子御銅山公用記八番（江戸本）	中橋泉屋	冊	宝暦2年～4年	1	
14-2-1	別子御銅山公用記九番（江戸本）	中橋泉屋	冊	宝暦4年10月～10年4月	1	
14-2-2	別子立川両銅山公用帳十一番（江戸本）		冊	宝暦12年2月～明和6年3月	1	
14-2-3	減銅願書控十一番（別子立川両銅山公用帳十一番）	中橋泉屋	冊	明和5年2月～6年7月	1	
14-2-4	別子立川両銅山公用帳十二番（江戸本）		冊	明和6年5月～安永5年6月	1	
14-2-5	別子立川両銅山公用帳十三番（江戸本）		冊	安永5年10月～天明6年12月	1	
14-2-6	別子立川両銅山公用帳十六番（江戸本）	中橋上楨町泉屋会所	冊	寛政9年正月～文化4年4月	1	
14-2-7	別子立川両銅山公用帳十七番（江戸本）	住友店	冊	文政5年4月～天保3年3月	1	
14-2-8	別子立川両銅山公用帳十五番（江戸本）	中橋上楨町泉屋会所	冊	寛政2年6月～9年1月	1	

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年 月 日	製本冊数	備 考 ・ 参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
14-2-9	公用帳（鉱山司）	住友	冊	慶応4年正月～明治元年11月28日	1	※14-2-9,10 で1冊
14-2-10	（公用帳）		…	…		※所在不明、閲覧不可
14-2-11	公用帳（鉱山司・造幣寮）	住友	冊	明治3年正月7日～12月24日	1	※14-2-11,12 で1冊
14-2-12	公用帳（造幣寮・出納司）	住友	冊	明治4年正月～12月		
14-3-1	立川銅山公用日記乾		冊	延享4年7月20日～寛延元年12月2日	1	
14-3-2	立川銅山公用日記坤		冊	寛延2年正月～宝暦12年9月	1	
14-4-1	覚（銅山御銅留）		冊	元禄14年5月～宝暦5年12月	1	
14-4-2	覚留帳		冊	元禄8年8月	1	
14-4-3	公用留（別子銅山）		冊	元禄11年8月～13年7月	1	
14-4-4	（勘定所より買請米等尋問二付旧記写書）		冊	元禄15年3月～享保15年8月	1	※14-4-4,5 で1冊
14-4-5	（拝借金伊予・備中銅山家質証文控）	泉屋	冊	元禄15年3月	1	※14-4-4,5 で1冊
14-4-6	（別子立川銅山抜ヶ合出入之覚）	泉屋平七	冊	元禄8年4月	1	※14-4-6～8 で1冊
14-4-7	（異国人へ銅売渡候者共御除之儀二付箇条書）	泉屋吉左衛門他	冊	元禄8年11月		
14-4-8	（勘定所より買請米等尋問二付旧記写書）	泉屋	冊	元禄15年3月～享保15年8月		
14-4-9	（別子銅山御運上増二付訴訟等旧記写書）		冊	元禄4年4月～10年3月	1	※14-4-9～12 で1冊
14-4-10	今宿一卷		冊	巳年		
14-4-11	（抜合の儀に付大坂にて覚書）		冊	未年3月		
14-4-12	立川抜合覚書一番		冊	4月22日～5月12日		
14-4-13	立川抜合日記二番		冊	5月13日～14日	1	※14-4-13～16 で1冊
14-4-14	立川問答（抜合二付）		冊	未年5月27日～7月8日		
14-4-15	立川問答留（抜合二付）	泉屋金右衛門	冊	未年10月12日～17日		
14-4-16	抜合覚書（立川銅山）		冊	申年6月		
14-5-1	別子銅山公用帳老番	泉屋吉左衛門	冊	元禄4年5月～宝永3年12月	1	

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年 月 日	製本冊数	備 考 ・ 参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
14-5-2	別子銅山公用帳五番		冊	享保19年～元文5年12月19日	1	
14-5-3	別子銅山公用帳六番	泉屋	冊	元文4年～寛延4年10月	1	
14-5-4	銅山御用留十九番	住友	冊	嘉永4年8月～6年4月	1	
14-5-5	銅山御用留二十番		冊	嘉永6年4月～安政2年12月	1	
14-5-6	銅山御用留二十一番		冊	安政3年1月～元治1年5月	2	
14-6-1	銅方公用帳（二番）	泉屋	冊	宝暦13年正月	3	
14-6-2	銅方公用帳		冊	明和2年	1	
15-1-1	別子立川両銅山銅炭・山運上覚并添書		綴/状	宝暦11年5月	1	※15-1-1～15-1-3-9-2 で1冊
15-1-2	覚	（別子立川銅炭運上覚）	状	申年6月		
15-1-3	乍恐御届奉申上候	（鋪中涌水夥敷二付減銅届）	状	天明5年12月		
15-1-2-0	豫州銅山運上書類入袋其一		袋			
15-1-2-1	覚	（銅山稼方平均）	状	丑年12月20日		
15-1-2-2-1	覚	（別子立川銅炭運上目録）	状	寅年10月		
15-1-2-2-2	覚	（銅山稼方平均）	状	寅年10月		
15-1-2-3-1	覚	（別子立川銅炭運上目録）	状	卯年1月29日		
15-1-2-3-2	覚	（銅山稼方平均）	状	卯年1月29日		
15-1-2-4-1	覚	（別子立川銅炭運上目録）	状	卯年2月晦日		
15-1-2-4-2	覚	（銅山稼方平均）	状	卯年2月晦日		
15-1-2-5-1	覚	（別子立川銅炭運上目録）	状	卯年3月29日		
15-1-2-5-2	覚	（銅山稼方平均）	状	卯年3月29日		
15-1-2-6-1	覚	（別子立川銅炭運上目録）	状	卯年4月晦日		
15-1-2-6-2	覚	（銅山稼方平均）	状	卯年4月晦日		
15-1-2-7-1	覚	（別子立川銅炭運上目録）	状	天明3年5月晦日		
15-1-2-7-2	覚	（銅山稼方平均）	状	卯年5月晦日		
15-1-2-8-1	別子立川銅炭御運上目録		状	卯年6月29日		
15-1-2-8-2	覚	（銅山稼方平均）	状	卯年6月29日		
15-1-2-9-1	別子立川銅炭運上目録		状	天明3年8月		
15-1-2-9-2	覚	（銅山稼方平均）	状	天明3年8月29日		
15-1-2-10-1	覚	（別子立川銅炭運上目録）	状	天明3年9月晦日		

「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

72/120ページ

住友史料館

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
15-1-2-10-2	覚	(銅山稼方平均)	状	天明3年9月晦日	1	※15-1-1～15-1-3-9-2 で1冊
15-1-2-11-1	別子立川銅炭御運上目録		状	卯年10月29日		
15-1-2-11-2	覚	(銅山稼方平均)	状	卯年10月29日		
15-1-2-12-1	別子立川銅炭御運上目録		状	卯年11月晦日		
15-1-2-12-2	覚	(銅山稼方平均)	状	卯年11月晦日		
15-1-2-13-1	別子立川銅炭御運上目録		状	卯年12月26日		
15-1-2-13-2	覚	(銅山稼方平均)	状	卯年12月20日		
15-1-2-14-1	別子立川銅炭御運上目録		状	辰年1月晦日		
15-1-2-14-2	覚	(銅山稼方平均)	状	辰年正月晦日		
15-1-2-15-1	覚	(別子立川銅炭運上目録)	状	辰年閏1月29日		
15-1-2-15-2	覚	(銅山稼方平均)	状	辰年閏1月29日		
15-1-2-16-1	別子立川銅炭御運上目録		状	2月晦日		
15-1-2-16-2	覚	(銅山稼方平均)	状	辰年2月晦日		
15-1-2-17-1	別子立川銅炭御運上目録		状	辰年3月29日		
15-1-2-17-2	覚	(銅山稼方平均)	状	辰年3月29日		
15-1-2-18-1	別子立川銅炭御運上目録		状	辰年4月晦日		
15-1-2-18-2	覚	(銅山稼方平均)	状	辰年4月晦日		
15-1-2-19-1	覚	(別子立川銅炭運上目録)	状	辰年5月29日		
15-1-2-19-2	覚	(銅山稼方平均)	状	辰年5月29日		
15-1-2-20-1	覚	(別子立川銅炭運上目録)	状	辰年7月晦日		
15-1-2-20-2	覚	(銅山稼方平均)	状	辰年7月晦日		
15-1-2-21-1	覚	(別子立川銅炭運上目録)	状	巳年2月29日		
15-1-2-21-2	覚	(銅山稼方平均)	状	巳年2月29日		
15-1-2-22-1	覚	(別子立川銅炭運上目録)	状	巳年3月晦日		
15-1-2-22-2	覚	(銅山稼方平均)	状	巳年3月		
15-1-2-23-1	覚	(別子立川銅炭運上目録)	状	巳年4月29日		
15-1-2-23-2	覚	(銅山稼方平均)	状	巳年4月		
15-1-2-24-1	覚	(別子立川銅炭運上目録)	状	巳年5月晦日		
15-1-2-24-2	覚	(銅山稼方平均)	状	巳年5月		
15-1-2-25-1	別子立川銅炭御運上目録		状	6月晦日		

「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

73/120ページ

住友史料館

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
15-1-2-25-2	覚	(銅山稼方平均)	状	巳年6月	1	※15-1-1～15-1-3-9-2 で1冊
15-1-2-26-1	別子立川銅炭御運上目録		状	天明5年7月晦日		
15-1-2-26-2	覚	(銅山稼方平均)	状	巳年7月		
15-1-2-27-1	覚	(別子立川銅炭運上目録)	状	巳年8月29日		
15-1-2-27-2	覚	(銅山稼方平均)	状	巳年8月		
15-1-2-28-1	覚	(別子立川銅炭運上目録)	状	巳年9月晦日		
15-1-2-28-2	覚	(銅山稼方平均)	状	巳年9月		
15-1-2-29-1	覚	(別子立川銅炭運上目録)	状	天明5年11月29日		
15-1-2-29-2	覚	(銅山稼方平均)	状	11月29日		
15-1-2-30-1	別子立川銅炭運上目録		状	天明5年12月		
15-1-2-30-2	覚	(別子立川銅炭運上目録)	状	巳年12月晦日		
15-1-2-30-3	覚	(銅山稼方平均)	状	巳年12月		
15-1-2-31	別子立川銅炭運上目録		状	天明3年12月		
15-1-3-0	予州銅山運上書類入袋其二		袋			
15-1-3-1-1	覚	(別子立川銅炭運上目録)	状	午年正月29日		
15-1-3-1-2	覚	(銅山稼方平均)	状	午年正月		
15-1-3-2-1	別子立川銅炭御運上目録		状	天明6年2月晦日		
15-1-3-2-2	覚	(銅山稼方平均)	状	午年2月		
15-1-3-3-1	覚	(別子立川銅炭運上目録)	状	3月晦日		
15-1-3-3-2	覚	(銅山稼方平均)	状	3月		
15-1-3-4-1	覚	(別子立川銅炭運上目録)	状	午年4月晦日		
15-1-3-4-2	覚	(銅山稼方平均)	状	午年4月		
15-1-3-5-1	覚	(別子立川銅炭運上目録)	状	天明6年5月29日		
15-1-3-5-2	覚	(別子立川銅炭運上目録)	状	午年5月29日		
15-1-3-5-3	覚	(銅山稼方平均)	状	午年5月		
15-1-3-6-1	覚	(別子立川銅炭運上目録)	状	午年6月29日		
15-1-3-6-2	覚	(銅山稼方平均)	状	午年6月		
15-1-3-7-1	別子立川銅炭御運上目録		状	天明6年7月晦日		
15-1-3-7-2	覚	(銅山稼方平均)	状	午年7月		
15-1-3-8-1	別子立川銅炭御運上目録		状	天明6年8月29日		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年 月 日	製本冊数	備 考 ・ 参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
15-1-3-8-2	覚	(銅山稼方平均)	状	午年8月29日	1	※15-1-1～15-1-3-9-2 で1冊
15-1-3-9-1	覚	(別子立川銅炭運上目録)	状	午年9月晦日		
15-1-3-9-2	覚	(銅山稼方平均)	状	午年9月		
15-1-3-10-1	覚	(別子立川銅炭運上目録)	状	10月晦日	1	※15-1-3-10-1～15-1-4 で1冊
15-1-3-10-2	覚	(銅山稼方平均)	状	午年10月		
15-1-3-11-1	別子立川銅炭御運上目録		状	天明6年閏10月晦日		
15-1-3-11-2	覚	(銅山稼方平均)	状	午年閏10月		
15-1-3-12-1	覚	(別子立川銅炭運上目録)	状	午年11月29日		
15-1-3-12-2	覚	(銅山稼方平均)	状	午年11月		
15-1-3-13-1	別子立川銅炭御運上目録		状	12月27日		
15-1-3-13-2	覚	(銅山稼方平均)	状	午年12月		
15-1-3-14	別子立川銅炭御運上目録		状	天明6年12月		
15-1-3-15-1	別子立川銅炭御運上目録		状	天明7年正月晦日		
15-1-3-15-2	覚	(銅山稼方平均)	状	未年正月		
15-1-3-16-1	覚	(別子立川銅炭運上目録)	状			
15-1-3-16-2	覚	(銅山稼方平均)	状	未年2月		
15-1-3-17-1	別子立川銅炭御運上目録		状	未年4月晦日		
15-1-3-17-2	覚	(銅山稼方平均)	状	未年4月		
15-1-3-18-1	別子立川銅炭御運上目録		状	未年5月29日		
15-1-3-18-2	覚	(銅山稼方平均)	状	未年5月		
15-1-3-19-1	覚	(別子立川銅炭運上覚)	状	未年6月29日		
15-1-3-19-2	覚	(銅山稼方平均)	状	未年6月		
15-1-3-20-1	別子立川銅炭運上目録		状	天明7年7月晦日		
15-1-3-20-2	覚	(銅山稼方平均)	状	未年7月		
15-1-3-21-1	覚	(別子立川銅炭運上目録)	状	9月晦日		
15-1-3-21-2	覚	(銅山稼方平均)	状	未年9月		
15-1-3-22-1	覚	(別子立川銅炭運上目録)	状	11月29日		
15-1-3-22-2	覚	(銅山稼方平均)	状	未年11月		
15-1-3-23-1	覚	(別子立川銅炭運上目録)	状	正月晦日		
15-1-3-23-2	覚	(銅山稼方平均)	状	申年正月		

「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
15-1-3-24-1	覚	(別子立川銅炭運上目録)	状	天明8年2月29日	1	※15-1-3-10-1～15-1-4 で 1冊
15-1-3-24-2	覚	(銅山稼方平均)	状	申年2月		
15-1-3-25-1	別子立川銅炭運上目録		状	天明8年3月晦日		
15-1-3-25-2	覚	(銅山稼方平均)	状	申年3月		
15-1-3-26-1	覚	(別子立川銅炭運上目録)	状	天明8年4月29日		
15-1-3-26-2	覚	(銅山稼方平均)	状	申年4月		
15-1-3-27-1	覚	(別子立川銅炭運上目録)	状			
15-1-3-27-2	覚	(銅山稼方平均)	状	申年5月		
15-1-3-28-1	別子立川銅炭運上目録		状	申年6月		
15-1-3-28-2	覚	(銅山稼方平均)	状	申年6月		
15-1-3-29-1	覚	(別子立川銅炭運上目録)	状	10月晦日		
15-1-3-29-2	覚	(銅山稼方平均)	状	申年10月		
15-1-3-30-1	別子立川銅炭運上目録		状	天明9年正月晦日		
15-1-3-30-2	覚	(銅山稼方平均)	状	酉年正月		
15-1-3-31	別子立川銅炭運上目録		状	卯年3月晦日		
15-1-3-32	覚	(別子立川銅炭運上目録)	状	3月29日		
15-1-3-33-1	覚	(別子立川銅炭運上目録)	状	酉年9月29日		
15-1-3-33-2	覚	(銅山稼方平均)	状	酉年9月		
15-1-3-34-1	別子立川銅炭運上目録		状	文政13年12月27日		
15-1-3-34-2	覚	(銅山稼方平均)	状	寅年12月22日		
15-1-3-34-3	別子立川銅炭運上目録		状	文政13年12月		
15-1-3-35-1	別子立川銅炭運上目録		状	天保2年2月晦日		
15-1-3-35-2	覚	(銅山稼方平均)	状	卯年2月晦日		
15-1-3-36-1	別子立川銅炭運上目録		状	天保2年3月29日		
15-1-3-36-2	覚	(銅山稼方平均)	状	卯年3月29日		
15-1-3-37-1	別子立川銅炭運上目録		状	天保2年5月29日		
15-1-3-37-2	覚	(銅山稼方平均)	状	卯年5月29日		
15-1-3-38-1	別子立川銅炭運上目録		状	卯年6月晦日		
15-1-3-38-2	覚	(銅山稼方平均)	状	卯年7月6日		
15-1-3-39-1	別子立川銅炭運上目録		状	卯年7月29日		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
15-1-3-39-2	覚	(銅山稼方平均)	状	卯年7月29日	1	※15-1-3-10-1～15-1-4 で 1冊 ※15-1-3-44 欠番
15-1-3-40-1	別子立川銅炭運上目録		状	天保2年8月晦日		
15-1-3-40-2	覚	(銅山稼方平均)	状	卯年8月晦日		
15-1-3-41-1	別子立川銅炭運上目録		状	天保2年9月29日		
15-1-3-41-2	覚	(銅山稼方平均)	状	卯年9月29日		
15-1-3-42-1	別子立川銅炭運上目録		状	天保2年10月晦日		
15-1-3-42-2	覚	(銅山稼方平均)	状	卯年10月晦日		
15-1-3-43-1	別子立川銅炭運上目録		状	天保2年11月晦日		
15-1-3-43-2	覚	(銅山稼方平均)	状	卯年11月晦日		
15-1-3-45-1	別子立川銅炭運上目録		状	天保4年4月晦日		
15-1-3-45-2	覚	(銅山稼方平均)	状	4月晦日		
15-1-3-46	別子立川両銅山目録写		状	嘉永5年8月晦日		
15-1-3-47	別子立川銅炭運上目録写		状	文久3年正月29日		
15-1-3-48-1	別子立川銅炭運上目録写		状	文久3年3月晦日		
15-1-3-48-2	改帳写	(改帳写)	状	3月		
15-1-3-49	別子立川銅炭運上目録写		状	文久3年8月晦日		
15-1-3-50-1	改帳写		状	9月		
15-1-3-50-2	覚	(銅山稼方平均)	状	辰年9月29日		
15-1-3-50-3	有物書		状	8月		
15-1-3-50-4	有物書		状	9月		
15-1-3-51-1	改帳写		状	10月	1	※15-1-3-10-1～15-1-4 で 1冊
15-1-3-51-2	覚	(銅山稼方平均)	状	辰年10月晦日		
15-1-3-52-1	改帳写		状	11月		
15-1-3-52-2	覚	(銅山稼方平均)	状	辰年11月晦日	3	
15-1-4	丑年予州別子銅山運上目録		冊	宝永7年4月		
15-1-5	予州備中運上控帳		冊	元禄16年～正徳4年12月29日		
15-1-6	別子銅山運上控二番		冊	享保3年正月～元文元年12月	3	
15-2-1	別子銅山運上控三番		冊	元文2年正月～宝暦5年12月	3	

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年 月 日	製本冊数	備 考 ・ 参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
15-2-2	別子銅山運上控四番		冊	宝暦6年正月～安永10年2月	4	
15-3-1	別子銅山運上帳五番		冊	安永10年3月～文化2年11月	3	
15-3-2	別子銅山運上帳六番		冊	文化3年正月～13年12月22日	2	
15-3-3	別子銅山運上帳七番		冊	文化14年正月～文政10年正月晦日	1	
15-4-1	別子銅山運上帳八番		冊	文政4年正月～天保10年12月	2	
15-4-2	別子銅山運上帳九番		冊	天保11年正月～弘化3年12月	1	
15-4-3	別子銅山運上帳一〇番		冊	弘化4年正月～安政5年2月	1	
15-4-4	別子銅山運上帳一一番		冊	安政5年正月～慶応4年5月	1	
15-4-5	大坂留帳写シ	(与州宇摩郡別子山足谷銅山炭簗末年運上	冊	元禄4年～13年	1	※15-4-5～15-5-2 で1冊
15-5-1	銅平均之控		冊	安永3年正月～天明元年12月		
15-5-2	銅歩付平均之控		冊	天明2年正月～6年7月		
15-5-3	銅山稼方平均控		冊	文化14年正月～天保10年12月	1	
15-5-4	銅山稼方平均控		冊	天保11年正月～安政2年2月	1	
15-5-5	銅山稼方平均控		冊	安政2年正月～慶応3年5月	1	
15-5-6	銅山稼方平均控		冊	慶応3年6月～明治4年12月	1	※15-5-6～15-6-3 で1冊
15-6-1	銅山役人衆へ書上留	(切畑・買請米・銅出増之儀吟味につき)	冊	元禄15年11月27日		
15-6-2	元禄四年より享保六年迄別子銅山之覚書		冊	享保6年8月		
15-6-3	延享年中銅山用書控	(買請米停止一件につき)	冊	延享2年4月14日～12月		
15-6-4	立川御銅山家質要用控	(寛延二年五月立川銅山請負につき)	冊	宝暦2年4月8日	1	※15-6-4～13 で1冊
15-6-5	予州別子立川両銅山開発覚書		冊	宝暦8年12月		
15-6-6	覚	(立川銅山ヲ別子二合併、一手請負願出	綴	宝永元年8月		
15-6-7	別子山銅水流見分答書并下ヶ札之控		冊	文化元年5月		
15-6-8	寛政度掛板写		冊	寛政12年7月		
15-6-9	予州銅山改正一件控		冊	寛政12年9月～享和3年9月		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年 月 日	製本冊数	備 考 ・ 参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
15-6-10	鋪方御掛板案書		冊	寛政12年9月	1	※15-6-4～13 で1冊
15-6-11	立川御掛板案書		冊	寛政12年9月		
15-6-12	炭方御掛板案書		冊	寛政12年9月		
15-6-13	鋪内鉉筋建破鍾幅之覚書		冊	寛政13年		
15-6-14	一山改革法立雑誌		冊	天保14年12月	1	※15-6-14～19 で1冊
15-6-15	予州別子立川両銅山仕格覚書		冊	弘化元年		
15-6-16	予州別子立川両銅山仕格覚書		冊	安政3年		
15-6-17	予州別子立川両銅山御運上不足償方之御 答書写		冊	午年9月～11月		
15-6-18-1	別子銅山運上銀拝借金控		冊	元禄4年～享保13年		
15-6-18-2	別子銅山運上銀拝借金御米控		冊	元禄4年～享保6年		
15-6-19	予州両銅山御運上十ヶ年分平均書		冊	天明8年～寛政9年		
15-6-20	御上納月割之控	(買請米代銀)	冊	安永6年1月～文化10年2月	1	
15-6-21	御上納月割控	(買請米代銀)	冊	弘化5年1月～慶応3年3月	1	※15-6-21～23 で1冊
15-6-22	天保七年より十一年迄入用并出来銅高寄 平均割		冊	天保7年～11年		
15-6-23	買請米代銀二付別子立川両銅山上納金銀 控		冊	天保8年1月		
15-6-24	別子立川荒銅売上帳		冊	慶応4年7月～明治4年10月	1	
15-6-25	予州別子銅山御用銅勘定		冊	享保元年11月～7年5月	1	
15-6-26	年々入目高寄帳		冊	寛政12年～天保3年	2	
16-1-1	御米帳		冊	元禄15年9月～天明2年	1	
16-1-2	御米毎月請取控		冊	元禄15年9月～延享3年9月	2	
16-1-3	御買米一件之控		冊	延享元年9月15日～2年4月5 日	1	※16-1-3,4 で1冊
16-1-4	御米毎月請取控		冊	延享5年2月～宝暦元年7月		
16-1-5	御米請取留		冊	寛延2年～安永元年	1	
16-1-6	予州松山別子銅山貸付米之帳		冊	宝暦9年～明和4年12月29日	1	※16-1-6,7 で1冊
16-1-7	御米御割賦并請取留		冊	安永元年～天明3年		
16-1-8	御米御割賦并請取控		冊	天明3年～文政6年	1	

公開史料目録（近世） 2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年 月 日	製本冊数	備 考 ・ 参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
16-2-1	大洲御領内貸付米相滞候二付催促一件控		冊	元文4年閏11月29日～5年8月	1	※16-2-1～4 で1冊
16-2-2	願書	(桑村米延納之件につき)	冊			
16-2-3	差上申御請書之事	(買請米値段)	綴	明和5年11月13日～8年4月		
16-2-4	予州両銅山買請米発端之訳御尋二付答書		冊	天明2年7月		
16-2-5	桑村郡御米一件演説書		冊		1	※16-2-5～9 で1冊
16-2-6	二番貸米応対控		冊	天明8年11月23日～寛政3年11月5日		
16-2-7	桑村郡取替米懸合控		冊	天明9年正月		
16-2-8	貸付米滞出入済口証文写		冊	寛政元年11月		
16-2-9	土州島野川山村対談控		冊	寛政3年12月～4年3月		※16-2-10～16-2-13-1 で1冊
16-2-10	予州桑村滞米願付一件書		冊	寛政4年6月22日～5年8月	1	
16-2-11	土州仙石一件		冊	寛政12年正月		
16-2-12-1	桑村越智郡滞米一件		袋/冊	寛政12年正月		
16-2-12-2	貸付米滞出入		綴	寛政11年8月25日		※16-2-14～23 で1冊
16-2-13-1	買請米増石両全一件出府日記其一		冊	慶応元年11月26日～2年4月4日		
16-2-13-2	買請米増石両全一件出府日雑記其三・其四		冊	慶応2年7月7日～3年正月12日	1	※16-2-14～23 で1冊
16-2-14	買請米増石両全一件出府日雑記其五		冊	慶応3年正月15日～4月3日	1	
16-2-15	乍恐以書付奉歎願候	(長崎御用銅・買請米継続願)	綴	慶応2年10月		
16-2-16	乍恐以書付奉歎願候	(長崎御用銅・買請米継続願)	綴	慶応2年11月		
16-2-17	乍恐以書付奉歎願候	(銅山融通困難につき)	綴	明治2年9月		
16-2-18	乍恐以書付奉願上御事	(卯兵衛新田年貢上納用赦願)	綴	明治2年10月		
16-2-19	預手形之規則	(別子銅山札)	綴	明治2年11月		
16-2-20	乍恐以書付奉願上候	(明治二年分買請米代金上納方につき)	綴	明治2年11月		
16-2-21	住友家永統方二付改革申合書		綴	巳年11月		
16-2-22	乍恐以書付奉願上候	(別子貢納金千両納入執成願)	綴	明治2年12月		
16-2-23	御運銀員数書上書			正月		
16-2-24	改革諸賃銭書	(別子銅山稼人)	冊	未年11月	1	※16-2-24～27 で1冊

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
16-2-25	銅山損益書		冊	明治3年12月	1	※16-2-24～27 で1冊
16-2-26-0	東京歎願中諸入用帳二冊入袋		袋	明治3年12月～4年4月		
16-2-26-1	東京行費用	(広瀬幸平東京歎願出張費)	横半/	明治3年12月3日～4年3月		
			状	26日		
16-2-26-2	万覚帳	(広瀬幸平東京歎願出張につき)	横	明治3年12月10日～4年2月		
				23日	1	※16-2-28-0～16-2-29-1 で1冊
16-2-27	別子銅山銅炭運上金取立皆済書		綴	未年正月		
16-2-28-0	予州銅山買請米文書類入袋其一		袋			
16-2-28-1	乍憚口上	(買請米値段二割五分引下願)	状	享保12年11月12日		
16-2-28-2	越智桑村両郡買請米請取延引二付御答書		状	寛政元年2月		
16-2-28-3	買請米二割安石願奥書并裏書写		状	寛政2年正月		
16-2-28-4	乍恐以書付奉願上候	(買請米値段相場立方につき)	状	寛政9年10月		
16-2-28-5	乍恐以書付奉願上候	(買請米値段相場立方につき)	状	寛政9年10月		
16-2-28-6	伊予国松山町石代値段立方二付伺		状	寛政9年12月		
16-2-28-7	予州銅山師買請米国々高米値段書付		状	巳年12月		
16-2-28-8	予州銅山師買請米二割安石値段二付下知督促伺		状	午年3月		
16-2-28-9	予州両銅山買請米代銀改正申渡二付裏書		状	午年7月		
16-2-28-10	予州両銅山巳年買請米御割賦伺書写		状	寛政10年8月		
16-2-28-11	予州銅山師買請米手当銀相場取斗方伺書		状	寛政10年8月		
16-2-28-12	乍恐以書付奉願上候	(買請米代銀改正につき巳年銅炭運上手当銀御渡願)	状	寛政10年8月		
16-2-28-13	予州別子立川両銅山手当銀之儀二付相伺候書付		状	寛政10年8月		
16-2-28-14	銅山賦米二付書状		状	午年9月12日		
16-2-28-15	覚	(両銅山巳年買請米渡方延滞につき)	状	午年12月		
16-2-28-16	巳午買請米残石催促之儀二付書付		状	午年12月		
16-2-28-17-1	覚	(買請御米御割賦書付)	状	午年12月		
16-2-28-17-2	借用申米之事	(別子銅山入用につき)	状	寛政11年12月		
16-2-28-17-3	預り申銀子之事	(別子立川両銅山買請米代之内)	状	寛政11年12月		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
16-2-28-17-4	銅山入用金借用二付引当差出証文		状	寛政11年12月	1	※16-2-28-0～16-2-29-1 で 1冊
16-2-28-18-1	覚	(買請米渡方并請取手形)	状	寛政12年11月～12月		
16-2-28-18-2	預り申銀子之事	(銅山借用米引当証文御戻につき)	状	寛政12年12月		
16-2-28-18-3	預り申銀子之事	(銅山借用米引当証文御戻につき)	状	寛政12年12月		
16-2-28-18-4	預申銀子之事	(別子立川両銅山米代上納之内)	状	寛政12年12月		
16-2-28-18-5	預申一札之事	(別子立川両銅山非常貸付米之内)	状	寛政12年12月		
16-2-28-18-6	預申一札之事	(別子立川両銅山非常貸付米之内)	状	寛政12年12月		
16-2-28-19	乍恐以書付御歎奉申上候	(別子銅山永続御公益第一之儀につき)	状			
16-2-28-20	内願御歎意	(別子立川両銅山御米代之儀につき)	綴			
16-2-28-21	買請米発端よりの書抜		状			
16-2-28-22	百姓方納米代銀同様相納候儀赦免願		状			
16-2-28-23	立川中持盗米一件処分二付口上書		状			
16-2-28-24	百姓方納米代銀同様相納候儀赦免願		状			
16-2-28-25	借用米返済代金取決方二付書状		状	8月5日～14日		
16-2-28-26	借用米返済代金取決方二付書状		状	7月20日		
16-2-29-0	予州銅山買請米文書類入袋其二		袋		1	※16-2-29-2～16-2-32-3 で 1冊
16-2-29-1	別子銅山買請米代引当家質証文控		冊	享保12年12月		
16-2-29-2	覚	(別子銅山拝借米并買請米引当質物)	状	享保15年10月		
16-2-29-3	淡路町家質代り内本町太郎左衛門町家質 一件		冊	寛延3年12月		
16-2-29-4	宝暦十二午年十二月差上候家質証文之写		冊	宝暦12年12月		
16-2-29-5	宝暦十一年別子銅山分買請米代引当家質 証文		綴	宝暦12年～天明7年		
16-2-29-6-1	家質引当控		冊			
16-2-29-6-2	宝暦十一辛巳年二月三月差上候家質証文		冊	宝暦11年2月～3月		
16-2-29-7-1	差上申家質証文之事	(別子銅山買請米引当)	綴	寛正4年		
16-2-29-7-2	差上申家質証文之事	(別子銅山買請米引当)	綴	寛正4年		
16-2-30-0	予州銅山買請米文書類入袋其三		袋			
16-2-30-1	乍恐以書付奉申上候	(家督相続につき)	状	天明7年3月		
16-2-30-2	一札	(買請米家質につき茂左衛門町へ差入)	状	天明7年8月		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年 月 日	製本冊数	備 考 ・ 参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
16-2-30-3	覚	(家質証文之内高間町分名前につき断)	状	天明7年8月	1	※16-2-29-2～16-2-32-3 で1冊
16-2-30-4	乍恐口上	(家質証文五人組之内奈良屋清右衛門落印につき断)	状	天明7年8月		
16-2-30-5	差上申家質証文之事	(買請米引当北堀江一丁目家屋敷)	状	天明7年8月		
16-2-30-6	家質二付豊後町町内へ差出請負証文		状	天明7年		
16-2-30-7	一札	(家質証文改名につき)	状	天明8年11月		
16-2-30-8	覚	(家質証文書替につき加判人改分書上)	状	天明8年12月		
16-2-30-9	覚	(当春借米・役料渡方触)	状	申年正月24日		
16-2-30-10	乍恐以書付御願奉申上候	(手当銀九十貫目七ヶ年前借願下書)	状	寛政		
16-2-30-11	家質二付豊後町町内へ差出請負証文下書		状			
16-2-30-12	覚	(両銅山未年買請米相場)	状			
16-2-30-13	差上申請取一札之事	(銅山涌水手当拝借引宛家質証文渡)	状	寛政2年7月		
16-2-30-14	乍憚口上	(類焼抱屋敷為代別紙家質差入願下書)	状	寛政4年正月		
16-2-31-0	予州銅山買請米文書類入袋其四		袋			
16-2-31-1	覚	(買請米家質証文引替につき)	状	文政13年6月		
16-2-31-2	差上申家質証文之事	(銅座借入金につき家政改革調書)	綴	嘉永元年11月～2年8月		
16-2-32-0	予州銅山買請米文書類入袋其五		袋		1	※16-2-32-4～16-2-33-2-17 で1冊
16-2-32-1	松山貸付米精帳		状	子年12月		
16-2-32-2	松山諸郡貸付米精帳		冊	天明元年5月		
16-2-32-3	松山貸付米請払精帳		冊	天明2年5月～12月		
16-2-32-4	辰年松山貸付米精帳		冊	巳年6月		
16-2-32-5	松山貸付米精帳		冊	酉年6月		
16-2-32-6	松山諸郡貸付米精帳		冊	戌年6月		
16-2-32-7	松山貸付米精帳		冊	未年5月		
16-2-33-0	予州銅山買請米文書類入袋其六		袋			
16-2-33-1	大槌嶋難船一件書上写		冊	明和3年11月		
16-2-33-2-0	銅山買請米二割安御廃止二付歎願筋書状入袋		袋			
16-2-33-2-1	松山石代値段書上方御尋二付返答書写		状	巳年3月8日		
16-2-33-2-2	口達之覚	(松山石代値段立方之儀につき)	状	巳年8月		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
16-2-33-2-3	松山石代値段書上方二付申渡并請書写		状	巳年9月2日	1	※16-2-32-4～16-2-33-2-17 で1冊
16-2-33-2-4	石代十月中売買値段書出申渡		状	巳年9月		
16-2-33-2-5	石代一件願書等下谷様にて添削他書状		状	12月14日		
16-2-33-2-6	石代一件取運之様子報告書状		状	2月6日		
16-2-33-2-7	石代二割安替りとして別段手当銀書状		状	2月24日		
16-2-33-2-8	石代二割安替り別段手当銀願出二付書状		状	3月2日		
16-2-33-2-9	石代二割安替り手当銀願出二付御預所添 文言		状			
16-2-33-2-10	石代二割安替り手当銀等二付書状		状	3月6日		
16-2-33-2-11	石代二割安替り手当銀二付経過報告書状		状	3月25日		
16-2-33-2-12	石代二割安替り手当銀二付経過報告書状		状	3月28日		
16-2-33-2-13	石代二割安替り手当銀出願二付経過報告 書状		状	5月3日		
16-2-33-2-14	石代二割安替手当銀二付経過報告書状		状	7月24日		
16-2-33-2-15	石代一件手当銀下渡等二付書状		状	8月26日		
16-2-33-2-16	石代二割安替手当願二付報告書状		状	8月晦日		
16-2-33-2-17	九月六日出無番	(石代一件落着につき諸向御礼等打合)	綴	9月6日		
16-2-33-2-18	買請米値段増方二付江戸歎願懸合報告書 状		状	11月19日	1	※16-2-33-2-18～16-2-34-6 で 1冊
16-2-33-2-19	海苔・書物注文、石代一件懸合書状		状	11月29日		
16-2-33-2-20	覚	(買請米相場等につき)	状			
16-2-33-2-21	米代定値段歎願隠密登山等二付書状		綴			
16-2-33-2-22	買請米値段三勾増申渡二付在来二割安願 書案		状			
16-2-33-2-23	上中下米平均値段にて買請米願書写		状	午年3月		
16-2-33-2-24	買請米上米値段にて上納替手当銀願二付 伺案文		状	寛政10年7月		
16-2-33-2-25	買請米上米値段上納替り手当銀願二付伺 書		状	寛政10年7月		
16-2-33-2-26	覚	(買請米二割安買請替り手当銀請取書)	状	寛政10年10月5日		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
16-2-33-2-27	乍恐以書付御歎奉申上候	(買請米値段上米相場三匁増申渡につき)	状		1	※16-2-33-2-18～16-2-34-6 で
16-2-33-2-28	手当銀増願訳書案文		状			
16-2-33-2-29	乍恐御願奉申上候	(買請米上米値段上納替り手当銀下渡願)	状	午年2月		
16-2-33-2-30	買請米二割安替り手当銀被仰付二付江戸六番状		状	8月晦日		
16-2-33-2-31	江戸中橋店より用状未着二付尋書		状	9月14日		
16-2-33-2-32	口上書	(江戸より用状到着遅延の訳書)	状	9月14日		
16-2-33-3	覚	(銅山買請米下渡上申書写)	状	丑年11月		
16-2-33-4-0	卯年分米代書付井口銅代金二百両請取書包紙		包			
16-2-33-4-1	覚	(貢物米代金上納につき)	状	巳年3月		
16-2-33-4-2	卯年貢物払代金上納達書包紙		包			
16-2-33-4-3	受取	(口銅代金二百両)	状	巳年3月13日		
16-2-33-4-4	買請米代金京都にて上納とりなし依頼書状		状	3月17日		
16-2-33-5-0	明治四年米代年賦歎願之節取替証文包紙		包			
16-2-33-5-1	証券	(金札三百十五両借用証文)	状	辛未年2月9日		
16-2-33-5-2	仮証書	(金札四百両借用証文)	状	辛未年3月21日		
16-2-33-5-3	証	(金三百五十両借用証文)	状	辛未年3月		
16-2-33-6	乍恐以書取奉願上候	(両銅山食料米払下願)	状	壬申年8月29日		
16-2-33-7	乍恐以書付奉歎願候	(貸下残金二千両十年賦返済願)	状	明治4年11月		
16-2-33-8	乍恐奉願上候覚	(買請米願書)	状	天明2年10月		
16-2-34-0	予州銅山買請米文書類入袋其七		袋			
16-2-34-1	松山預役所拝借米之儀等二付申上		綴	7月		
16-2-34-2	乍恐以書付奉願上候	(買請米減石申渡につき復旧願)	状	12月		
16-2-34-3	買請米減石復旧願二付伺書		綴	慶応元年12月		
16-2-34-4	別子立川両銅山炭山改法算勘書并諸方賃増之覚		綴	慶応2年4月		
16-2-34-5	乍恐以書付奉願上候	(買請米減石復旧願)	綴/状	慶応2年8月		
16-2-34-6	御奥書之写	(買請米減石復旧願)	綴	寅年9月		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
16-2-35-0	予州銅山買請米文書類入袋其八		袋		1	※16-2-35-0～19 で1冊
16-2-35-1	明和四年より天明五年迄桑村郡取替米元利書上		綴			
16-2-35-2	借用申御米之事	(銅山買請米未進分)	状	天明5年10月		
16-2-35-3	越智桑村両郡年賦米応対書		冊	午年11月		
16-2-35-4	乍恐以書付奉願上候	(桑村郡取替米返済滞につき督促願書写)	状	寛政3年10月		
16-2-35-5	貸付米滞出入願書写		冊	寛政4年2月		
16-2-35-6-1	予州桑村郡済口証文控		冊	寛政5年6月		
16-2-35-6-2	予州桑村郡済口証文控		冊	寛政5年6月		
16-2-35-7-1	乍恐以書付奉願上候	(取替米出入庄屋身代限被仰渡処返済日延願書案)	状	寛政5年6月		
16-2-35-7-2	乍恐口上	(取替米滞返済日延後日限過届下書)	状			
16-2-35-8	越智郡貸付米写	(年賦残高勘定)	冊			
16-2-35-9	桑村郡取替米滞出入訴状下書		状			
16-2-35-10	米積廻シ方二付書状		状	2月16日		
16-2-35-11	賦米延引等の件二付書状		状	2月25日		
16-2-35-12	覚	(銅山買請米不納分書上)	状	5月8日		
16-2-35-13	年賦米の件に付承知の旨書状		状	9月12日		
16-2-35-14	越智郡滞米済方懸合に齟齬の旨書状		状	3月7日		
16-2-35-15	滞米済方につき内済依頼書状		状	3月7日		
16-2-35-16	桑村郡・越智郡村々庄屋名前付		状	3月28日		
16-2-35-17	一札	(借米出入内済証文下書)	綴	寛政5年6月		
16-2-35-18	滞米出入内済不調につき書状		状	11月5日		
16-2-35-19	越智桑村両郡貸付一万俵手形内訳		状		1	※16-2-35-0～19 で1冊
16-2-36-0	両全積書差引書類入袋		袋		1	※16-2-36-0～16-2-37-8 で1冊
16-2-36-1	安政三～慶応元迄売払買上銅値段十ヶ年平均書		冊			
16-2-36-2	上納井地相場買請米代并買上銅代十ヶ年平均書		冊			
16-2-36-3	買請米代・銅米差引十ヶ年平均書		冊			

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
16-2-36-4	買請米上納値段等二ヶ年平均書		冊		1	※16-2-36-0～16-2-37-8 で 1冊
16-2-36-5	買請米代差引銅米差引子丑二ヶ年平均書		冊			
16-2-36-6	弘化二～慶応元年買請米・売上銅代銀積書		状			
16-2-36-7	子丑年銅米差引并金違凡積書		冊			
16-2-36-8	予州別子立川両御銅山御益凡積書		冊	慶応2年4月		
16-2-36-9	嘉永二～慶応三年銀子出入并銅山損益見競		冊			
16-2-36-10	乍恐以書付奉願上候	(銅山飯米払下差留撤回願)	綴	慶応2年8月		
16-2-36-11	銅家業由緒書		綴			
16-2-37-0	両全諸願書類入袋		袋			
16-2-37-1	乍恐以書付奉願上候	(買請米増石願)	綴	慶応2年7月		
16-2-37-2	慶応元子年買請米銀勘定書		綴			
16-2-37-3	慶応元丑年買請米代銀勘定書		綴			
16-2-37-4	乍恐以書付奉願上候	(別子買請米減石之分増石願)	綴	慶応元年11月		
16-2-37-5	乍恐以書付奉願上候	(別子買請米減石之分増石願)	綴			
16-2-37-6	別子立川荒銅地売方年々売上高		綴	寅年5月		
16-2-37-7	桜井様江差出候書付之覚	(拝借銅之儀につき)	状	慶応2年5月	1	※16-2-37-9～16-3-1-6 で 1冊
16-2-37-8	乍恐以書付奉再願候	(別子買請米減石之分増石願)	状	慶応2年3月		
16-2-37-9	乍恐以書付御届奉申上候	(長崎御用銅定数不揃につき)	綴	慶応2年7月		
16-2-37-10	御料所村々物成収納方吟味取調之儀申達請書		綴	2月29日		
16-2-37-11	口達之覚	(買請米増石筋歎願趣意につき)	状			
16-2-37-12	乍恐以書付奉願上候	(買請米代銀上納方につき)	状	慶応2年6月		
16-2-37-13	伊豫国御物成米之儀二付申上候書付		状	寅年8月		
16-2-37-14	予州銅山師買請米之儀二付歎願仕候伺書		状	慶応2年9月		
16-2-37-15	別子両全仕法にて買請米増石内願下書綴		綴			
16-2-37-16	元治元年より御売上銅値段・買請米値段勘定書		状			
16-2-37-17	買請米代銀収支勘定書		状			

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
16-2-37-18	銅代石代増減差引書	(文久三～慶応元年銅代石代)	状		1	※16-2-37-9～16-3-1-6 で 1冊
16-2-37-19	吹減吹賃之儀につき申上		状			
16-2-37-20	嘉永四～文久三年予州松山・作州地相場 平均書		状			
16-2-37-21	御用銅三山銅値段・別子買請米代銀勘定 書		状			
16-2-37-22	乍恐以書付奉申上候	(買請米之儀につき)	綴			
16-3-1-0	予州銅山湧水関係文書類入袋其一		袋			
16-3-1-1	乍恐奉願上候覚	(水抜普請につき)	綴	宝暦6年6月		
16-3-1-2-1	漬物贈答の礼水抜願書控送付の件につき 書状		状	12月16日		
16-3-1-2-2	松山表銀子調達懸合・水抜願書につき書 状		状	12月10日		
16-3-1-3-1	乍恐奉願候覚	(水抜普請につき米拝借願)	綴	宝暦6年6月		
16-3-1-3-2	水抜普請につき米一万石拝借願		綴	宝暦6年6月		
16-3-1-4	覚	(水抜普請入用積一万五千石拝借米の件)	綴	子年6月		
16-3-1-5	水抜普請につき米九千石拝借願奥書		綴			
16-3-1-6	年賀状		状	正月元日		
16-3-2-0	予州銅山湧水関係文書類入袋其二		袋/包		1	※16-3-2-0～16-3-2-3-7 で 1冊
16-3-2-1	天明五巳年涌水一件		冊	天明5年		
16-3-2-2	予州銅山涌水二付損銀御手当願書等写		冊	天明6年		
16-3-2-3-1	予州銅山涌水二付損銀御手当願書等写		冊	天明6年		
16-3-2-3-2	涌水普請二付手当銀願下書		綴			
16-3-2-3-3	涌水普請二付手当銀願書控		冊			
16-3-2-3-4	拝借銀願二付御尋返答書		冊	酉年3月		
16-3-2-3-5	一番願書御尋之答書	(拝借銀願につき)	綴	酉年3月		
16-3-2-3-6	涌水普請につき引当家質下渡願下書		綴			
16-3-2-3-7	涌水二付諸願書下書		綴			
16-3-2-4	手代不正の件、涌水状況報告書状		横	11月12日	1	※16-3-2-4～16-3-3-10 で 1冊
16-3-2-5	乍恐書付を以奉歎上候	(別子銅山鋪中涌水につき手当銀願)	状	天明6年8月		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
16-3-2-6	乍恐書付を以奉申上候	(別子銅山鋪中涌水手当銀再願書)	状	天明7年6月	1	※16-3-2-4～16-3-3-10 で 1冊
16-3-2-7	御銅山御手当願相済候節入用一式		横	天明7年2月		
16-3-2-8	上納銀延期等二付銅山方用書写		状	天明8年		
16-3-2-9	乍恐以書付奉伺候	(御用銅売上督促に対し銅代銀下渡願下)	状	天明8年12月		
16-3-2-10	乍恐書付候	(涌水につき手当銀願書下書)	状			
16-3-3-0	予州銅山湧水関係文書類入袋其三		袋			
16-3-3-1	水抜普請につき御用銅代銀増方願下書		冊	酉年2月		
16-3-3-2-1	乍恐以書付奉願上候	(水抜普請につき家質証文下渡・手当銀拝借願下書)	冊	寛政元年2月		
16-3-3-2-2	乍恐以書付奉願上候	(水抜普請につき家質証文下渡・手当銀拝借願下書)	冊	寛政元年2月		
16-3-3-3	乍恐以書付奉願上候	(水抜普請人夫賃銀渡方につき拝借銀願下)	綴	寛政元年12月		
16-3-3-4	乍恐以書付奉願上候	(水抜普請につき御手当御下知督促願下)	状	寛政2年正月	1	※16-3-3-11-0～16-3-5-1 で 1冊
16-3-3-5	乍憚以書付奉申上候	(涌水等につき余銅請負困難の旨申上書)	状	寛政2年7月		
16-3-3-6	涌水普請手当銀・棹銅代銀早々下渡願		綴	亥年11月		
16-3-3-7	乍恐以書付奉願上候	(水抜普請につき六百貫拝借再願)	冊	寛政8年		
16-3-3-8	書付を以御達奉申上候	(三十貫目宛十ヶ年間別段拝借聞済につ	状	寛政9年11月		
16-3-3-9	乍恐以書付御届奉申上候	(涌水樋数五丁分引千届)	綴	天保4年		
16-3-3-10	別子鋪内涌水模様御尋返答書下書并絵図		綴/図	安政3年2月		
16-3-3-11-0	銅山仕格帳等入袋		袋			
16-3-3-11-1	涌水御見分心得書		冊			
16-3-3-11-2	諸値段書	(吹立入用積等値段書)	冊			
16-3-3-11-3	覚	(樋数并水引賃積り書)	横			
16-3-4-0	予州銅山湧水関係文書類入袋其四		袋			
16-3-4-1	別子銅山水捌方村方へ指障なき旨返答書		状	文化元年5月19日		
16-3-4-2	別子銅山東山につき返答書下書		冊	文化元年6月		
16-3-4-3	乍恐以書付奉申上候	(両銅山稼方難渋につき救済願下書)	冊	文化元年6月		
16-3-4-4	乍恐以書付申上候	(両銅山稼方難渋につき救済願下書)	綴			
16-3-4-5-1	口上	(書状請取書)	状	6月14日		
16-3-4-5-2	覚	(書状請取書)	状	6月14日		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
16-3-4-5-3	覚	(書状請取書)	状	6月3日	1	※16-3-3-11-0～16-3-5-1 で1冊
16-3-4-6	銅山水吐一件につき届書等なき旨書状		状	3月19日		
16-3-4-7	普請役銅山見分二留書書拔		綴			
16-3-4-8	別子銅山銅水流路絵図提出等二付書状		綴	14日		
16-3-4-9	別子銅山銅水被害につき書状		状			
16-3-4-10	乍恐書付を以奉申上候	(別子立川御用棹銅値段・手当銀沿革上申	状			
16-3-4-11	安政地震後涌水につき諸書類留		綴	安政3年12月～文久元年11		
16-3-4-12	水拔普請手当願下書		状			
16-3-4-13	水拔道具等につき用状留		綴	丑年11月		
16-3-4-14	水拔手当銀年延願、本家より合力申入等につき		状	8月27日		
16-3-4-15	別段涌水手当五ヶ年三百貫下渡願下書		状	安政3年12月		
16-3-5-0	予州銅山銅吹炭関係文書類入袋		袋			
16-3-5-1	乍憚奉願上候	(別子銅山付御林百姓中と相論につき願書	状	寛延3年2月		
16-3-5-2	御用銅定数出来方炭焼之儀につき存寄書		状	5月	1	※16-3-5-2～16-3-6-5 で1冊
16-3-5-3	炭山改法其外諸賃増一件書類入		綴			
16-3-6-0	予州銅山銅代値増願并休業届類入袋		袋			
16-3-6-1	銅山諸入用并出来銅高割付		冊	弘化2年12月		
16-3-6-2	休業届一件書類綴		綴			
16-3-6-3	出来銅高・諸雑用銀書上		綴			
16-3-6-4	別子立川休山につき松山表往復書類留		綴			
16-3-6-5	口上	(休山取計方につき諸役衆評)	綴	7月11日		
16-3-6-6	出来帳	(別子立川両銅山出来帳)	冊	天保7年～12年12月	1	※16-3-6-6～16-3-8-7 で1冊
16-3-6-7	銅山稼方難渋につき永年御定数手当願		綴	嘉永元年12月		
16-3-6-8	友視下向之節松山預所へ差出書付往返并掛紙写		冊	天保14年11月		
16-3-6-9	乍恐以書付口上之覚	(銅山稼方休業につき儀助共下向)	状	天保15年7月		
16-3-7-0	予州銅山上納銀延月願書類入袋		袋			
16-3-7-1	乍憚以書付奉申上候	(銅代銀等下渡延引につき銀拝借願)	状	天明8年3月21日		
16-3-7-2	涌水につき上納銀延納願下書		綴			

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
16-3-7-3	上納銀月割覚		状		1	※16-3-6-6～16-3-8-7 で1冊
16-3-7-4	上納銀延納願写		状			
16-3-7-5	乍恐以書付奉歎上候	(上納銀延納願控)	状	9月		
16-3-7-6	乍恐書付を以奉願上候	(上納銀延納願写)	状	寛政9年10月		
16-3-8-0	予州銅山請負相続願書類入袋		袋			
16-3-8-1-1	松山出勤心得之事	(盛之丞家督讓請)	綴			
16-3-8-1-2	松山出勤心得之事	(盛之丞家督讓請)	綴			
16-3-8-2	年々帳より書拔友輔家督之節控		冊			
16-3-8-3	弟盛之丞へ家督讓につき諸願書留		綴	文化4年12月		
16-3-8-4	乍恐書付ヲ以奉願上候	(銅山稼方盛之丞へ讓渡につき願書)	綴	文化4年11月		
16-3-8-5	乍恐書付ヲ以奉願上候	(盛之丞名跡相続并御用継続願)	綴	文化4年12月		
16-3-8-6	乍恐以書付奉願上候	(銅山稼方弟盛之丞へ相続願写)	状	文化4年12月		
16-3-8-7	出銀	(家督讓祝儀書上)	状	辰年4月		
16-3-9-0	吉次郎病氣にて盛之丞へ相続願書控入袋		袋		1	※16-3-9-0～16-3-11-11 で1冊
16-3-9-1	一札	(長堀茂左衛門町家屋敷相続につき)	綴	文化4年12月		
16-3-9-2	盛之丞相続・銅山請負等江戸にて証印御渡達書		状			
16-3-9-3	口達控	(家督相続願聞済につき)	状	4月		
16-3-9-4-1	差紙		状	3月15日		
16-3-9-4-2	相続につき十人扶持麻上下一具贈与達書		状	辰年4月		
16-3-9-4-3	盛之丞相続につき書状		状	2月23日		
16-3-9-4-4	差紙		状	4月23日		
16-3-9-4-5	国元より家名相続願聞済の旨書状		状	4月12日		
16-3-9-4-6	諸藩へ盛之丞相続届下書		状			
16-3-9-4-7	乍恐口上	(弟盛之丞へ名跡讓届下書)	状	文化4年12月		
16-3-9-4-8	差紙		状	4月17日		
16-3-9-4-9	吉次郎名代として貴殿出頭の旨書状		状	3月15日		
16-3-9-4-10	願の趣在所役人へ申達・承知の旨書状		状	3月26日		
16-3-9-4-11	続願書認方につき懸合の旨書付		状			
16-3-9-4-12	盛之丞相続願勘定所にて聞済につき達書		状	3月		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年 月 日	製本冊数	備 考 ・ 参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
16-3-9-4-13	乍恐以書付奉願上候	(盛之丞若年につき手代付添出勤願)	綴		1	※16-3-9-0～16-3-11-11 で1冊
16-3-9-4-14	乍憚以書付奉願上候	(家督相続につき諸事不相替願下書)	状	文化5年2月		
16-3-9-4-15	乍憚以書付奉願上候	(家督相続につき諸事不相替願下書)	状			
16-3-9-4-16	乍恐口上	(盛之丞へ名跡譲につき銅吹方御用相続)	状	文化4年12月		
16-3-10-0	予州銅山筆墨油代懸合返答書類入袋		袋			
16-3-10-1	別子立川両銅山入用物代銀之儀につき伺書写等綴		綴	天保2年～3年		
16-3-10-2	銅山番所入用紙墨等代銀渡方につき用状		綴			
16-3-10-3	別子立川両銅山入用物代銀之儀につき伺書写等綴		綴	天保2年～3年		
16-3-10-4	覚	(別子立川銅山入用燈油・紙・筆・墨代)	状			
16-3-11-1	乍恐以書付御願奉申上候	(別子銅山飯米買請願)	綴	慶応2年11月		
16-3-11-2	乍恐以書付御願奉申上候	(別子立川山村製銅吹許可願)	綴	卯年4月		
16-3-11-3	乍憚口上覚	(銅蔵封印解除願)	状	辰年4月		
16-3-11-4	乍恐以書付奉歎願候覚	(銅売出解禁のこと執成願)	綴	辰年正月		
16-3-11-5	銅吹所之儀荒増奉申上候	(銅吹所由緒書)	綴	辰年2月26日		
16-3-11-6	別子銅市中相庭値段買上願		綴	慶応4年2月		
16-3-11-7	口上書	(銅座役所存続につき上申書写)	状	辰年2月	1	※16-3-11-12～16-3-13-2 で1冊
16-3-11-8	乍恐以書付奉歎願候	(銅座掛屋預残金延納願)	綴	辰年閏4月26日		
16-3-11-9	乍恐以書付奉再願候	(銅座廃止につき銅引当貸金済方願)	綴	辰年閏4月		
16-3-11-10	乍恐以書付御願奉申上候	(別子銅山飯米代銀十三ヶ月延納願)	綴	慶応4年8月		
16-3-11-11	乍恐以書付御願奉申上候	(別子銅・炭運上毎年千両献納執成願)	綴	慶応4年8月		
16-3-11-12	乍恐以書付奉願上候	(造酒株銅山元へ免許願)	綴	慶応4年		
16-3-11-13	乍恐以書付奉願上候	(廻銅不行届につき拝借銅代前金納願)	状	明治元年11月		
16-3-11-14	御定約之覚	(別子荒銅六万九百斤貸上につき)	綴	5月		
16-3-11-15	乍恐以書付御願奉申上候	(御一新につき山手・銅炭運上金貢金願)	綴	明治2年正月		
16-3-11-15	乍恐以書付御願奉申上候	(御一新につき山手・銅炭運上金貢金願)	綴	明治2年正月		
16-3-11-16	乍恐以書付御願奉申上候	(御一新につき山手・運上金貢金願下書)	綴	明治2年正月		
16-3-11-17	乍恐以書付奉願上候	(昨年利益一步半上納願)	綴	明治2年正月		
16-3-11-18	乍恐以書付奉願上候	(旧銅座掛屋借用銀年賦返納願)	綴	明治2年正月		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
16-3-11-19	乍恐以書付御願奉申上候	(別子銅山開拓金札十万両拝借願)	状	巳年正月	1	※16-3-11-12～16-3-13-2 で1冊
16-3-11-20	口上書ヲ以願上候	(奉公人貸金棄捐につき評議願)	綴	巳年3月		
16-3-11-21	予州銅山出役心得書		横半	明治2年7月		
16-3-12	予州銅山銅水関係文書類入袋		袋			
16-3-13-0	買請米上納御下知并両全主法関係文書入袋		袋			
16-3-13-1	買請米上納下知并両全主法歎願留		綴	慶応元年8月～2年6月		
16-3-13-2	買請米歎願一件留		綴	慶応2年8月～3年正月	1	※16-3-13-3～16-3-14-4 で1冊
16-3-13-3	買請米継続等につき歎願書		綴	慶応2年8月		
16-3-14-0	別子銅山買請米代銀并運上銀上納書案入袋		袋			
16-3-14-1	請取申金子之事	(上納金銀請取証文写・下書)	状	文政3年～慶応3年		
16-3-14-2	覚	(金銀上納書写・下書)	状	文政11年～慶応元年		
16-3-14-3	御用金へ相懸候三朱御手当金仕訳書		状	天保12年11月～弘化2年11		
16-3-14-4	御用金へ相懸候三朱御手当金仕訳書		冊	天保13年11月	1	
16-4-2	売物請払帳		冊	安永2年正月～4年12月		
16-4-3	売物請払帳		冊	安永5年正月～7年12月	1	
16-5-1	銅山勘定改為立会祐左衛門下向被仰付候諸用控		冊	享和元年3月	1	※16-5-1～16-5-2-4 で1冊
16-5-2-0	西春末家太兵衛予州銅山勘定改諸用入袋		袋			
16-5-2-1	廻文	(俟約令)	冊	文政8年5月		
16-5-2-2	未盆前後申盆前後部屋勘定帳書抜		横	文政8年5月		
16-5-2-3	寛政十二年より年々出来銅差引帳写		横			
16-5-2-4	辰・巳・午年部屋勘定帳書抜		横	文政5年12月		
16-5-2-5	出来銅積書		冊	文政6年	1	※16-5-2-5～16-5-4-3 で1冊
16-5-3	予州銅山年々諸入目見競控		冊	文政9年7月		
16-5-4-0	予州御銅山用談書入袋		袋			
16-5-4-1	諸役場人別		横			
16-5-4-2	金銀請払之精帳		冊	天保8年5月		
16-5-4-3	金銀請払之精帳		冊	天保8年5月		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年 月 日	製本冊数	備 考 ・ 参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
16-5-4-4	金銀請払之精帳		冊	天保8年5月	1	※16-5-4-4～16-6-1-2で1冊
16-5-4-5	諸色仕成請払之精帳		冊	天保8年4月22日		
16-5-4-6	荷物請払之精帳		冊	天保8年5月		
16-5-5	予州本状控		綴	天保11年～安政7年		
16-5-6	申立書	(別子銅山諸書類綴)	綴	嘉永元年～安政3年		
16-6-1-0	天保十二年予州勘定改覚兵衛持登り帳面類入袋		袋			
16-6-1-1	御米取替帳		横	天保12年5月	1	※16-6-1-3～16-6-2-5 で1冊
16-6-1-2	取替書抜帳		横	天保12年5月		
16-6-1-3	有物勘定帳		横	天保12年5月		
16-6-1-4	有物勘定帳		横	天保12年5月		
16-6-1-5	有物書		横	5月19日		
16-6-1-6	引渡申候現有物書		冊	天保12年6月		
16-6-1-7	金銀有物書		冊	天保12年5月		
16-6-1-8	売場有物書		冊	天保12年5月		
16-6-1-9	米鉄鯨髪種酒有物書		冊	天保12年5月		
16-6-1-10	諸色有物之精帳		冊	天保12年2月		
16-6-1-11	木炭焼之有物書		冊	天保12年5月	1	※16-6-1-3～16-6-2-5 で1冊
16-6-1-12	鏈有物書		冊	天保12年5月		
16-6-1-13	荷物有物書		冊	天保12年6月		
16-6-1-14	御銅諸色有物帳		冊	天保12年5月27日		
16-6-2-0	予州勘定改佐右衛門持登り帳面類入袋		袋			
16-6-2-1	取替書抜帳		横	天保13年5月		
16-6-2-2	手代中取替書抜		横	天保12年5月		
16-6-2-3	御銅諸色請払之写		横	正月～5月		
16-6-2-4	金銀有物書		冊	天保13年5月	1	※16-6-2-6～16-6-3-4 で1冊
16-6-2-5	勘定有物帳		冊	天保13年5月7日		
16-6-2-6	鏈有物書		冊	天保13年4月		
16-6-2-7	金銀有物書		冊	天保13年5月		
16-6-2-8	荷物有物書		冊	天保13年4月		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
16-6-2-9	鉄鯨髪種酒有物書		冊	天保13年4月	1	※16-6-2-6～16-6-3-4 で1冊
16-6-2-10	売場有物書		冊	天保13年4月		
16-6-2-11	御米大炭有物書		冊	天保13年4月		
16-6-2-12	木炭焼之有物書		冊	天保13年4月		
16-6-2-13	御銅諸色有物帳		冊	天保13年5月7日		
16-6-2-14	諸色有物之精帳		冊	天保13年2月		
16-6-3-0	嘉永六年支配人作兵衛予州勘定改之節書 類入袋		袋			
16-6-3-1	再改革義定書写		横	嘉永2年8月		
16-6-3-2	乍恐奉願上候口上	(別子副支配人辞任願)	状	酉年11月		
16-6-3-3	予州銅山用談諸雜記日々録		横	嘉永6年3月		
16-6-3-4	乍憚以一點書申上候	(今沢卯兵衛本家支配人取立願)	綴	3月	1	※16-6-3-5～9 で1冊
16-6-3-5	改革儀定申渡書		綴	嘉永2年8月～6年3月		
16-6-3-6-0	丑四月役頭以下差出書入包紙		包	丑年4月		
16-6-3-6-1	銅売払差引勘定書		状			
16-6-3-6-2	乍恐愚意申上候	(万蔵様当主見習之義等につき上申書)	状			
16-6-3-6-3	卯兵衛本家支配人取立願新右衛門持参につ き申渡		状	丑年5月		
16-6-3-6-4	今沢卯兵衛本家支配人取立願認替差出につ き書状		状	9月22日		
16-6-3-6-5	今沢卯兵衛本家支配人取立之件につき申		状	丑年6月		
16-6-3-6-6	米代歎願後卯兵衛本家支配人取立再願につ き書状		状	7月17日		
16-6-3-7	予州銅山下向諸雜記日々録		横	安政2年6月		
16-6-3-8	口達	(今沢卯兵衛予州勘定改につき)	状	未年5月	1	※16-6-4-1～16-6-5-5 で1冊
16-6-3-9	予州銅山下向諸雜記		横	安政6年4月		
16-6-4-1	申渡	(別子銅山改革申渡下書)	状	申年9月		
16-6-4-2	申渡	(別子銅山俟約申渡下書)	状			
16-6-4-3	別子銅山改革御直書につき請書		状	11月		
16-6-4-4	定	(別子銅山改革定下書)	状			

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
16-6-4-5	申渡	(別子銅山改革につき)	状		1	※16-6-4-1～16-6-5-5 で1冊
16-6-4-6	乍恐御請奉申上候	(別子銅山改革御直書につき)	状	寛政12年11月		
16-6-5-0	友視・覚兵衛下向之節政右衛門へ引渡書 物入袋		袋	天保12年5月		
16-6-5-1	改革議定書之写		冊	天保7年正月		
16-6-5-2	別子銅山改革につき元々役頭本役中請書 名印誌		冊	天保12年5月		
16-6-5-3	口達覚	(別子銅山改革につき)	綴	天保10年9月		
16-6-5-4	御答	(別子銅山改革につき)	綴	天保10年9月		
16-6-5-5	山中儉約申渡覚		綴	天保13年5月	1	※16-6-5-6～16-6-6-4 で1冊
16-6-5-6	予州詰合中江申渡書		綴	天保13年5月		
16-6-5-7	内宅相かまひ候銘々心得方申渡書		綴	寅年5月		
16-6-5-8	御口達之覚	(別子励勤申渡につき請書)	綴	寅年11月6日		
16-6-5-9	別子手代中借財免除につき請書		状	天保12年7月		
16-6-5-10	差上申一札之事	(別子金銀銭札内々取替停止につき)	状	天保12年5月		
16-6-5-11	乍恐書付奉差上候	(別子励勤議定につき)	状	天保12年5月		
16-6-6-0	両銅山諸掛賃銀并諸貸物改革雜記等入袋		袋	天保14年12月	1	※16-6-7-0～16-6-7-15-4 で1冊
16-6-6-1	別子銅山諸賃銀増定		綴	午年正月		
16-6-6-2	吹方炭遣い褒賞控		冊	卯年5月		
16-6-6-3	改革新法諸賃銀定		横半	天保14年11月		
16-6-6-4	歩褒美炭褒美改革書		横半	天保15年正月		
16-6-7-0	銅山雜文書類入袋其一		袋			
16-6-7-1	諸色渡目録		冊	寛延2年12月		
16-6-7-2	乍恐以書付奉願上候	(為替御用銀立取扱願)	状	安政2年7月	1	
16-6-7-3	御達書	(別子諸施設風水被害届書)	冊	安政4年7月		
16-6-7-4	支配人より松山入用本場へ付出候口々書 抜		横半	酉年盆後		
16-6-7-5	乍恐口上	(銅山稼方入用灯油積下し願)	状	慶応元年5月12日		
16-6-7-6	丑年中損益書		冊	寅年3月		
16-6-7-7	川之江建札之写		状	慶応4年正月		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
16-6-7-8-1	覚	(別子諸賃銀値増につき)	綴	亥年	1	※16-6-7-0～16-6-7-15-4 で 1冊
16-6-7-8-2	土州安井銅山	(諸賃銀覚)	状			
16-6-7-9	別子諸願書控		綴			
16-6-7-10	中村上原両地差引書		冊			
16-6-7-11	銅山預り諸役人等音物控		横綴			
16-6-7-12	別子元仕入金借用願之件書状并返答書		状	11月24日・12月		
16-6-7-13	用要談	(銅山買請米代銀之儀につき)	冊	巳年11月		
16-6-7-14	乍恐以書取奉願上候	(旧西条藩田地抵当貸付之件につき)	綴	明治2年5月～5年4月13日		
16-6-7-15-0	未盆後勘定入目精帳四冊入袋		袋			
16-6-7-15-1	金銀請払帳		冊	明治4年11月		
16-6-7-15-2	出来帳		冊	明治4年12月		
16-6-7-15-3	有物帳		冊	明治4年12月		
16-6-7-15-4	売物請払帳		冊	明治4年12月		
16-6-7-16	別子仕入銀拝借願下書		状	10月	1	※16-6-7-16～16-6-9-9 で 1冊
16-6-7-17	覚	(鉋吹方仕法改につき諸積書写)	状			
16-6-7-18	御内伺書	(金・銭札両替方につき)	綴	卯年4月		
16-6-7-19	申渡	(去巳年涌水等にて困窮につき俟約申渡下書)	状		1	※16-6-7-16～16-6-9-9 で 1冊
16-6-7-20-1	銅山勘定惣約仕法下書		綴			
16-6-7-20-2	申渡	(銅山勘定惣約仕法改正申渡下書)	状			
16-6-7-20-3	定	(銅山勘定惣縮メ改正仕法下書)	状			
16-6-7-21	申渡	(銅山勘定惣約仕法改正申渡下書)	状			
16-6-7-22	銅山諸役吟味改につき申渡下書		状			
16-6-7-23	医師下坂につき書状		状	11月12日		
16-6-7-24	覚	(山内難儀人へ遣す銀子書上)	綴	申年9月		
16-6-7-25-1	覚	(伊予米・金東京御蔵納期月達書)	状	巳年10月		
16-6-7-25-2	乍恐以書付奉願上候	(銅山運上一ヶ年金千両当役所へ上納取成願)	状	明治2年12月		
16-6-7-26-1	勘場・炭宿有物材木書上		綴			
16-6-7-26-2	口演	(銅山元差図向晋十郎へ跡役願)	状	12月5日		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
16-6-8-0	宰平持帰り銅山用談書入袋		袋	未年5月20日	1	※16-6-7-16～16-6-9-9 で1冊
16-6-8-1	乍恐以書付奉伺上候	(銅買上代正金にて下渡し願)	状	巳年3月		
16-6-8-2	乍恐以書付奉願上候	(別子銅山札新造につき願書)	状	明治2年5月		
16-6-8-3	乍恐以書付奉願上候	(慶応三年銅代・同二年買請米代清算)	綴	明治2年5月		
16-6-8-4	別子稼人賃銀旧復等諸建白書		状	未年5月		
16-6-8-5	旦那様江披露之書記	(減額給料旧復申渡につき御礼請書)	冊	明治4年5月		
16-6-8-6	覚	(大永・上野・立川三ヶ山諸払入用確書)	状			
16-6-8-7	乍恐以書付奉伺上候	(銅買上代支払い楮幣之件につき)	状	巳年2月		
16-6-8-8	未正月より予州下し金		状	正月～5月		
16-6-8-9	鉾山開採之義等太政官布達写		状	辛未年4月		
16-6-9-0	杢右衛門・嘉右衛門徴罰関係書入袋		袋			
16-6-9-1	申渡覚	(勘定不正につき処罰申渡)	状	2月晦日		
16-6-9-2	嘉右衛門へ申渡書代筆のこと他追申		状			
16-6-9-3	勘気申渡に対する請書		状	享和元年3月		
16-6-9-4	永き差控申渡に対する請書		状	享和元年3月		
16-6-9-5	申渡	(差控赦免)	状			
16-6-9-6	勘気申渡下書		状			
16-6-9-7	覚	(勘気赦免申渡請書)	状	享和3年9月		
16-6-9-8	三右衛門と同役に任ぜられた御礼の返書		状	9月5日		
16-6-9-9	吟味相縮全不正之分		横			
16-6-10-0	今沢卯兵衛予州勘定改持帰り書入袋		袋	文久3年	1	※16-6-10-0～16-6-11-3 で1冊
16-6-10-1	鋪内普請并風雨破損臨時備拝借願書草稿		冊			
16-6-10-2	覚	(讃岐屋弥兵衛取替銀勘定につき)	状			
16-6-10-3	予州銅山出役日記		横半	文久3年5月		
16-6-10-4	配役	(別子銅山)	横綴			
16-6-10-5	今沢卯兵衛勘定改覚書		横半			
16-6-10-6	直段書	(別子諸炭方賃銀等につき)	横	亥年		
16-6-10-7	樹方諸賃定書		横			
16-6-10-8	諸賃銀書	(鋪方)	横	亥年6月		
16-6-10-9	床屋入灰方諸賃定		横			

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
16-6-10-10	炭運賃値増につき願書		状		1	※16-6-10-0～16-6-11-3 で1冊
16-6-10-11	覚	(今沢卯兵衛勘定改につき)	綴	亥年7月		
16-6-11-1	難渋願書下藁	(別子銅山助成歎願書)	冊	天保13年		
16-6-11-2	書付	(別子銅山手当歎願書下書)	冊	享和3年		
16-6-11-3	書付	(一橋家館入御用につき御用定飛脚設置願下書)	冊	享和3年8月		
16-6-11-4	南部御屋敷江差出之下書	(廻銅等仕法改正願)	冊	亥年6月	1	※16-6-11-4～16-6-12-8 で1冊
16-6-11-5	別子銅山助成として釐丹・錫一手買請願下書		冊	寛政3年5月		
16-6-11-6	書付	(別子銅山助成として鉛・釐丹・錫一手買請願下)	冊	亥年11月		
16-6-11-7	願書控	(別子銅山手当歎願書)	冊	享和3年10月		
16-6-11-8	唐紅毛持渡荷物一手買請につき長崎より用状		綴	2月25日		
16-6-11-9	願筋一条につき与四郎長崎下向のこと書状抜書		綴			
16-6-11-10	三品売下の替り銅山手当銀願		状	2月19日		
16-6-11-11	東武認越候書付	(銅山手当として唐紅毛持渡鉛等一手買請願下書)	冊	享和3年		
16-6-11-12	別子銅山手当出願につき下知督促		冊	文化元年4月27日	1	※16-6-11-4～16-6-12-8 で1冊
16-6-12-0	銅山願書之反古他見無用入包紙		包			
16-6-12-1	御米請取御定目之写		状	元禄15年閏8月		
16-6-12-2	口上	(御隠居様預り公用書物持参延引につき)	状	9月23日		
16-6-12-3	一札之事	(別子銅山拝借金引当家質証文返済につき)	状	享保8年3月24日		
16-6-12-4	別子立川御用銅御手当銀加増申渡		状	子年8月		
16-6-12-5	銅直段増減積訳書		冊	未年10月		
16-6-12-6	願書并証文類写	(別子余銅売渡願・御定高取極等につき)	冊	宝暦2年7月～4年12月22日		
16-6-12-7	予州別子立川両御銅山訳書		冊	宝暦13年5月		
16-6-12-8	別子助成銀拝借願		冊	宝暦14年正月～4月		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
16-6-12-9	棹銅代銀御値下已後年々願上候願書之訳書		冊	戌年12月	1	※16-6-12-9～16-6-13-15 で1冊
16-6-12-10	乍恐以書付奉願上候	(別子銅山棹銅代銀下渡願下書)	状			
16-6-12-11	伊予国銅山出銅高等之書付		冊	亥年6月		
16-6-13-0	銅山歎願書入袋		袋			
16-6-13-1	預り申家屋舗之事	(予州備中銅山御用公儀拝借金家質につき)	状	元禄15年3月		
16-6-13-2	乍恐口上書	(大永山銅山付につき裁許願)	状	寛延4年5月		
16-6-13-3-1	覚	(予州銅山掟書之写)	状	申年9月		
16-6-13-3-2	乍恐以書付奉願上候	(銅山付津根山村鬼ヶ城山御林境界見分裁許願)	状	宝暦12年閏4月		
16-6-13-4	乍憚以書付御断申上候	(銅山付上野山炭焼願)	状	宝暦14年6月		
16-6-13-5	覚	(年頭祝儀状廃止等俟約定につき)	状	享和元年3月		
16-6-13-6	覚	(予州銅山下財掟書)	状	寅年10月		
16-6-13-7	預り申金子之事	(代官調達金別子銅山入用名目借用につき)	状	文化12年12月		
16-6-13-8	乍恐奉願上口演之覚	(西条藩札引替願)	状	辰年8月		
16-6-13-9	覚	(端午・歳暮入用銅山包銀より請取につき)	状	申年4月23日～戌年4月28日		
16-6-13-10	御銅有物書		状	戌年7月14日		
16-6-13-11	乍恐以書付奉願上候	(銅山開拓資金拝借願)	状	明治3年2月		
16-6-13-13	予州別子荒銅掛改帳		横半	明治3年		
16-6-13-14	乍恐口上	(吹方拾吹出精につき別段心付拝領願)	状	弘化2年11月		
16-6-13-15	乍憚口上之覚	(立川銅山銅水之儀百姓中より願につき)	綴	辰年正月		
16-6-13-16	松山借用銀書抜		横	寅年～未年	1	※16-6-13-16～16-6-14-4 で1冊
16-6-13-17	予州銅歩付褒美目録帳		横	天保3年4月		
16-6-13-18	酉年中御銅請払書		冊	文久元年12月		
16-6-13-19	申渡	(御用銅御手当銀下渡につき)	状	未年11月		
16-6-13-20	別子銅山湧水損亡等につき本店書状		状			
16-6-13-21	八蔵屋通左右衛門調物之分		状	丑年～申年		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年 月 日	製本冊数	備 考 ・ 参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
16-6-14-0	先祖年始書等入袋		袋		1	※16-6-13-16～16-6-14-4 で1冊
16-6-14-1-1	友昌与州下向万留日記		冊	享保9年正月22日～3月8日		
16-6-14-1-2	予州下り諸事覚書	(立川銅山請負一件につき)	横	寛延2年11月		
16-6-14-2	乍恐謹而御訴訟之事	(長崎唐船荷物銅代物替願につき)	状	元禄7年10月		
16-6-14-3	別子大和間符抜合につき書状		状	12月26日		
16-6-14-4	五月十一番	(別子銅山宛十一番本状)	綴	5月12日	1	※16-6-14-5～16-6-16-2 で1冊
16-6-14-5	一札之事	(別子・立川間符抜合につき)	状	元禄16年9月8日		
16-6-14-6	別子・吉岡両銅山拝借金につき家質差上一件覚書		状			
16-6-14-7	鉄格子ヨリ別子分一番抜戸迄一分一間図		図			
16-6-14-8	一分一間図境杭書付	(別子・立川境杭書付)	状	宝永4年12月24日		
16-6-16-0	銅山雑書入袋其三		袋		1	『住友史料叢書』既刊
16-6-16-1	盆暮御手当銀品目録		横	嘉永2年～安政3年		
16-6-16-2	別子銅山盆前後請払勘定書		横	酉年	1	『住友史料叢書』既刊
17-1-1	年々帳無番		冊	延宝3年正月～元禄9年5月		
17-1-2	年々帳一番		冊	宝永4年正月～6年6月6日	1	『住友史料叢書』既刊
17-1-3	年々諸用留二番		冊	宝永6年正月～享保元年7月	2	『住友史料叢書』既刊
17-2-1	年々諸用留三番		冊	正徳5年正月～享保5年10月	1	『住友史料叢書』既刊
17-2-2	年々諸用留四番		冊	享保5年10月16日～20年6月9日	4	『住友史料叢書』既刊
17-3-1	年々諸用留五番		冊	享保19年7月8日～寛保元年	2	『住友史料叢書』既刊
17-3-2	年々諸用留六番		冊	寛保元年9月～宝暦4年4月	3	『住友史料叢書』既刊
17-4	年々諸用留七番		冊	宝暦4年正月～明和4年12月25日	3	『住友史料叢書』既刊
17-5-1	年々諸用留八番		冊	明和5年正月～寛政3年7月	4	『住友史料叢書』既刊
17-5-2	年々諸用留九番		冊	天明8年正月～寛政6年12月	3	『住友史料叢書』既刊
17-6-1	年々諸用留一〇番		冊	寛政7年正月～文化4年7月	4	『住友史料叢書』既刊
17-6-2	年々諸用留一一番		冊	文化4年正月～13年8月	4	『住友史料叢書』既刊
18-1-1	年々諸用留一二番		冊	文化13年正月～文政10年正月21日	4	『住友史料叢書』既刊

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年 月 日	製本冊数	備 考 ・ 参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
18-2-1	年々諸用留一三番		冊	文政9年正月～天保9年2月7日	4	『住友史料叢書』既刊
18-2-2	年々諸用留一四番		冊	天保7年正月～嘉永2年7月	3	(史料叢書刊行予定)
18-3-1	年々諸用留一五番		冊	嘉永2年正月～文久3年11月	3	(史料叢書刊行予定)
18-3-2	年々諸用留一六番		冊	文久4年正月～明治11年12月16日	2	(史料叢書刊行予定)
19-1-1	銅座御用扣 元禄十五年		冊	元禄15年正月～12月	1	『住友史料叢書』既刊
19-1-2-1	去ル子年より辰年迄五ケ年分長崎廻御用銅高并売直段之書付		冊	正徳3年4月	1	『住友史料叢書』既刊 ※19-1-2-1,4,7,19-2-22 で1冊
19-1-2-4	去ル子年より辰年迄五ケ年分買入銅高并買直段之書付		冊	正徳3年4月		『住友史料叢書』既刊 ※19-1-2-1,4,7,19-2-22 で1冊
19-1-2-7	去ル子年より辰年迄五ケ年分諸国江売出候細工向銅高并売直段之書付		冊	正徳3年4月		『住友史料叢書』既刊 ※19-1-2-1,4,7,19-2-22 で1冊
19-2-22	正徳六年申四月二十九日於飛騨守様被仰付候辰年より去末年迄四ケ年分廻着銅之員数并直段付同代銀高之控帳		冊	正徳6年		『住友史料叢書』既刊 ※19-1-2-1,4,7,19-2-22 で1冊
19-1-2-2	巳ノ年分銅買入高并手山銅登り高代銀書付		冊			※19-1-2-2～9で1冊
19-1-2-3	巳正月より四月十六日迄買入銅高并買直段書付	銅吹屋共	冊	正徳3年4月		
19-1-2-5	子ノ年より巳ノ年迄六ケ年分別子銅過不足高寄		冊			
19-1-2-6	巳年中銅買入高并手山銅登高代銀之書付	泉屋吉左衛門	冊			
19-1-2-8	子年より辰年迄銅買入高山銅登高代銀書付	泉屋吉左衛門	冊	正徳3年5月		
19-1-2-9	亥年丑年銅鉛買入并売高	泉屋吉左衛門	冊		1	※19-1-2-2～9で1冊
19-1-3	古来より銅方万覚帳		冊	正徳2年～享保6年	1	『住友史料叢書』既刊
26-5-9	銅会所公用帳		冊	享保6年		※19-1-3, 26-5-9 で1冊
19-1-4	吹屋仲間銀銅吹分御用留		冊	享保3年9月～12月	1	※19-1-4～11 で1冊
19-1-5	吹分之儀二付存寄書付	大塚屋甚右衛門他	冊	享保3年8月		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
19-1-6	銀銅吹分并吹方入用之覚	大塚屋甚右衛門他	冊	享保3年10月	1	※19-1-4～11 で1冊
19-1-7	申三月四月指引覚書		冊			
19-1-8	吹方請負被仰付にて役人不在京時之存寄書		冊			
19-1-9	出火時銅吹屋共御用提灯脇差所持二付願書等留		冊	正徳6年～延享4年		
19-1-10	吹分之儀付存寄書付	大塚屋甚右衛門他	冊	享保3年8月		
19-1-11	銀銅吹分之儀二付存寄書		綴			
19-2-1	御銀吹分方并吹雑用役所入用御勘定帳	泉屋吉左衛門・多田屋市郎兵衛	冊	正徳5年正月	1	※19-2-1～4 で1冊
19-2-2	未二月分御銀吹分方并吹雑用役所入用御勘定帳	泉屋吉左衛門	冊	正徳5年4月		
19-2-3	未三月分御銀吹分方并吹雑用役所入用御勘定帳	泉屋吉左衛門	冊	正徳5年4月		
19-2-4	正徳四午正月より同極月迄吹立候銅問吹之書付	銅会所	冊	正徳4年		
19-2-5	未正月元禄金御ためし吹并諸入用御勘定帳	泉屋吉左衛門	冊	正徳5年2月	1	※19-2-5～9 で1冊
19-2-6	別子銅申より亥年迄出来高并御用売払方請払留		冊			
19-2-7	江戸連状留		冊	丑年4月		
19-2-8	甚之丞殿権右衛門殿江戸へ内連状之控		冊	丑年4月晦日		
19-2-9	江戸内連状控		冊	卯年3月		
19-2-10	酉年諸国御割合御用銅高并代銀吹賃銀勘定帳	銅吹屋共	冊	享保3年12月	1	※19-2-10～14 で1冊
19-2-11	銅方之諸事留帳		冊	正徳2年6月		
19-2-12	子より辰迄五ヶ年分買入銅并売払銅代銀之書付	泉屋吉左衛門	冊	正徳3年閏5月		
19-2-13	予州別子銅山出来銅売払所値段付	泉屋吉左衛門	冊			
19-2-14	大坂銅吹屋諸事書物控写二番		冊			
19-2-15	銀銅吹分万留牒		冊	正徳4年	1	※19-2-15,17 で1冊

公開史料目録（近世） 2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年 月 日	製本冊数	備 考 ・ 参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
19-2-17	銀銅吹分公用留		冊	正徳4年5月～11月	1	※19-2-15,17 で1冊
19-2-16	長崎公用帳		冊	正徳4年正月15日～8月7日	1	『住友史料叢書』既刊
19-2-18	銀銅吹分公用留		冊	正徳4年11月～5年12月	1	
19-2-19	銅吹屋仲間十七軒諸願御聞済之控		冊	正徳5年～享保6年	1	※19-2-19,20 で1冊
19-2-20	銀銅吹雑用役所諸入用二付存寄書控	泉屋	冊	正徳5年2月		
19-2-21	申之歳賃吹銅一件留帳		冊	正徳6年	1	『住友史料叢書』既刊 ※19-2-21, 20-1-3, 26-5-5 で1冊
20-1-3	申年諸国御割合御用銅高并代銀吹賃銀勘定帳		冊	享保2年3月		『住友史料叢書』既刊
26-5-5	唐人阿蘭陀売棹銅仲ケ間割方帳		冊	正徳2年9月		『住友史料叢書』既刊
19-1-2-1	去ル子年より辰年迄五ケ年分長崎廻御用銅高并売直段之書付		冊	正徳3年4月	1	『住友史料叢書』既刊 ※19-1-2-1,4,7,19-2-22 で 1冊
19-1-2-4	去ル子年より辰年迄五ケ年分買入銅高并買直段之書付		冊	正徳3年4月		『住友史料叢書』既刊
19-1-2-7	去ル子年より辰年迄五ケ年分諸国江売出候細工向銅高并売直段之書付		冊	正徳3年4月		『住友史料叢書』既刊
19-2-22	正徳六年申四月二十九日於飛驒守様被仰付候辰年より去末年迄四ケ年分廻着銅之員数并直段付同代銀高之控帳		冊	正徳6年		『住友史料叢書』既刊
19-3-2	子年諸国御割合銅高并代銀吹賃銀諸入用勘定帳		冊	享保7年4月	1	『住友史料叢書』既刊 ※19-3-2, 20-1-13 で1冊
20-1-13	銅会所公用帳		冊	享保4年正月～12月		『住友史料叢書』既刊
19-3-1	諸国銅足り銀積并別子銅鉸候積書		冊		1	※19-3-1～9 で1冊
19-3-3	去末年分長崎御用銅出来棹銅吹賃銀等勘定帳	大坂銅吹屋中	冊	享保13年10月		
19-3-4	末年持越銅御買上二付銀子請取候家々割方之覚		冊			
19-3-5	享保十年分御買上銅二付家々配分割方帳	泉屋吉左衛門・大坂屋永次郎他	冊	午年12月2日		
19-3-6	乍恐存寄	(当時銅払底につき改革意見書)	冊	元文2年5月		
19-3-7	金銀銅之儀二付乍恐奉申上存寄書	長崎御用銅吹所潮江長左衛門	冊	元文3年正月		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
19-3-8	京坂役人等より対州役人へ銅方用事二付書状写		冊	元文3年	1	※19-3-1～9 で1冊
19-3-9	乍恐奉願上候口上	(地売銅商売継続願下書) 銅吹や十四軒	冊	寛延4年10月		
19-3-10	吹屋公用帳	(一番)	冊	宝暦10年正月	1	
19-3-11	古金銀御尋二付覚書		冊	宝暦12年正月11日	1	※19-3-11～16 で1冊
19-3-12	七郎右衛門二丁目伊丹屋甚右衛門棹銅出入一件		冊	明和元年12月		
19-3-13	別子丸数帳	泉屋吹方	冊	明和7年12月		
19-3-14	別子丸数帳	泉屋吹方	冊	明和8年12月		
19-3-15	吹屋仲ヶ間一件		冊	明和9年8月		
19-3-16	諸山銅丸数・代銀書上	泉屋吉左衛門	冊			
19-3-17	願書控	(泉屋万二郎・先代吉左衛門相論につき)	冊	天明2年2月	1	※19-3-17～20 で1冊
19-3-18	銅預願書并応対之控	(泉屋吉次郎家督相続につき)	冊	寛政3年9月		
19-3-19	銀銅吹分勘定等二付口上控		綴	享保9年6月～9月		
19-3-20	午九月分勘定相立候鉄道具吹子狸革痛代金積書	泉屋吉左衛門	冊	正徳4年9月～5年3月		
19-3-21	吹分所床家独案内		冊	正徳5年8月	1	※19-3-21～19-3-25-6 で1冊
19-3-22	吹元銀請取并灰吹上納	泉屋吉左衛門	冊	正徳6年4月		
19-3-23	京都吹雑用役所諸入用銀等書付		冊	正徳6年4月		
19-3-24	吹分方公用留帳		冊	享保7年3月		
19-3-25-0	銀銅吹分関係文書類入袋其一		袋			
19-3-25-1	吹方御掛板案書		冊	寛政12年9月		
19-3-25-2	書付留	(吹所細工人怪我届方につき)	冊	明和5年9月		
19-3-25-3	銅方御取メ之儀二付申上候書付		冊			※19-3-21～19-3-25-6 で1冊
19-3-25-4	銀銅吹分雑用・役所人数飯代等勘定覚		冊			
19-3-25-5	戌十一月銀銅吹分御勘定帳	大塚屋甚右衛門他	冊	享保3年12月	1	※19-3-21～19-3-25-6 で1冊
19-3-25-6	銀銅吹分并吹方入用之覚	大塚屋甚右衛門他	冊	享保3年10月		
19-3-26-0	銀銅吹分関係文書類入袋其二		袋		1	※19-3-26-0～19-3-27-18-7 で1冊
19-3-26-1	銀銅吹分御用吹屋共請負二仕候儀二付尋書		状	7月		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
19-3-26-2	諸雑用銀高寄之覚	(吹分雑用銀・役所入用銀)	状	戌年8月	1	※19-3-26-0～19-3-27-18-7 で1冊
19-3-26-3	覚	(吹高増加にても諸入用減少せざる旨上申)	状	9月		
19-3-26-4	銀銅吹分上納并吹方諸入用覚	大塚屋甚右衛門他	状	享保3年9月		
19-3-26-5	宝永三宝四宝上銀鉛より出候銀気差引覚	泉屋吉左衛門・丸銅屋治郎兵衛	状	戌年9月		
19-3-26-6	金銀御用掛り諸役人書上		状	戌年10月		
19-3-26-7	口上之覚	(銀吹分御用につき差入家質) 新右衛門町家主忠助、五人組伝左衛門他	状	享保3年10月		
19-3-26-8	乍憚口上	(阿蘭陀渡銅につき) 泉屋吉左衛門・丸銅屋治郎兵衛	状	戌年10月8日		
19-3-26-9	口上	(灰吹銀納方につき返答書) 銅吹屋、組頭共	状	戌年10月		
19-3-26-10	内状戌十月十二日	(遣金調達差下等の旨書状) 大坂屋甚之丞	状	戌年10月12日		
19-3-26-11	真吹炭試		状			
19-3-26-12	覚	(銅吹用鉛入用高、山出し鉛相場書上) 大さかや久右衛門・丸銅や次郎兵衛	状	午年5月		※19-3-26-13 欠番
19-3-26-14	覚	(吹分用炭他諸品、同代銀書上)	状			
19-3-26-15-1	覚	(三宝銀吹分内訳)	状			
19-3-26-15-2	吹分御用関係書付銘書		状			
19-3-26-15-3	証文請取書断簡	泉や・丸銅や	状	戌年10月12日		
19-3-26-16	諸国銅山出方等二付存寄申上候覚		状			
19-3-26-17	鉛合吹覚雛形	銀座何之誰	状	戌年		
19-3-27-0	銀銅吹分関係文書類入袋其三		袋			
19-3-27-1	銀銅吹分上納并吹分諸入用之覚	大塚屋甚右衛門他	状	享保3年8月		
19-3-27-2-1	乍憚口上	(阿蘭陀渡銅につき断書、吹方伺書控) 泉屋吉左衛門・丸銅屋治郎兵衛	状	戌年10月		
19-3-27-2-2	乍憚口上	(阿蘭陀渡銅につき断、棹銅吹立方につき伺) 泉屋吉左衛門・丸銅屋治郎兵衛	状	戌年10月6日		
19-3-27-3	乍憚口上	(大坂吹場取建につき願書) 大塚屋甚右衛門他	状	戌年10月		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
19-3-27-4-1	起請文前書	（銀銅吹分御用につき誓詞下書）大塚屋甚右衛門他	状	享保3年10月16日	1	※19-3-26-0～19-3-27-18-7 で1冊
19-3-27-4-2	起請文前書	（銀銅吹分御用につき誓詞下書）惣吹屋十三人	状	享保3年10月		
19-3-27-5	証文之事	（銀吹分御用引請・家質差入につき）泉屋吉左衛門・証人誰	状	享保3年10月21日		
19-3-27-6	書入屋敷覚	（銀銅吹分御用引請につき）泉屋吉左衛門	状	享保3年10月14日		
19-3-27-7	今度書入屋鋪覚	（泉屋吉左衛門書入分書上）	状			
19-3-27-8	差上申拝借銀証文之事	（銀銅吹分御用につき）大塚屋甚右衛門他	状	享保3年10月		
19-3-27-9	書入申家屋鋪之覚	（銀銅吹分御用中拝借銀引当家質証文控）大塚屋甚右衛門他	状	享保3年10月		
19-3-27-10	口上之覚	（銀吹分御用二付差入家質に相違なき旨）上槇町家主吉左衛門他	状	享保3年10月		
19-3-27-11	此度書入家屋敷之覚	（大坂諸屋敷の分）大塚屋甚右衛門他	状	戌年10月		
19-3-27-12	覚	（吹分御用につき吹屋共誓詞取置度訳申上書）丸銅屋次郎兵衛他	状	戌年10月		
19-3-27-13	乍恐口上	（銀銅吹分御用引請につき御目見願書）泉屋吉左衛門他	状	戌年10月		
19-3-27-14	諸国銅山出方・細工向銅二付存寄書控	泉屋吉左衛門他	状	戌年10月		
19-3-27-15	覚	（銀銅吹分御用につき銅吹屋組頭へ申渡書写）	状	戌年10月		
19-3-27-16	乍憚口上	（銀鉛含吹床前へ銀座立会の旨存寄書下書）泉屋吉左衛門他	状	戌年10月		
19-3-27-17-1	乍憚口上覚	（銀銅吹分御用請負につき存寄書）泉屋吉左衛門他	状	戌年10月		
19-3-27-17-2	吹分請負二付書状下書	丸銅や次郎兵衛他	状	10月14日		
19-3-27-17-3	口上之覚	（吹屋熊野屋彦太夫につき存寄書）泉屋吉左衛門他	状	戌年10月		
19-3-27-17-4	覚	（銀銅吹分請負につき伺書下書）泉屋吉左衛門他	状	戌年10月		
19-3-27-17-5	吹分御用留下書		状			

「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
19-3-27-17-6	口上覚	(銀銅吹分御用請負につき)	状		1	※19-3-26-0～19-3-27-18-7 で1冊
19-3-27-17-7	覚	(銀銅吹分請負につき伺書下書)	状	戌年10月		
19-3-27-17-8	銀銅吹分二関スル書付下書類		状			
19-3-27-18-1	口上	(灰吹銀納方につき返答書下書) 銅吹屋組 頭共	状	戌年10月		
19-3-27-18-2	預り申銀子之事	(吹分御用中拝借銀証文雛形)	状			
19-3-27-18-3	乍恐口上	(銀銅吹分御用引請につき御目見願書下)	状			
19-3-27-18-4	銀座より吹屋疑の件につき杉岡氏と懸合 留		状	10月19日～21日		
19-3-27-18-5	乍恐口上	(別子銅山戌年割合定高二不足につき断書 下書)	状	戌年10月		
19-3-27-18-6	覚	(別子銅山出銅減少の訳書)	状		3	
19-3-27-18-7	乍恐口上	(銀銅吹分関係書類断簡) 泉屋吉左衛門他	状	戌年10月		
19-4-1	役所書上大勘定	住友吉次郎	冊	文化11年4月	1	※19-4-2,3 で1冊
19-4-2	文化十四年拝借銅積算用控		綴		1	
19-4-3	吹銅拝借之一件		冊	文化14年初秋	1	※19-4-4～6 で1冊
19-4-4	御用諸山銅糺吹留帳	住友吹所	冊	文政5年		
19-4-5	諸入目出来銅書抜		横	文政8年～天保元年		
19-4-6	丑年午年拝借銅積算用控		冊	文政10年8月		
19-5-1	御用棹銅代銀請取帳六番	泉屋吉治郎	冊	安永2年1月～天明元年12月	1	
19-5-2	御用棹銅代銀請取帳七番	泉屋万二郎	冊	天明2年正月～寛政8年	1	
19-5-3	御用棹銅代銀請取帳	泉屋吉治郎	冊	寛政8年1月～文化2年12月	1	
19-5-4	御用棹銅代銀請取帳九番	泉屋吉治郎	冊	文化3年正月～文政7年2月	1	
19-5-5	御用棹銅代銀請取帳十番	住友吉次郎	冊	文政7年正月～慶応4年3月	2	
19-6-1	銅座方要用控一番		冊	元文3年4月～5月	1	『住友史料叢書』既刊
19-6-2	銅座方要用控二番		冊	元文3年5月～10月	1	『住友史料叢書』既刊
19-6-3	銅座方要用控三番		冊	元文3年10月～4年8月	1	『住友史料叢書』既刊
19-6-4	銅座方要用控四番		冊	元文4年8月～5年2月	1	『住友史料叢書』既刊
19-6-5	銅座要用控五番		冊	元文5年2月～12月	1	『住友史料叢書』既刊
19-6-6	銅座方要用控六番		冊	寛保元年正月～2年正月	1	『住友史料叢書』既刊

「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
19-6-7	銅座要用控七番		冊	寛保2年正月～3年12月	1	『住友史料叢書』既刊
19-6-8	銅座要用控八番		冊	寛保4年正月～延享2年6月	1	『住友史料叢書』既刊
19-6-9	銅座要用控九番		冊	延享2年6月～3年12月20日	1	『住友史料叢書』既刊
19-6-10	銅座要用控一〇番		冊	延享4年正月～12月	1	『住友史料叢書』既刊
19-6-11	銅座要用控一一番		冊	延享5年正月～12月	1	『住友史料叢書』既刊 ※19-6-11,12 で1冊
19-6-12	銅座要用控一二番		冊	寛延2年正月～12月		『住友史料叢書』既刊
19-2-21	申之歳賃吹銅一件留帳		冊	正徳6年	1	『住友史料叢書』既刊 ※19-2-21, 20-1-3, 26-5-5 で1冊
20-1-3	申年諸国御割合御用銅高并代銀吹賃銀勘定帳		冊	享保2年3月		『住友史料叢書』既刊
26-5-5	唐人阿蘭陀売棹銅仲ケ間割方帳		冊	正徳2年9月		『住友史料叢書』既刊
20-1-11	銅会所公用帳控	泉屋	冊	享保2年正月～12月	1	『住友史料叢書』既刊 ※20-1-11,26-5-6 で1冊
26-5-6	銅会所万覚帳		冊	享保2年		『住友史料叢書』既刊
20-1-12	銅会所公用帳	泉屋	冊	享保3年正月～12月	1	『住友史料叢書』既刊
19-3-2	子年諸国御割合銅高并代銀吹賃銀諸入用勘定帳		冊	享保7年4月	1	『住友史料叢書』既刊 ※19-3-2, 20-1-13 で1冊
20-1-13	銅会所公用帳		冊	享保4年正月～12月		『住友史料叢書』既刊
20-2-9-10	銅異国売覚帳		冊		1	『住友史料叢書』既刊
20-2-9-11	京江戸大坂長崎屋舗之控		冊	享保10年9月	1	『泉屋叢考』第15輯
20-3-3-4	長崎御用銅御値増願書（長崎御用銅御値増願書）	泉屋吉左衛門	冊	宝暦4年10月	1	※20-3-3-4～20-3-4-12で1冊
20-3-3-5	乍恐訴状並新規之企ヲ…（訴状並異国人へ銅売渡申者御除二付箇条書）		冊			
20-3-4-0	（吹分所銅会所関係書類入袋其三）		袋			
20-3-4-1	口上（銅吹所細工人怪我措置方問合二付）	大坂屋久左衛門他	状	明和5年9月21日		
20-3-4-2	乍恐以書付奉申上候（吹所細工人怪我訴訟之訳御尋二付上申書下書）	泉屋吉左衛門代兵右衛門	状			

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
20-3-4-3	買請吹銅代銀請払帳（買請吹銅代銀請払帳）	吹所	横	万延元年12月～文久2年2月	1	※20-3-3-4～20-3-4-12で1冊
20-3-4-4	（仰渡御口上書請取書）	板屋孫三郎代太兵衛他	横			
20-3-4-5	乍恐以書付奉願上候（旧銅座吹銅切手引当住友貸付銀返済願）	近江屋半兵衛、銭屋丈助他	状	慶応4年5月		
20-3-4-6	覚（吹炭使用高平均覚）		状	戌年正月～6月		
20-3-4-7	御請（吹所差配役仰付二付請書）	松田又右衛門	状	4月8日		
20-3-4-8	吹目録（吹目録）		状	8月24日～25日		
20-3-4-9	（紅毛船五島沖難破等報告書状）	同義右衛門	状	9月17日		
20-3-4-10	（長崎銅蔵所支配人名目御尋二付申上書状）	儀右衛門	状	17日		
20-3-4-11	（長崎銅蔵所給銀雑用銀拾貫目渡方申渡書）		状	寅年5月		
20-3-4-12	（銅細工職人調）		状			
20-4-1	上棹銅帳		冊	貞享4年正月～元禄11年12月	1	『住友史料叢書』既刊
20-5-1	銅座公用留 元禄一四		冊	元禄14年3月～15年正月	2	『住友史料叢書』既刊
20-5-2	銅座御用扣 元禄一六～宝永五		冊	元禄16年正月～宝永5年12月	1	『住友史料叢書』既刊
20-5-5	銅座掛屋御用留	住友吉次郎	冊	文政2年6月～安政2年6月	1	
22-1-1	場帳 文政七～同 八		冊	文政7年1月～8年12月11日	⑦	※特例で一度に全冊閲覧できます。
22-1-2	場帳 天保五～同 八		冊	天保5年2月21日～8年12月晦日	⑧	※特例で一度に全冊閲覧できます。
22-1-3	万庭帳 文化九～同 一三		冊	文化9年7月15日～13年10月11日	⑪	※特例で一度に全冊閲覧できます。
22-2-1	万庭帳 寛政一〇～享和四		冊	寛政10年1月1日～享和4年正月3日	⑫	※特例で一度に全冊閲覧できます。
22-2-2	万庭帳 文化五～同 九		冊	文化5年4月25日～9年7月16日	⑫	※特例で一度に全冊閲覧できます。
23-1-1	金銀引替御用留一番	住友両替店	冊	文政3年8月～7年7月13日	2	

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年 月 日	製本冊数	備 考 ・ 参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
23-1-2	金銀引替御用留二番	住友両替店	冊	文政7年9月13日～天保9年10月20日	2	
23-1-3	金銀引替御用留四番	住友両替店	冊	天保14年1月6日～万延元年	1	
23-1-4	金銀引替御用留五番	住友	冊	万延2年1月～慶応3年6月	1	
23-2-1	三河口代官掛屋御用諸控帳		冊	文化7年8月～10年3月28日	1	※23-2-1,2 で1冊
23-2-2	倉敷代官大原支配所年貢上納掛屋用書控二番		冊	文化10年3月～11年7月		
23-2-3	御用金一条之控		冊	文化10年7月～12年12月19日	1	※23-2-3～6 で1冊
23-2-4	御用金一件之控		冊	天保14年7月6日～10月		
23-2-5	御用金一条諸用留并江戸表上納一件諸用控		冊	安政7年1月		
23-2-6	御用金一件控		冊	元治元年9月～慶応2年4月		
23-2-7	御進発御用金一件		冊	慶応2年4月～3年4月	1	※23-2-7～15 で1冊 ただし、10,12,13は別冊
23-2-8	新金銀引替御用留	住友吉次郎	冊	文政3年9月～11月		
23-2-9	本両替仰渡書		冊	文化5年12月		
23-2-11	十人両替方行司入諸用控		冊	文政12年8月		
23-2-14	十人両替一件諸事控	泉屋甚次郎	冊	文政12年9月		
23-2-15	掛屋手控	(大坂東・西地方役所) 作兵衛	冊	天保8年10月～9年1月		※23-2-16-0～35 で1冊
23-2-10	本両替諸用之留五番	住友	冊	文政8年1月～12年12月	1	
23-2-12	十人両替方御用留一番	豊住友	冊	文政12年8月29日～9月	1	
23-2-13	十人両替方御用留二番	豊住友	冊	天保3年5月1日～5年9月1日	1	
23-2-16-0	伊達用袋		袋/包		1	
23-2-16-1	相渡申質地証文之事	武州橘樹郡池上新田名主太郎左衛門他	状	天保9年11月		
23-2-16-2	覚	(元手金借用証文加判につき) 錫屋治郎吉代常七他	冊	天保12年10月		
23-2-16-3	借用申金子之事	砂糖問屋伊達屋治郎吉、支配人徳兵衛他	状	天保12年11月		
23-2-16-4	借用申金子之事	砂糖問屋伊達屋治郎吉、支配人徳兵衛他	冊/状	天保12年11月		
23-2-16-5	借用申金子之事	(伊達屋治郎吉貸付金滞一件綴)	冊	天保12年11月～嘉永5年3月		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
23-2-16-6	借用申金子之事	借用人伊達治郎吉、支配人徳兵衛他	状	天保12年11月	1	※23-2-16-0～35 で1冊
23-2-16-7	覚	（金子受取）伊達	状	辰年7月		
23-2-16-8	一札之事	（為替日歩滞銀勘定方）伊達屋治郎吉	状	弘化2年9月		
23-2-16-9	差入申一札之事	（両替町本店借入金再度延引聞届につき） 伊達次郎吉、支配人徳兵衛・林兵衛	状	弘化2年10月		
23-2-16-10	差入申一札之事	（伊達屋治郎吉借金返済引継につき）治郎 吉跡相続人伊達屋徳兵衛	状	弘化2年12月		
23-2-16-11	差入申一札之事	（伊達屋治郎吉借金返済引継につき）治郎 吉跡相続人伊達屋徳兵衛	状	弘化2年12月		
23-2-16-12	一札之事	（為替金御取替之儀につき）伊達屋浅之助	状	弘化4年7月		
23-2-16-13	覚	（大坂表より之為替取替金借用証文）伊達 屋徳兵衛、林兵衛事紀伊国屋惣左衛門	状	嘉永2年正月		
23-2-16-14	一札之事	（預り金返済期日）伊達屋徳兵衛	状	嘉永2年2月4日		
23-2-16-15	一札之事	（対談金返納猶予につき）伊達屋徳兵衛	状	嘉永3年3月、4月		
23-2-16-16	差入申一札之事	（借用残金返済方）伊達屋徳兵衛	状	嘉永3年4月10日		
23-2-16-17	借用申金子之事	伊達屋徳兵衛跡相続人紀伊国屋徳兵衛	状	嘉永3年5月		
23-2-16-18	一札之事	（伊達屋徳兵衛旧借残金半額勘弁につき） 伊達徳兵衛跡相続人紀伊国屋徳兵衛	状	嘉永3年5月		
23-2-16-19	差入申引請一札之事	（旧借残金返済につき）借主紀伊国屋徳兵 衛、評判紀伊国屋宇左衛門	状	嘉永4年2月		
23-2-16-20	覚	（伊達屋治郎吉借金大坂加判人へ掛合依頼 方願書）紀伊国屋徳兵衛	状	嘉永4年9月		
23-2-16-21	差入申一札之事	（伊達屋治郎吉借金大坂加判人へ掛合依頼 一件）紀伊国屋徳兵衛	状	嘉永4年9月		
23-2-16-22	差入申一札之事	（伊達屋治郎吉借金大坂加判人へ掛合依 頼）紀伊国屋徳兵衛	状	嘉永4年9月		
23-2-16-23	入置申対談証文之事	（伊達屋旧借残金五十年賦返済につき）住 友吉次郎支配人又兵衛	状	嘉永4年9月		
23-2-16-24	為取替一札之事	（伊達屋治郎吉旧借残金につき）紀伊国屋 徳兵衛	状	嘉永4年9月		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
23-2-16-25	為取替一札之事	（伊達屋治郎吉旧借残金につき）紀伊国屋徳兵衛	状	嘉永4年9月	1	※23-2-16-0～35 で1冊
23-2-16-26	差上申一札之事	（先代旧借残金返済減額につき）紀伊国屋徳兵衛	状	嘉永4年9月		
23-2-16-27	入置申対談証文之事	（伊達屋旧借残金五十年賦返済につき）住友吉次郎支配人又兵衛	冊	嘉永4年9月		
23-2-16-28	伊達屋治郎吉旧借財一件綴	紀伊国屋徳兵衛	冊	嘉永4年9月～5年10月晦日		
23-2-16-29	伊達屋治郎吉旧借残金十年居置二付約定	住友吉次郎、代源兵衛、喜十郎	状	嘉永4年12月		
23-2-16-30	為取替規定証文之事	（伊達屋旧借残金大坂加判人掛合につき）泉屋又兵衛	冊	嘉永4年12月		
23-2-16-31	一札之事	（伊達屋融通損金無利息五十年賦返済につき）住友吉次郎、代源兵衛、又兵衛他	状	嘉永5年3月		
23-2-16-32	伊達屋治郎吉旧借残金大坂加判人へ掛合依頼控	紀伊国屋新兵衛方同居徳兵衛	冊	嘉永5年3月		
23-2-16-33	一札之事	（伊達屋治郎吉借金大坂加判人へ掛合）紀伊国屋新兵衛同居徳兵衛	状	嘉永5年3月		
23-2-16-34	伊達屋治郎吉残借始末二付打合来状	井伊又兵衛	冊	嘉永5年5月		
23-2-16-35	年賦金割渡一件書状并年賦金受取覚	紀伊国屋徳兵衛	状	嘉永5年7月	1	※23-2-16-36～54 で1冊
23-2-16-36	伊達屋治郎吉旧借財内談一条二付書状	紀伊国屋徳兵衛	状	嘉永5年8月1日・4日		
23-2-16-37	借用申金子之事	（伊達屋徳兵衛旧借残金新規借用証文）伊達屋徳兵衛跡相続人紀伊国屋徳兵衛	状	嘉永5年8月4日		
23-2-16-38	年賦金証文認方依頼書状	紀伊国屋徳兵衛	状	嘉永5年8月17日		
23-2-16-39	覚	（町内桜井屋相手取の伊達屋訴状請取）瓦町二丁目	状	嘉永5年8月23日		
23-2-16-40	伊達屋治郎吉旧借財善後処置二付書状	紀伊国屋新兵衛方徳兵衛	冊	嘉永5年8月		
23-2-16-41	伊達屋治郎吉預ケ金出入出訴二付諸打合せ書状	井伊又兵衛	冊	嘉永5年8月		
23-2-16-42	乍恐御訴訟	（伊達屋治郎吉預ケ金）住友吉次郎代茂兵衛	冊	嘉永5年8月		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
23-2-16-43	口上	（伊達屋預ケ金訴訟之桜井屋不実につき引合願）住友吉次郎代茂兵衛	冊	嘉永5年9月26日	1	※23-2-16-36～54 で1冊
23-2-16-44	口上	（伊達屋預ケ金訴訟之錫屋不実につき引合願）住友吉次郎代茂兵衛	冊	嘉永5年9月26日		
23-2-16-45	覚	（丑・寅両年年賦金請取）	状	嘉永5年9月		
23-2-16-46	御用向左之申上候	（紀伊国屋徳兵衛家出之件等肝要向書状）	冊	嘉永5年10月14日		
23-2-16-47	口上覚	（伊達屋旧借加判代人江戸表にて動静報告書）江戸中橋店茂兵衛	綴	嘉永5年10月19日		
23-2-16-48	一札之事	（妻子暮シ方手当金請取につき）紀伊国屋徳兵衛	状	嘉永5年10月晦日		
23-2-16-49	口上之覚	（借財引当之菱垣廻船株等差戻方につき）紀伊国屋徳兵衛代善蔵	状	嘉永5年10月		
23-2-16-50	口上之覚	（紀伊国屋徳兵衛行方不明につき）紀伊国屋徳兵衛手代善蔵	状	嘉永5年10月		
23-2-16-51	覚	（同居人徳兵衛行方不存につき）八丁堀新兵衛他	状	嘉永5年10月		
23-2-16-52	覚	（同居人徳兵衛行方不存につき）八丁堀新兵衛他	冊	嘉永5年10月		
23-2-16-53	人別写書	（伊達屋店預り人徳兵衛并相続人徳兵衛人別写）名主三郎治代忠七	綴	嘉永5年10月		
23-2-16-54	口上	（紀伊国屋徳次郎身元不審につき引合願）住友吉次郎代茂兵衛	冊	嘉永5年11月4日		
23-2-16-55	伊達屋治郎吉取替金取立差纏二付江戸店来状綴	江戸中橋詰又兵衛	綴	嘉永5年11月13日～12月26日	1	※23-2-16-55～64 で1冊
23-2-16-56	一札	（紀伊国屋徳次郎引合書不当持帰りにつき）錫屋次郎吉他	冊	嘉永5年11月14日		
23-2-16-57	口上	（伊達屋徳兵衛不審につき訴訟相手引合願并返答書）住友吉次郎代茂兵衛	綴	嘉永5年11月16日		
23-2-16-58	覚	（伊達屋治郎吉旧借残金十年賦返済金請取覚案文）	状	嘉永5年		
23-2-16-59	紀伊国屋徳兵衛来信綴		綴	4月14日～11月22日		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
23-2-16-60	紀伊国屋徳兵衛融通金返済方二付書状	伊達屋源右衛門	状	10月23日	1	※23-2-16-55～64 で1冊
23-2-16-61	為取替年賦金対談証文事	(伊達屋治郎吉旧借残金)	状			
23-2-16-62	一札之事	(伊達屋治郎吉旧借残金年賦返済金請取)	状			
23-2-16-63	一札之事	(借金返済紀伊国屋徳兵衛引請につき)	状	弘化2年10月		
23-2-16-64	借用申金子之事	(家業用につき) 伊達屋治郎吉他	状	嘉永3年		
23-2-17-0	掛屋両替関係書類入袋		袋		1	※23-2-17-0～24 で1冊 ※23-2-17-11 欠番
23-2-17-1	分銀請取帳	大森官蔵	横半	明和3年11月		
23-2-17-2	南鐐二朱銀通用二十五両差之次第旧記書 抜写		冊	天明5年12月18日～6年12月26日		
23-2-17-3	証文入	(京屋文蔵関係証文)	状	寛政5年10月		
23-2-17-4	年賦銀請取之通	住友勘定場	横	文政7年		
23-2-17-5	東西御役所印鑑帳	掛屋	横半	天保9年2月		
23-2-17-6	十人両替より願書之写	(小判売買二南鐐二朱銀差交相止につき)	冊	天保10年5月12日		
23-2-17-7	通用立会皆小判二立戻り一件口達之写		冊	天保10年5月		
23-2-17-8	乍恐口上	(一分銀引替不進につき) 住友甚兵衛名代 重岡真兵衛他	状	天保10年5月		
23-2-17-9	乍恐口上	(二朱銀引替進方につき) 十人両替屋共	冊	天保10年5月26日		
23-2-17-10	乍恐口上	(一分銀差交り売買取引仕度旨伺につき)	冊	天保10年5月		
23-2-17-12	皆小判売買之願書差出候件二付書状	三井組	状	6月1日		
23-2-17-13	口達	(南鐐引替につき) 行司	状	天保10年6月		
23-2-17-14	口達	(上方金相場不落につき) 行司	綴	亥年6月5日		
23-2-17-15	乍恐口上	(上方金相場下落之口達につき) 炭彦他	状	天保10年7月9日		
23-2-17-16	被仰渡御請証文之事	(金相場下落にて両替方につき) 十人両替 炭屋彦五郎他	綴	天保10年7月12日		
23-2-17-17	被仰渡御請証文之事	(金相場下落にて両替方につき) 十人両替 炭屋彦五郎他	状	天保10年8月5日		
23-2-17-18-0	御掛屋書物入袋		袋	天保14年		
23-2-17-18-1	御役所銀銅座役所へ貸付為取扱候儀二付 申付書	磯矢與一兵衛、田中源右衛門	状	文政12年12月		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年 月 日	製本冊数	備 考 ・ 参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
23-2-17-18-2	一札之事	（蒔田知行所大川筋普請上納手形再発行につき）摂州豊嶋郡熊野田村庄屋吉左衛門他	状	天保14年4月	1	※23-2-17-0～24 で1冊
23-2-17-18-3	摂州三カ村御国役手形紛失二付手形書替前例調書		状	文化12年12月～13年8月		
23-2-17-18-4	文化年中国役請取手形紛失二付	鴻池屋庄十郎	状	4月10日		
23-2-17-19	借用銀延年賦返納願		状	戌年		
23-2-17-20	借入金返済方二付	山城飛作	状	11月28日		
23-2-17-21-1	請取申米之事	勘定所	状	申年12月		
23-2-17-21-2	松山米勘定書		状	申年7月14日		
23-2-17-22	国元役人役替二付	石井半兵衛	状	6月4日		
23-2-17-23	勘定書	篠山元ノ所	状	辰年11月		
23-2-17-24	御用金譲り渡二付願書雛形		冊		1	※23-2-17-25～23-2-22 で1冊
23-2-17-25	山形様年賦請取通		横	文久2年12月～慶応元年12		
23-2-17-26-1	大坂住友通		袋	文政7年		
23-2-17-26-2	覚	（金札一両御引替願）西大組第十六区小堀江表通二丁目本木栄助	状	明治6年6月17日		
23-2-17-26-3	口答	（三井組へ返礼相済につき）本家店	状	5月20日		
23-2-17-26-4	覚	（預銀上納申付につき）川崎材木蔵役所	状	戌年11月14日		
23-2-17-26-5	御顔付		状			
23-2-18	升源殿休店二付不渡一件	（掛屋両替関係書類 其二）	袋	（文政9年）		
23-2-18	江戸升屋源四郎不渡手形等綴		綴	（文政9年）		
23-2-18	江戸升屋源四郎休店一件綴		綴	（文政9年）		
23-2-19	酉年中諸勘定精帳		冊			
23-2-20	勝屋弥太郎様一件二付本多日向守様へ願書写		冊	嘉永6年5月		
23-2-21	三井組預り銀引当掛屋敷之覚		冊	嘉永元年		
23-2-22	差上申引当之事	（田安家掛屋継続につき家屋敷引当証文）	冊	弘化2年6月		
23-5-1	勤方帳	泉屋	冊	宝暦10年正月	1	『泉屋叢考』第23輯
23-6-1	宝永六年日記		冊	宝永6年正月～7年12月	1	『住友史料叢書』既刊
23-6-2	元方帳	泉屋吉左衛門	冊	寛延3年12月～天明3年12月	1	

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年 月 日	製本冊数	備 考 ・ 参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
25-1-1	浅草米店万控帳		冊	文政6年5月～安政3年9月	2	『住友史料叢書』既刊
25-1-2	浅草米店万控帳続		冊	安政3年正月～明治2年正月	1	『住友史料叢書』既刊
25-2-1	辰歳江戸公用帳		冊	正徳2年3月～5月	1	『住友史料叢書』既刊
26-4-1	長崎下銅公用帳一番		冊	正徳2年3月～8月	1	『住友史料叢書』既刊
26-4-2	長崎公用帳二番		冊	正徳3年閏5月～10月	1	『住友史料叢書』既刊
26-4-3	長崎公用帳三番		冊	正徳2年9月	1	『住友史料叢書』既刊
26-4-4	長崎公用帳五番		冊	正徳2年11月	1	『住友史料叢書』既刊
26-4-5	長崎下シ銅御用二付御番所へ差上候書付写		冊	辰年3月～12月28日	1	『住友史料叢書』既刊
19-2-21	申之歳賃吹銅一件留帳		冊	正徳6年	1	『住友史料叢書』既刊 ※19-2-21, 20-1-3, 26-5-5 で1冊 『住友史料叢書』既刊
20-1-3	申年諸国御割合御用銅高并代銀吹賃銀勘定帳		冊	享保2年3月		
26-5-5	唐人阿蘭陀売棹銅仲ケ間割方帳		冊	正徳2年9月	1	『住友史料叢書』既刊
20-1-11	銅会所公用帳控	泉屋	冊	享保2年正月～12月	1	『住友史料叢書』既刊 ※20-1-11, 26-5-6 で1冊 『住友史料叢書』既刊
26-5-6	銅会所万覚帳		冊	享保2年		
19-1-3	古来より銅方万覚帳		冊	正徳2年～享保6年	1	『住友史料叢書』既刊 ※19-1-3, 26-5-9 で1冊
26-5-9	銅会所公用帳		冊	享保6年		
24-5-44	諸方抱屋鋪画図細見帳		冊	寛政9年7月改	1	
26-5-1	（南部銅差下欠過請負之儀二付御答書之写）	石井重右衛門、□岡五右衛門	冊	寅年（明和7力）正月	1	※26-5-1～4, 7, 8, 10, 12 で1冊
26-5-2	長崎御店会所入用積書		冊	寅年（宝暦8力）7月		
26-5-3	丑年仲ケ間銅割方帳		冊			
26-5-4	（唐、紅毛へ銅渡方凡積り之書付）		冊	（宝暦8年）		
26-5-7	異国へ被遣候銅之儀二…（異国へ被遣候銅之儀二付存寄之書付）	銀座年寄後藤四郎三郎、磯野八郎兵衛	冊	2月		
26-5-8	辰年より末年迄棹銅下…（申より丑年迄割合銅并棹銅出来並阿唐渡銅高）		冊	正徳2年～享保6年		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
26-5-10	銅方御請負之義二付願…（借銀家賃並證文写、仲間申合並家賃奥書連判留）		冊	享保10年正月	1	※26-5-1～4,7,8,10,12で1冊
26-5-12	長崎銅会所願書写（書状会所より仲間へ相廻シ控已正月十三日写之）		冊	元文元年12月		
26-5-13	長崎棹銅代銀請取帳四番	泉屋吉左衛門	冊	宝暦2年正月～10年12月	1	※26-5-13～26-6-2で1冊
26-5-14	長崎表一件並大阪銅会…（長崎表一件並大阪銅会所取り方覚帳）		冊	明和7年7月		
26-6-1	長崎要用控日記二番	泉屋吉左衛門	冊	宝暦2年正月～11年8月		
26-6-2	長崎要用控日記三番	泉屋吉左衛門	冊	宝暦13年正月～天明2年8月		※26-6-3-0～26-6-3-3-8で1冊
26-6-3-0	長崎出店雑書類		袋		1	
26-6-3-1	寛文三卯年より年々唐…（寛文三卯年より年々唐船買渡銅高帳）		横	寛文3年～享保12年		
26-6-3-2	寛四辰年より年々長崎…（寛四辰年より年々長崎銅下り高）		横半	寛文4年～享保11年		
26-6-3-3-0	長崎絵図並普請積書入		袋			
26-6-3-3-1	日々木挽ひかへ	長崎住友抱屋敷普請方	横半	酉年10月		
26-6-3-3-2	銀差引之覚	大工方	横	酉年		
26-6-3-3-3	覚（土蔵等建築見積之覚）	左官彦右衛門	状	戌年3月		
26-6-3-3-4	覚（本家新築、蔵建替等見積之覚）	棟梁武田与平次	状	戌年4月		
26-6-3-3-5	（長崎出店普請関係書類）		綴/状			
26-6-3-3-6	（長崎出店付近之図面）		図			
26-6-3-3-7	（長崎出店之図面）		図			
26-6-3-3-8	（長崎出店土蔵之図面）		図			
29-20	借用仕候銀子之事	（大風損害居宅普請料銀子）茂兵衛他	状	明和7年12月	1	※29-20～37で1冊
29-21	借用仕銀子証文之事	（年貢皆済につき）六兵衛他	状	明和7年12月		
29-22	預り申銀子之事	清兵衛他	状	明和8年3月4日		
29-23	預り申銀子之事	（御会所入用次第返上につき）源兵衛他	状	明和9年11月3日		
29-24	借用仕銀子之事	（用心太鼓張替につき）茂兵衛・藤右衛門・清兵衛・九右衛門	状	安永3年11月29日		
29-25	預り申銀子之事	九右衛門他	状	安永9年3月		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
29-26	預り申銀子之事	九右衛門他	状	天明元年11月14日	1	※29-20～37 で1冊
29-27	預り申銀子之事	文八他	状	天明5年12月		
29-28	覚	（普請入用其外払方銀受取）山本新田支配 人文八	状	天明6年7月11日		
29-29	覚	（新田高掛り御用金上納銀受取）新田文八	状	天明6年7月25日		
29-30	預り申銀子之事	山本新田支配人文八郎・八尾木村要助	状	天明7年5月		
29-31	覚	（証文銀請取）庄右衛門	状	天明8年10月10日		
29-32	覚	（下作取米高并払方）山本新田支配人藤右 衛門	状	寛政4年10月12日		
29-33	覚	（下作取米高并払方）山本新田支配人藤右 衛門	状	寛政4年10月14日		
29-34	河州玉櫛川御新田之内山本新田村絵図写		葉	寛政元年4月10日		
29-35	別紙建具諸色帳	支配人四郎兵衛	冊	寛政3年5月		
29-36	乍恐口上	（山本新田検見願）支配人四郎兵衛	冊	寛政3年9月	1	※29-40-1～54 で1冊
29-37	山本新田水帳并沽券写入袋		袋	文政3年		
29-40-1	覚	（山本新田水帳、引当質物差入証文受取覚 他）泉屋吉左衛門代仁右衛門	状	丑年2月29日		
29-40-2	覚	（山本新田、別子銅山拝借米引当質物差入 につき）	状	亥年6月26日		
29-40-3	新田質物証文之事	（金子借用につき証文下書）	状			
29-40-4	八尾銀子之儀会所方掛合延引等二付書状	大坂泉屋新兵衛	状	10月7日		
29-41	宝暦四年以降山本新田売払分書付		状	6月28日		
29-42	契約書	（山本新田住友会所東建築一切請負につ き）建築請負人叶幸次郎他	状			
29-43	河州山本新田免許願書写		冊			
29-44	山本新田荒砂地にて難渋之儀二付口上		綴			
29-46-0	山本新田出入、奉行所願出書付入り包		包	享保12年8月	1	※29-45 欠番
29-46-1	質物新田之事	（銀子要用につき）山中庄兵衛・加賀屋の ぶ他	状	享保8年12月		

公開史料目録（近世）2026年8月現在 ※1度に製本6冊まで出納できます。「製本冊数」欄を確認し、製本単位で申請してください

番号	史料名	内容・作成など	形態	年月日	製本冊数	備考・参考図書
申請書に記入してください					1回6冊以内	
29-46-2	覚	（質物入置山本新田加賀屋佐助方差支につき）山中庄兵衛	状	巳年10月6日	1	※29-40-1～54 で1冊 ※29-47 欠番
29-46-3	証文	（質物入置山本新田借銀返済難渋につき）山中庄兵衛他	状	享保12年正月		
29-46-4	山本新田利足銀指引		状	未年8月		
29-46-5	質物田地出入御願	（山中庄兵衛等質物山本新田埒明不申につき）	状	享保12年8月		
29-48	質物新田之事	（山中庄兵衛等所持山本新田借銀につき）	状	享保8年12月		
29-49	流シ証文之事	（質物入置山本新田借銀返済難渋につき）	状	享保11年		
29-50	質地新田流渡候証文之事	山中庄兵衛・加賀屋のぶ代判儀兵衛	状	享保13年正月		
29-51	亡父庄兵衛旧所持山本新田譲戻願二付書状	山中庄兵衛正充	状	閏7月12日		
29-52	覚	（山本新田格式相改支配方存寄につき）	状	寛延4年3月		
29-53	宝暦五年より明和元年迄十年木綿作豊凶書上帳	河内国若江郡八ヶ村	冊	明和2年8月22日		
29-54	山本新田地方願書控	山本新田持主泉屋万十郎代	冊	寛政3年10月		
29-59	河内国若江郡山本新田検地帳		冊	宝永8年8月	1	
29-60	河内国若江郡山本新田検地帳		冊	享保6年5月	1	